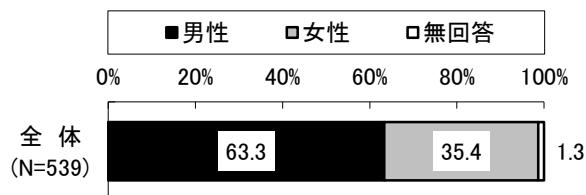


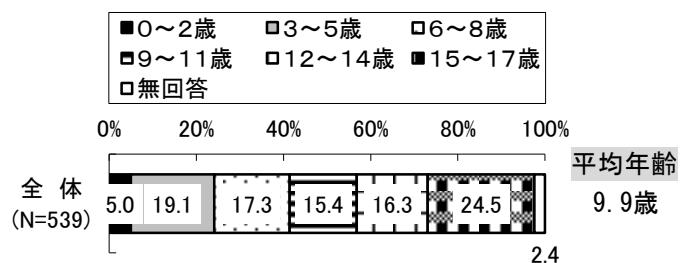
第6章 障がい児調査

1. 基本属性

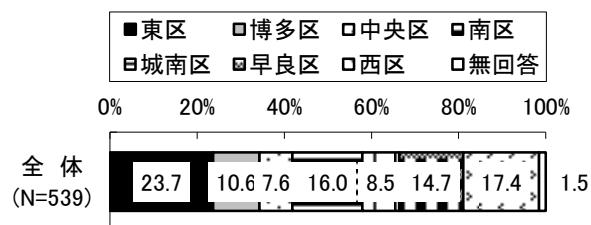
【図表6-1 性別】



【図表6-2 年齢】

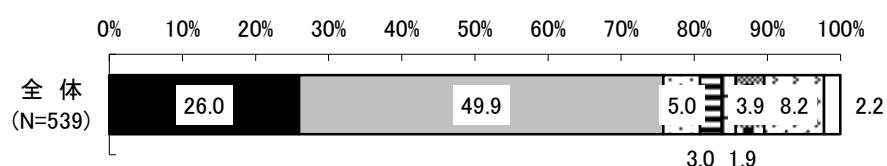


【図表6-3 居住地区】



【図表6-4 主な障がいの状態】

- 身体の機能に障がいがある、運動の機能におくれがある
- ことば、知的な障がいがある
- 興味、遊び、人間関係等が同じ年頃の子どもと比べて変わっている
- 落ちつきがない、多動である
- 他の子どもと交わらない
- 読み書きや計算などが極端に苦手である
- その他
- 無回答

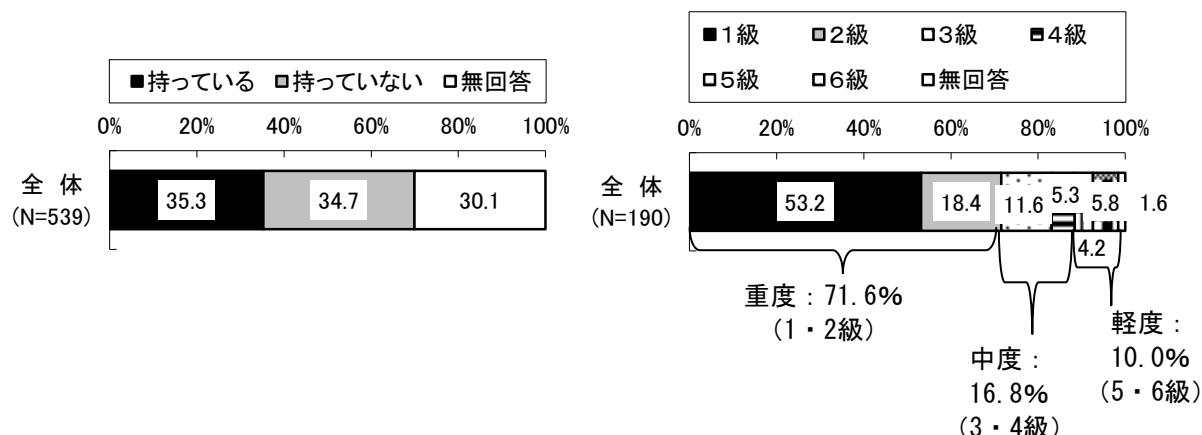


2. 障がいの状況について

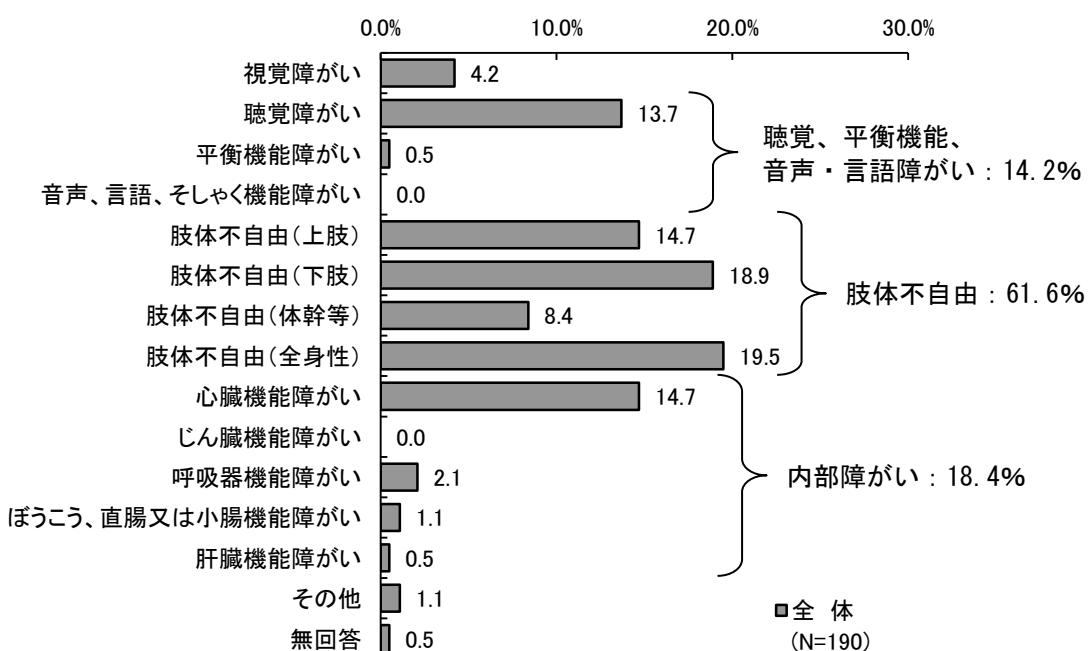
- 回答者（539人）のうち4割弱（35.3%）は身体障がい者手帳を持っており、1・2級の重度者が7割強（71.6%）を占めている。【図表6-5】
- 身体障がい者手帳所持者（190人）について、重複する障がいの有無をみると、「知的障がい」（35.8%）が最も多い。【図表6-9】
- 療育手帳については、8割強（80.7%）が手帳を所持しており、判定区分ではA1～A3をあわせたA判定の重度者（40.0%）が4割を占めている。【図表6-10】
- 年齢別にみると、0～2歳では「ダウン症」（25.9%）、「脳性マヒ」（22.2%）、また「わからない」（14.8%）の割合が、他に比べ高くなっている。【図表6-13】
- 各種手帳の所持状況から障がいの重複状況を集約すると、「知的障がいのみ」（60.3%）が6割強と最も多く、「身体障がいのみ」（16.3%）と「重複障がい」（20.8%）がそれぞれ2割前後となっている。年齢別にみると、いずれも「知的障がいのみ」の割合が高いが、0～2歳では「身体障がいのみ」（37.0%）の割合も高くなっている。【図表6-15、図表6-16】

(1) 身体障がいの状況（身体障がい者手帳の有無・等級、身体障がいの部位）

【図表6-5 身体障がい者手帳の有無・等級】



【図表6-6 主な身体障がいの部位】



【図表6-7 年齢別 身体障がい者手帳の有無】(%)

年齢	調査数(人)	身体障がい者手帳の有無		
		持っている	持っていない	無回答
全 体	539	35.3	34.7	30.1
0~2歳	27	59.3	29.6	11.1
3~5歳	103	33.0	37.9	29.1
6~8歳	93	43.0	25.8	31.2
9~11歳	83	38.6	38.6	22.9
12~14歳	88	25.0	38.6	36.4
15~17歳	132	32.6	36.4	31.1
無回答	13	23.1	15.4	61.5

【図表6-8 年齢別 身体障がい者手帳の等級】(%)

年齢	調査数(人)	身体障がい者手帳の等級							調査数(人)	身体障がい者手帳の等級(集約)			
		1級	2級	3級	4級	5級	6級	無回答		重1度 ・ 2級	中3度 ・ 4級	輕5度 ・ 6級	無回答
全 体	190	53.2	18.4	11.6	5.3	4.2	5.8	1.6	190	71.6	16.8	10.0	1.6
0~2歳	16	75.0	6.3	6.3	6.3	—	—	6.3	16	81.3	12.5	—	6.3
3~5歳	34	67.6	11.8	5.9	2.9	2.9	5.9	2.9	34	79.4	8.8	8.8	2.9
6~8歳	40	57.5	20.0	12.5	2.5	2.5	5.0	—	40	77.5	15.0	7.5	—
9~11歳	32	34.4	21.9	21.9	3.1	3.1	12.5	3.1	32	56.3	25.0	15.6	3.1
12~14歳	22	50.0	22.7	9.1	4.5	9.1	4.5	—	22	72.7	13.6	13.6	—
15~17歳	43	44.2	23.3	9.3	11.6	7.0	4.7	—	43	67.4	20.9	11.6	—
無回答	3	66.7	—	33.3	—	—	—	—	3	66.7	33.3	—	—

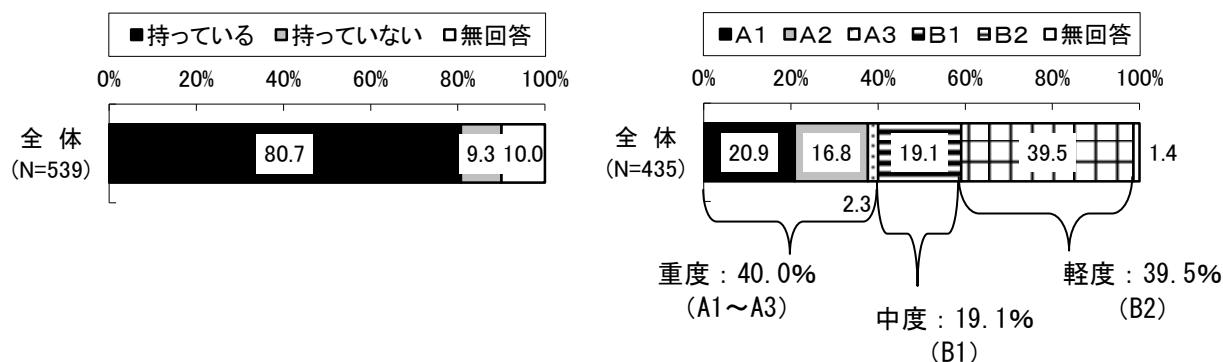
【図表6-9 主な身体障がいと重複する障がいの関係】(%)

調査数 (人)	重複する障がい													
	視覚障がい	聴覚障がい	平衡機能障がい	し音や声く	肢體不自由(上)	肢體不自由(下)	肢體不自由(体幹)	性肢體不自由(全身)	心臓機能障がい	じん臓機能障がい	呼吸器機能障がい	はぼうこう、直腸機能障がい又	肝臓機能障がい	
全 体	190	9.5	5.8	2.6	16.3	25.8	23.2	21.6	4.7	2.6	0.5	4.7	3.2	1.1
主な身体障がいの部位	視覚障がい	8	—	37.5	—	12.5	37.5	37.5	25.0	12.5	12.5	—	—	—
	聴覚障がい	26	—	—	—	7.7	—	—	—	—	3.8	—	3.8	—
	平衡機能障がい	1	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
	音声、言語、そしゃく機能障がい	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	肢体不自由(上肢)	28	21.4	3.6	3.6	14.3	—	42.9	25.0	10.7	3.6	—	3.6	—
	肢体不自由(下肢)	36	8.3	2.8	—	5.6	50.0	—	36.1	2.8	2.8	2.8	11.1	—
	肢体不自由(体幹等)	16	—	6.3	—	12.5	43.8	62.5	—	18.8	—	—	—	—
	肢体不自由(全身性)	37	18.9	8.1	8.1	40.5	37.8	35.1	37.8	—	—	—	8.1	—
	心臓機能障がい	28	3.6	—	—	7.1	7.1	10.7	7.1	—	—	—	7.1	—
	じん臓機能障がい	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
主な身体障がいの部位	呼吸器機能障がい	4	—	25.0	—	25.0	75.0	25.0	50.0	—	25.0	—	—	50.0
	はぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	肝臓機能障がい	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	50.0	—	—
	無回答	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

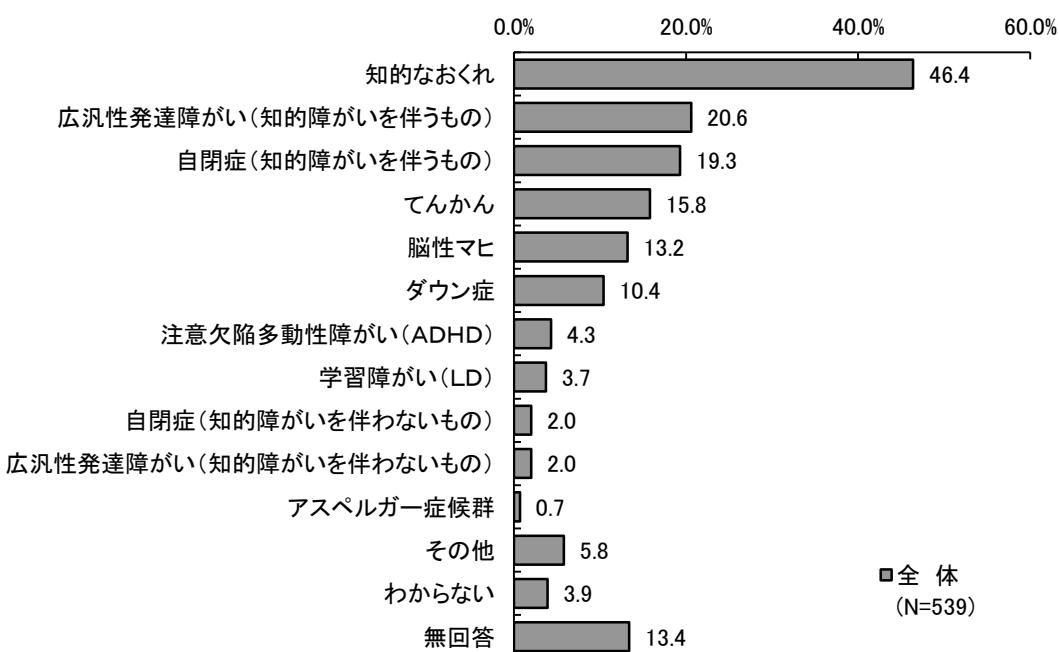
調査数 (人)	重複する障がい								
	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	ないな障がい以外は	無回答	
全 体	190	35.8	2.6	24.7	2.6	12.6	4.2	26.8	0.5
主な身体障がいの部位	視覚障がい	8	50.0	—	25.0	—	25.0	—	25.0
	聴覚障がい	26	11.5	3.8	19.2	—	—	69.2	—
	平衡機能障がい	1	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—
	音声、言語、そしゃく機能障がい	—	—	—	—	—	—	—	—
	肢体不自由(上肢)	28	25.0	—	17.9	3.6	14.3	7.1	25.0
	肢体不自由(下肢)	36	33.3	—	30.6	—	11.1	5.6	13.9
	肢体不自由(体幹等)	16	50.0	6.3	25.0	—	6.3	—	—
	肢体不自由(全身性)	37	62.2	2.7	29.7	5.4	18.9	8.1	5.4
	心臓機能障がい	28	25.0	3.6	21.4	3.6	10.7	3.6	53.6
	じん臓機能障がい	—	—	—	—	—	—	—	—
主な身体障がいの部位	呼吸器機能障がい	4	25.0	—	25.0	—	50.0	—	—
	はぼうこう、直腸又は小腸機能障がい	2	—	—	—	—	50.0	—	50.0
	肝臓機能障がい	1	—	—	—	—	—	—	100.0
	その他	2	100.0	—	50.0	50.0	—	—	—
主な身体障がいの部位	無回答	1	—	—	—	—	—	—	100.0

(2) 知的障がいの状況（療育手帳の有無・判定、障がいの診断名）

【図表6-10 療育手帳の有無・判定】



【図表6-11 障がいの診断名】



【図表6-12 年齢別 療育手帳の判定】(%)

年齢	調査数(人)	療育手帳の判定						調査数(人)	療育手帳の判定(集約)			
		A1	A2	A3	B1	B2	無回答		重度(～A1～A3)	中度(～B1～B2)	軽度(～B2～)	無回答
全 体	435	20.9	16.8	2.3	19.1	39.5	1.4	435	40.0	19.1	39.5	1.4
0～2歳	17	17.6	5.9	—	23.5	47.1	5.9	17	23.5	23.5	47.1	5.9
3～5歳	87	13.8	18.4	2.3	19.5	43.7	2.3	87	34.5	19.5	43.7	2.3
6～8歳	74	18.9	20.3	4.1	20.3	35.1	1.4	74	43.2	20.3	35.1	1.4
9～11歳	63	19.0	14.3	3.2	17.5	46.0	—	63	36.5	17.5	46.0	—
12～14歳	77	27.3	11.7	2.6	16.9	41.6	—	77	41.6	16.9	41.6	—
15～17歳	110	24.5	20.0	0.9	20.0	34.5	—	110	45.5	20.0	34.5	—
無回答	7	28.6	14.3	—	14.3	14.3	28.6	7	42.9	14.3	14.3	28.6

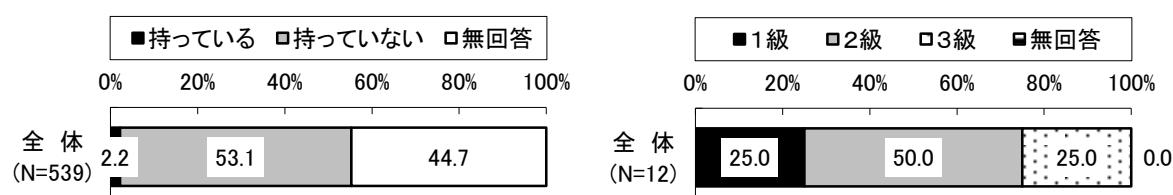
【図表6-13 年齢別 障がいの診断名】(%)

調査数 (人)	障がいの診断名															（再掲）発達障がいがある			
	知的なおくれ	い広汎性発達障がい	の自閉症	（知的障がい）	てんかん	脳性マヒ	ダウン症	H注D	注意欠陥多動性障がい	（LAD）	学習障がい	（AD）	い自閉症	（知的障がい）	い広汎性発達障がい	（知的障がい）	アスペルガー症候群	その他	わからない
全 体	539	46.4	20.6	19.3	15.8	13.2	10.4	4.3	3.7	2.0	2.0	0.7	5.8	3.9	13.4	39.3			
年 齢	0～2歳	27	29.6	11.1	14.8	18.5	22.2	25.9	3.7	—	—	—	3.7	3.7	14.8	7.4	18.5		
	3～5歳	103	44.7	19.4	21.4	9.7	14.6	9.7	1.0	—	2.9	3.9	1.9	8.7	3.9	13.6	36.9		
	6～8歳	93	46.2	29.0	19.4	22.6	15.1	10.8	5.4	2.2	1.1	4.3	—	6.5	3.2	10.8	45.2		
	9～11歳	83	37.3	21.7	14.5	9.6	12.0	13.3	2.4	3.6	1.2	2.4	—	4.8	3.6	21.7	36.1		
	12～14歳	88	55.7	23.9	17.0	17.0	5.7	9.1	9.1	5.7	2.3	—	—	5.7	1.1	8.0	43.2		
	15～17歳	132	51.5	15.9	23.5	18.9	13.6	7.6	4.5	6.1	3.0	0.8	0.8	4.5	4.5	11.4	42.4		
	無回答	13	38.5	7.7	15.4	7.7	23.1	—	—	15.4	—	—	—	—	—	46.2	23.1		

(注) 再掲の『発達障がいあり』は、「自閉症」「広汎性発達障がい」「アスペルガー症候群」「注意欠陥多動性障がい」「学習障がい」のいずれか1つまたは複数に該当する人。

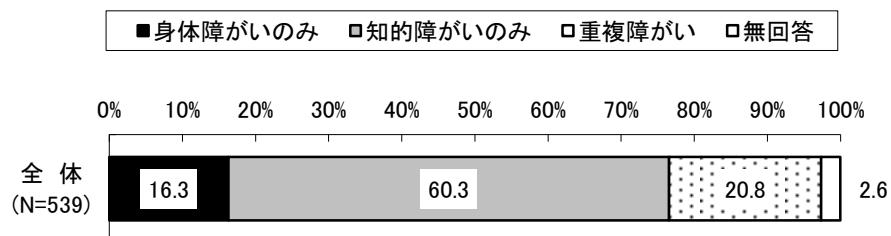
(3) 精神障がいの状況（精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級）

【図表6-14 精神障がい者保健福祉手帳の有無・等級】



(4) 障がいの状況（身体・知的障がい等の重複状況）

【図表6-15 障がいの状況】



【図表6-16 年齢別 障がいの状況】(%)

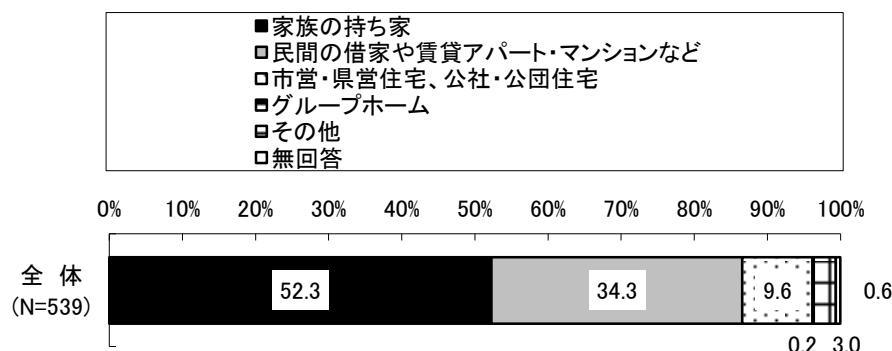
年齢	調査数（人）	障がいの状況			
		身体障がいのみ	知的障がいのみ	重複障がい	無回答
全 体	539	16.3	60.3	20.8	2.6
0~2歳	27	37.0	40.7	22.2	-
3~5歳	103	13.6	65.0	19.4	1.9
6~8歳	93	18.3	55.9	24.7	1.1
9~11歳	83	21.7	57.8	18.1	2.4
12~14歳	88	11.4	71.6	15.9	1.1
15~17歳	132	14.4	60.6	23.5	1.5
無回答	13	-	30.8	23.1	46.2

3. 世帯の状況について

- 世帯状況について、同居家族の続柄から集約したところ、「親と子のみ（両親あり）」（75.5%）が8割弱を占めて最も多い。また、「親と子のみ（母子家庭）」（11.3%）と「親と子のみ（父子家庭）」（3.0%）をあわせると、ひとり親家庭が14.3%となっている。【図表6-19】
- 主な介助者は、「母親」（80.9%）が8割と大半を占めており、次いで「世話をしてもらう必要がない」（9.6%）、「父親」（5.4%）となっている。【図表6-22】
- 深夜帯に必要な介助・対応については、回答者全体では「必要ない」（70.3%）が最も多い。障がいの状況別に必要な介助・対応の内容をみると、身体障がいのみ、知的障がいのみと比較し、重複障がいでは、「排泄」（23.2%）、「体位変換」（17.0%）、「水分補給」（15.2%）、「喀痰吸引」（12.5%）などで割合が高くなっている。【図表6-26】
- 世帯の課税状況は、回答者全体では「所得税課税」（53.6%）が過半数を占めているが、世帯状況別にみると、母子家庭では他の世帯に比べて「所得税非課税（市民税非課税）」（47.5%）の割合が高く、5割近くを占めている。【図表6-28】

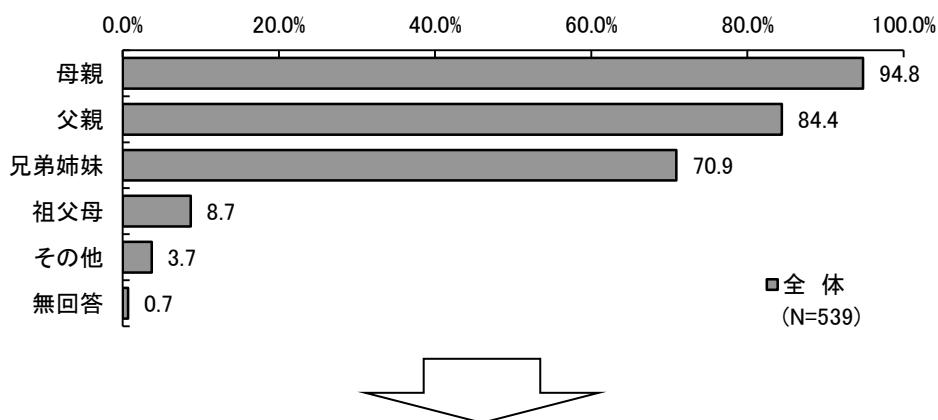
(1) 住まいの形態

【図表6-17 住まいの形態】

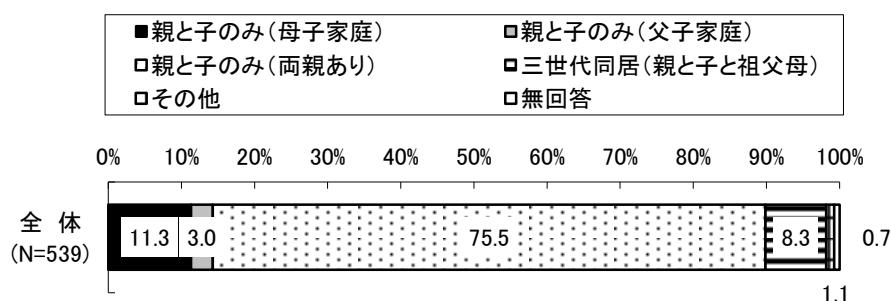


(2) 同居家族の状況

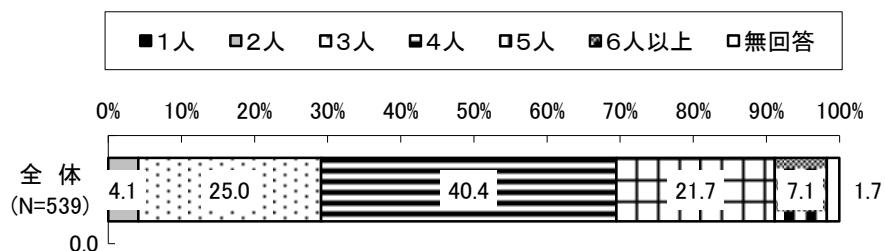
【図表6-18 同居者の続柄】(複数回答)



【図表6-19 世帯状況】



【図表6-20 本人を含む同居家族の人数】

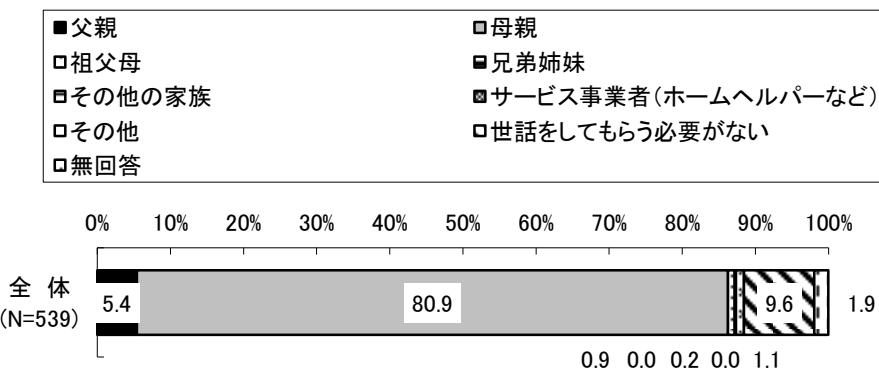


【図表6-21 障がいの状況別、年齢別 世帯状況】(%)

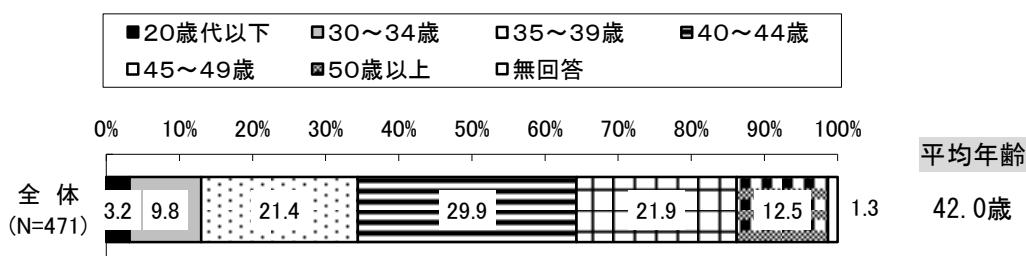
調査数 (人)	世帯状況						
		庭親 と子 のみ (母 子 家)	庭親 と子 のみ (父 子 家)	り 親 と子 のみ (両 親 あ り)	祖 三 世 父 母 代 (同 居) (親 と 子 と)	そ の 他	無 回 答
全 体	539	11.3	3.0	75.5	8.3	1.1	0.7
障 状 況 の 全 体	88	10.2	4.5	76.1	9.1	—	—
身体障がいのみ	325	12.3	2.8	75.4	6.8	1.5	1.2
知的障がいのみ	112	10.7	2.7	75.0	10.7	0.9	—
重複障がい	14	—	—	78.6	21.4	—	—
無回答	539	11.3	3.0	75.5	8.3	1.1	0.7
年 齢	0~2歳	27	3.7	—	81.5	14.8	—
	3~5歳	103	7.8	1.9	82.5	6.8	—
	6~8歳	93	10.8	2.2	76.3	9.7	1.1
	9~11歳	83	7.2	4.8	79.5	7.2	1.2
	12~14歳	88	14.8	2.3	76.1	4.5	1.1
	15~17歳	132	15.9	3.8	67.4	9.8	1.5
	無回答	13	15.4	7.7	53.8	15.4	7.7

(3) 主な介助者の状況

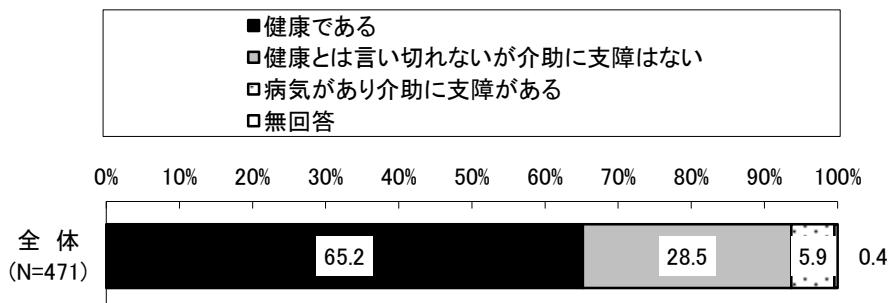
【図表6-22 主な介助者】



【図表6-23 主な介助者（サービス事業者、その他以外）の年齢】

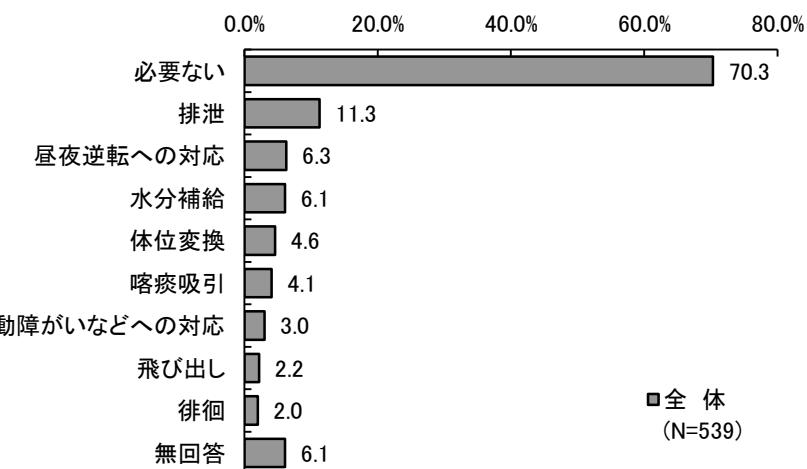


【図表6-24 主な介助者の健康状態】



(4) 深夜帯に必要な介助・対応

【図表6-25 深夜帯に必要な介助・対応】

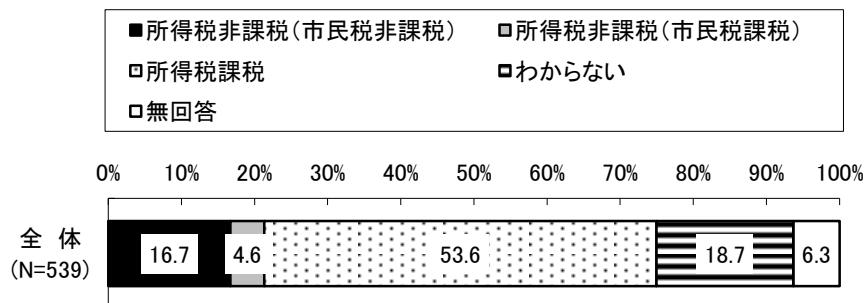


【図表6-26 障がいの状況別 深夜帯に必要な介助・対応】(%)

調査数(人)	深夜帯に必要な介助・対応											
	必要ない	排泄	昼夜逆転への対応	水分補給	体位変換	喀痰吸引	どその他の行動障がいな	飛び出し	徒歩	無回答		
全 体	539	70.3	11.3	6.3	6.1	4.6	4.1	3.0	2.2	2.0	6.1	
障がいの状況	身体障がいのみ	88	73.9	8.0	3.4	3.4	5.7	8.0	1.1	-	1.1	8.0
	知的障がいのみ	325	75.7	8.0	6.5	4.0	0.3	0.3	2.8	3.1	2.2	6.2
	重複障がい	112	51.8	23.2	8.0	15.2	17.0	12.5	4.5	1.8	2.7	5.4
	無回答	14	71.4	14.3	7.1	-	-	-	7.1	-	-	-

(5) 世帯の課税状況

【図表6-27 世帯の課税状況】



【図表6-28 世帯状況別 世帯の課税状況】(%)

世帯状況	調査数(人)	世帯の課税状況				
		非所得税課税(市民税非課税)	課得税課税(市民税非課税)	所得税課税(市民税)	わからない	無回答
全 体	539	16.7	4.6	53.6	18.7	6.3
世帯状況						
親と子のみ(母子家庭)	61	47.5	6.6	19.7	24.6	1.6
親と子のみ(父子家庭)	16	12.5	6.3	50.0	25.0	6.3
親と子のみ(両親あり)	407	10.6	4.4	60.7	17.7	6.6
三世代同居(親と子と祖父母)	45	28.9	4.4	46.7	15.6	4.4
その他	6	33.3	-	16.7	50.0	-
無回答	4	25.0	-	-	-	75.0

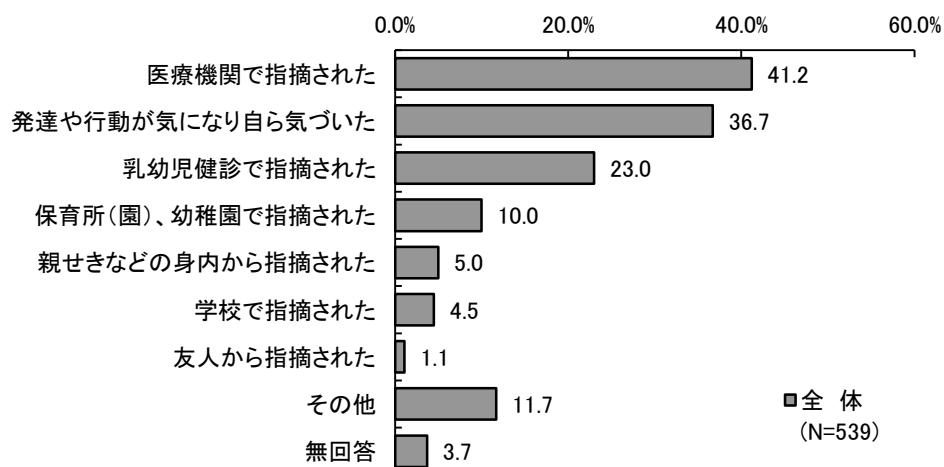
4. 障がいについて

- 障がいに気付いたきっかけを障がいの状況別にみると、身体障がい児（身体障がいのみ）や重複障がい児では「医療機関で指摘された」が最も多いが、知的障がい児（知的障がいのみ）では3割台（34.8%）に留まり、「発達や行動が気になり自ら気づいた」（41.5%）が最も多くなっている。また、知的障がい児では他に比べて「乳幼児健診で指摘された」（28.6%）や「保育所（園）、幼稚園で指摘された」（14.8%）の割合も高くなっている。【図表6-30】
- 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安としては、「障がいのことや福祉の制度についての情報が少なかった」（54.2%）が5割を超えて最も多く、次いで「身近に相談できる相手がいなかった」（34.9%）、「保健所や福祉事務所、専門機関でもっと指導してほしかった」（24.9%）、「相談機関がわからなかった」（22.1%）となっている。障がいの状況別にみると、重複障がい児では「子どもの介護・介助の手助けがほしかった」（27.7%）の割合も他に比べ高くなっている。【図表6-36】

(1) 障がいに気づいたきっかけ

問13 お子さんの発達の遅れに気づいたのは、どういうきっかけでしたか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-29 障がいに気づいたきっかけ】



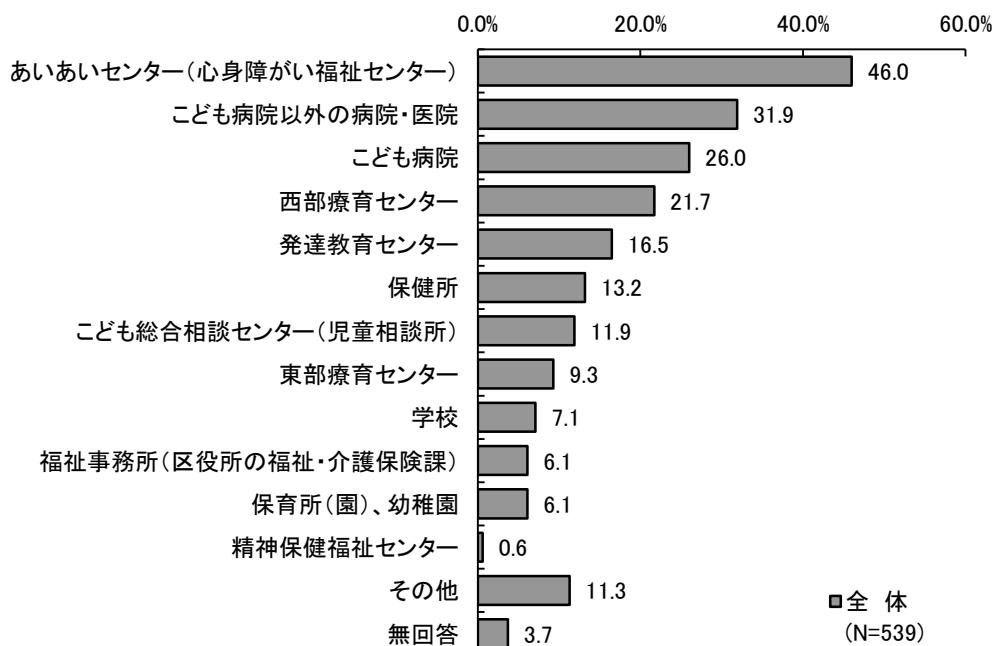
【図表6-30 障がいの状況別 障がいに気づいたきっかけ】(%)

調査数 (人)	医療機関で指摘された	障がいに気づいたきっかけ								
		自ら気づいたが気になり	発達や行動が気になり	乳幼児健診で指摘され	で保育所（園）、幼稚園	指摘されたなどの身内から	学校で指摘された	友人から指摘された	その他	無回答
全 体	539	41.2	36.7	23.0	10.0	5.0	4.5	1.1	11.7	3.7
障がいの状況										
身体障がいのみ	88	45.5	26.1	9.1	4.5	2.3	—	—	18.2	15.9
知的障がいのみ	325	34.8	41.5	28.6	14.8	5.5	6.8	1.5	9.5	1.5
重複障がい	112	58.9	29.5	14.3	1.8	3.6	1.8	0.9	14.3	0.9
の無回答	14	21.4	50.0	50.0	—	21.4	—	—	—	—

(2) 相談、診察、検査を求めた機関

問14 発達の遅れに気づいてから、どこに相談し、診察・検査を求めに行きましたか。または、行っていますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-31 相談、診察、検査を求めた機関】



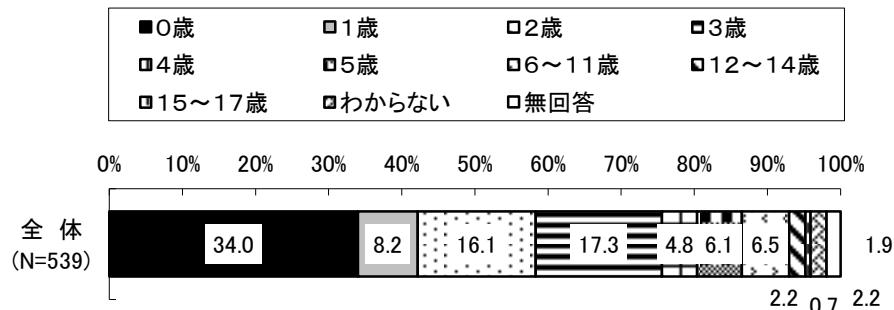
【図表6-32 障がいの状況別 相談、診察、検査を求めた機関】(%)

調査数(人)	相談、診察、検査を求めた機関															
	障がいの状況	あいあい福祉センター(心身)	病院	こども病院以外の病院	こども病院	西部療育センター	発達教育センター	保健所	児童相談センター	こども総合相談センター	東部療育センター	学校	福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)	保育所(園)、幼稚園	精神保健福祉センター	その他
全 体	539	46.0	31.9	26.0	21.7	16.5	13.2	11.9	9.3	7.1	6.1	6.1	0.6	11.3	3.7	
障がいの状況	身体障がいのみ	88	33.0	35.2	23.9	11.4	5.7	-	-	3.4	3.4	4.5	3.4	-	19.3	17.0
	知的障がいのみ	325	48.3	29.2	25.5	24.3	20.9	18.5	15.7	10.8	8.9	6.5	7.7	0.9	8.0	1.2
	重複障がい	112	48.2	35.7	29.5	23.2	10.7	8.0	9.8	8.9	4.5	6.3	3.6	-	14.3	0.9
	無回答	14	57.1	42.9	21.4	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	-	14.3	-	-

(3) 障がいがわかった年齢

問15 医学的診断の結果、障がいがはっきりとわかったのは、お子さんが何歳の時でしたか。
(○は1つだけ)

【図表6-33 障がいがわかった年齢】



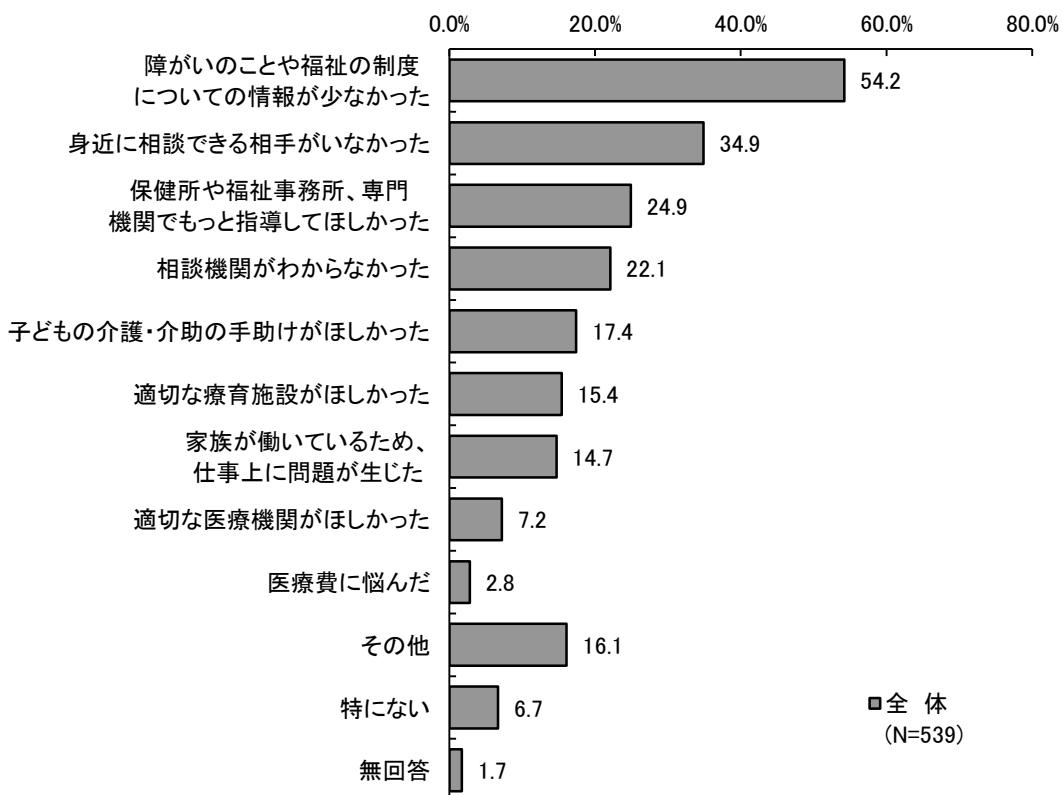
【図表6-34 障がいの状況別 障がいがわかった年齢】(%)

調査数 (人)	障がいの状況	障がいがわかった年齢											
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	わからぬ	無回答	
全 体		539	34.0	8.2	16.1	17.3	4.8	6.1	6.5	2.2	0.7	2.2	1.9
障がいの状況	身体障がいのみ	88	61.4	10.2	6.8	5.7	1.1	3.4	3.4	2.3	—	—	5.7
	知的障がいのみ	325	17.8	6.2	22.2	23.7	5.8	7.4	8.6	2.8	1.2	3.1	1.2
	重複障がい	112	60.7	12.5	7.1	6.3	4.5	3.6	1.8	0.9	—	1.8	0.9
	無回答	14	21.4	7.1	7.1	28.6	7.1	14.3	14.3	—	—	—	—

(4) 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安

問16 お子さんの障がいの状況について、診断・判定を受けた頃、ご家族の皆さんには、どんな苦労、悩み、不安がありましたか。(○は3つまで)

【図表6-35 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安】



【図表6-36 障がいの状況別 障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安】(%)

調査数(人)	障がいの診断・判定を受けた頃の苦労、悩み、不安												
	い障てがいのい情報こがと少やな福か祉つた制度につ	か身つ近たに相談できる相手がいな	で保も健つ所とや指福導事務ほ所、しか専門た機関	相談機関がわからなかつた	ほ予しどかもつた介護・介助の手助けが	適切な療育施設がほしかつた	に家問題が生じた	に家族が働いていため、仕事上	適切な医療機関がほしかつた	医療費に悩んだ	その他	特がない	無回答
全 体	539	54.2	34.9	24.9	22.1	17.4	15.4	14.7	7.2	2.8	16.1	6.7	1.7
障状況の無回答	88	51.1	26.1	15.9	14.8	13.6	2.3	22.7	6.8	3.4	19.3	9.1	5.7
がいのみ	325	52.0	36.0	26.5	24.3	15.1	19.7	10.8	7.4	2.2	15.4	7.7	0.6
の重複障がい	112	63.4	39.3	25.9	20.5	27.7	12.5	21.4	6.3	1.8	16.1	1.8	1.8

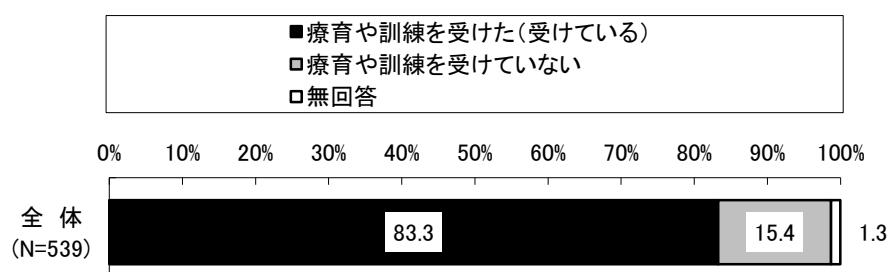
5. 療育や保育・教育について

- ・療育や訓練に対する希望としては、「学校で指導、訓練を受けたい」(29.5%) が最も多く、次いで「家庭から施設に通って療育、訓練を受けたい(通所支援施設)」(27.8%)、「病院・医院に通院して治療、訓練を受けたい」(11.9%) となっており、家庭からの通所(通院)による希望が上位にあがっている。また、「特にない」(10.6%)との回答も1割を占めている。【図表6-41】
- ・通園・通学先について集約すると、「小・中学校(特別支援学級)」(24.7%)・「特別支援学校小・中学部」(17.3%)が2割前後を占めており、これらの特別支援学校(学級)に通っている小・中学生が4割強(42.0%)を占めている。【図表6-43】
- ・通園・通学先と障がいの状況の関係をみると、就学前児童については、幼稚園・保育所、障がい児通園施設等ともに知的障がい児(知的障がいのみ)が最も多く、小・中学生については、小・中学校の通常学級では身体障がい児(76.3%)、特別支援学級では知的障がい児(76.7%)が大半を占めている。また、特別支援学校小・中学部でも知的障がい児が6割強(63.4%)と多いが、重複障がい児(30.1%)も3割と、通常の小・中学校に比べて高い割合を占めている。高校生についてみると、通常の高校では知的障がい児(44.8%)は半数近くであるが、特別支援学校高等部では6割(61.0%)を占めている。【図表6-45】

(1) 療育や訓練を受けた経験

問17 お子さんは、これまでに療育や身体の機能回復訓練(リハビリテーション)を受けたことがありますか。または、受けていますか。(○は1つだけ)

【図表6-37 療育や訓練を受けた経験】



【図表6-38 障がいの状況別、年齢別 療育や訓練を受けた経験】(%)

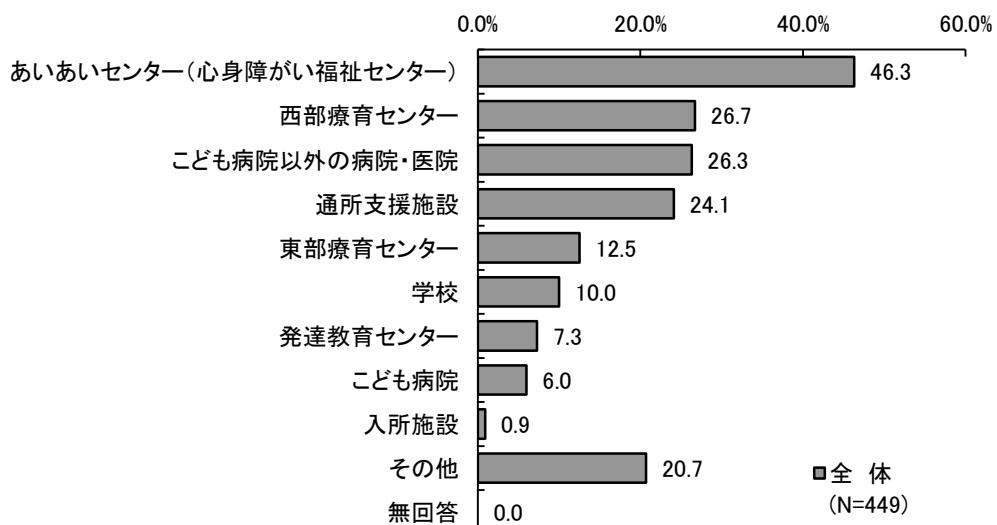
	調査数(人)	療育や訓練を受けた経験		
		（～療受育受けやて訓練い練るを～受けた	な療育や訓練を受けてい	無回答
全 体	539	83.3	15.4	1.3
障 状況の無回答	88	69.3	28.4	2.3
身体障がいのみ	325	83.1	15.7	1.2
知的障がいのみ	112	94.6	5.4	—
重複障がい	14	85.7	7.1	7.1
全 体	539	83.3	15.4	1.3
年 齢	0～2歳	27	88.9	11.1
	3～5歳	103	98.1	1.9
	6～8歳	93	86.0	14.0
	9～11歳	83	80.7	18.1
	12～14歳	88	80.7	18.2
	15～17歳	132	72.7	24.2
無回答		13	76.9	15.4
				7.7

(2) 療育や訓練で利用した（利用している）施設

[問17で「1」を選ばれた方におたずねします]

問17-1 療育や訓練で利用した、または利用している施設はどこですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-39 療育や訓練で利用した（利用している）施設】



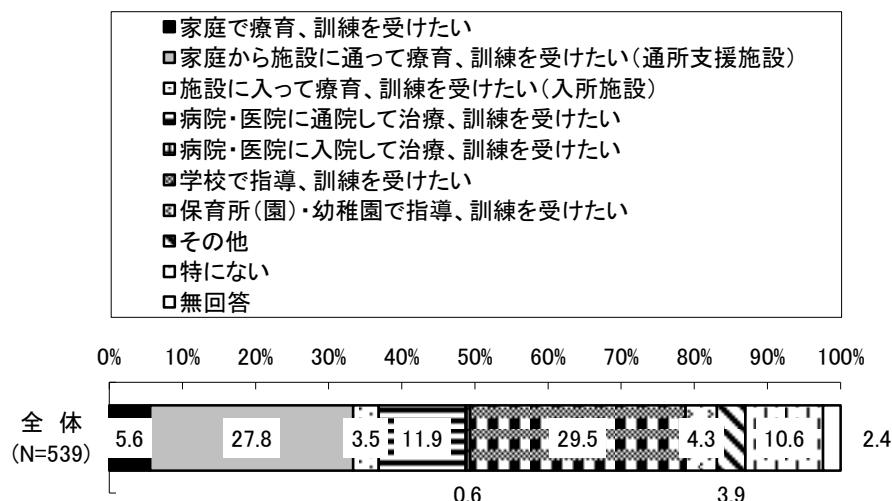
【図表6-40 障がいの状況別、年齢別 療育や訓練で利用した（利用している）施設】(%)

調査数 (人)	セーあ ン心い タ身あ ー障い ーがセ いん 福タ 祉	療育や訓練で利用した(利用している)施設									
		西部 療 育 セ ン タ ー	病 院 ど も 医 院 以 外 の	通 所 支 援 施 設	東 部 療 育 セ ン タ ー	学 校	発 達 教 育 セ ン タ ー	こ ど も 病 院	入 所 施 設	そ の 他	無 回 答
全 体	449	46.3	26.7	26.3	24.1	12.5	10.0	7.3	6.0	0.9	20.7
障 状 況 の 無回答	61	47.5	13.1	29.5	6.6	6.6	8.2	3.3	3.3	—	31.1
身体障がいのみ	270	46.3	28.5	21.5	28.9	13.3	12.2	9.6	6.3	0.7	17.4
知的障がいのみ	106	45.3	31.1	36.8	19.8	12.3	6.6	3.8	5.7	1.9	24.5
重複障がい	12	50.0	16.7	25.0	41.7	25.0	—	8.3	16.7	—	8.3
全 体	449	46.3	26.7	26.3	24.1	12.5	10.0	7.3	6.0	0.9	20.7
年 齢	0~2歳	24	12.5	25.0	16.7	8.3	41.7	—	—	—	20.8
	3~5歳	101	42.6	31.7	19.8	25.7	19.8	—	3.0	5.0	—
	6~8歳	80	41.3	18.8	28.8	31.3	15.0	11.3	7.5	7.5	1.3
	9~11歳	67	50.7	35.8	22.4	17.9	13.4	10.4	3.0	7.5	—
	12~14歳	71	45.1	29.6	21.1	23.9	1.4	19.7	15.5	1.4	—
	15~17歳	96	60.4	21.9	38.5	21.9	3.1	14.6	9.4	8.3	3.1
	無回答	10	50.0	10.0	40.0	50.0	10.0	10.0	20.0	20.0	—
											20.0

(3) 療育や訓練に対する希望

問18 お子さんの今後の療育、訓練について、どのような希望をお持ちですか。
あなたの希望に最も近いものを選んでください。(○は1つだけ)

【図表6-41 療育や訓練に対する希望】

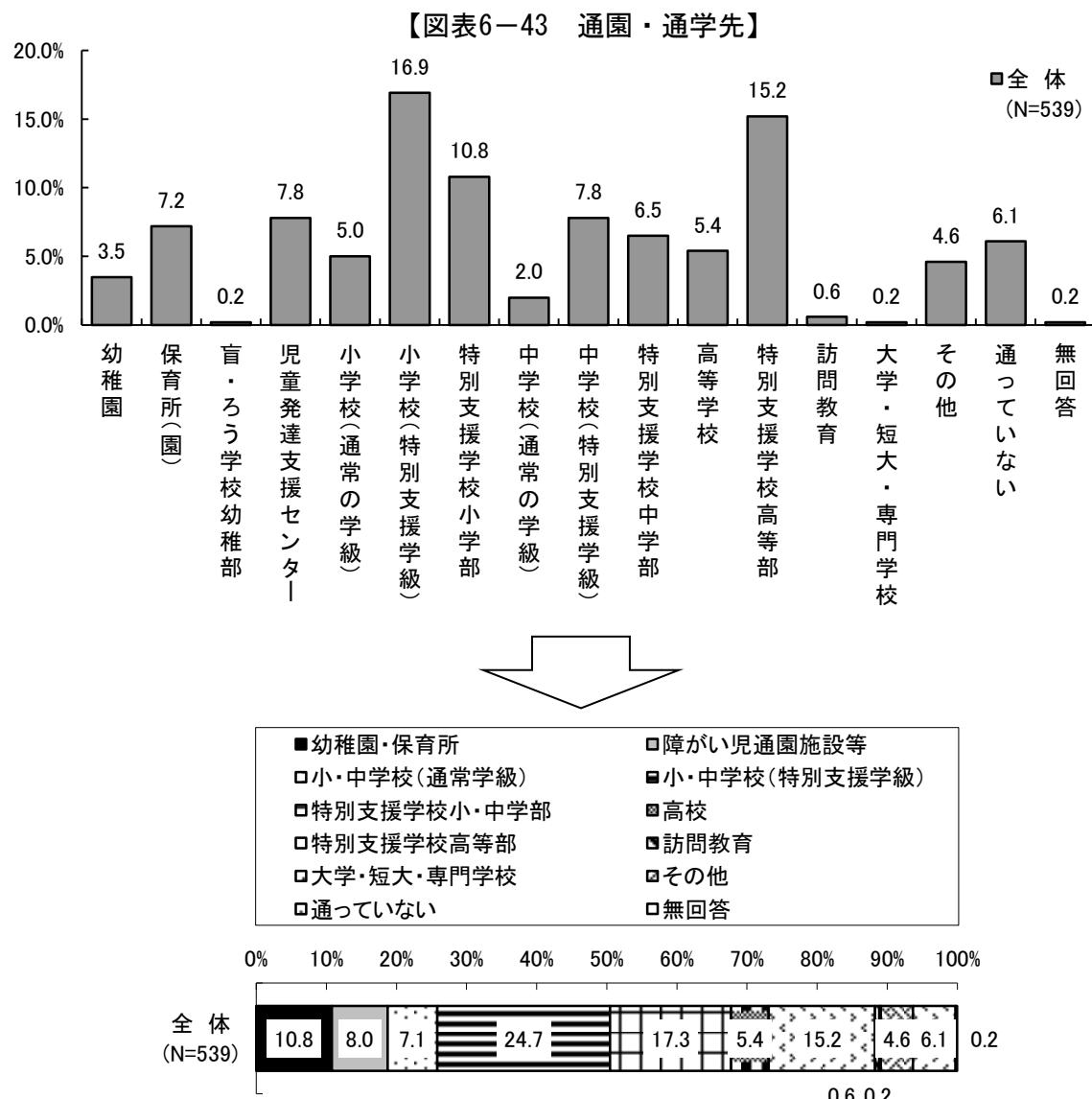


【図表6-42 障がいの状況別、年齢別 療育や訓練に対する希望】(%)

調査数 (人)	療育や訓練に対する希望										
	け家庭 で療 育、 訓 練を 受 けた 庭 い て 療 育、 訓 練を 受 けた つ い て	療家庭 通育庭 所へか 支訓ら 援練施 施を設 設受に け通 たつ い	設練施 を設 受に け入 つて い	設 を設 受に け入 つて い	病 院 、 ・ 訓 医 院 を に 受 け入 院 た し て	病 院 、 ・ 訓 医 院 を に 受 け入 院 た し て	け学校 で指 導、 訓 練を 受 けた つ い て	いで保 育所 、 ・ 訓 園 練 を ・ 受 け 幼 稚 園	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	539	5.6	27.8	3.5	11.9	0.6	29.5	4.3	3.9	10.6	2.4
障 状 況 の 無 回答	88	6.8	11.4	—	25.0	2.3	15.9	3.4	3.4	21.6	10.2
知的障がいのみ	325	3.7	32.3	4.3	5.8	—	33.5	4.6	4.6	10.5	0.6
重複障がい	112	10.7	27.7	3.6	18.8	0.9	29.5	3.6	0.9	2.7	1.8
全 体	14	—	28.6	7.1	14.3	—	21.4	7.1	14.3	7.1	—
0~2歳	27	11.1	51.9	3.7	3.7	—	18.5	—	7.4	—	—
3~5歳	103	8.7	49.5	1.0	8.7	—	7.8	14.6	2.9	4.9	1.9
6~8歳	93	6.5	21.5	2.2	15.1	—	40.9	2.2	3.2	6.5	2.2
9~11歳	83	6.0	12.0	1.2	9.6	—	49.4	—	1.2	16.9	3.6
12~14歳	88	2.3	23.9	1.1	12.5	—	38.6	—	8.0	10.2	3.4
15~17歳	132	3.8	20.5	9.8	15.9	0.8	26.5	—	5.3	15.2	2.3
無回答	13	—	53.8	—	—	7.7	23.1	7.7	—	7.7	—

(4) 通園・通学先

問19 お子さんは、学校や幼稚園・保育所（園）などに通っていますか。（○は1つだけ）



【図表6-45 通園・通学先別 障がいの状況】(%)

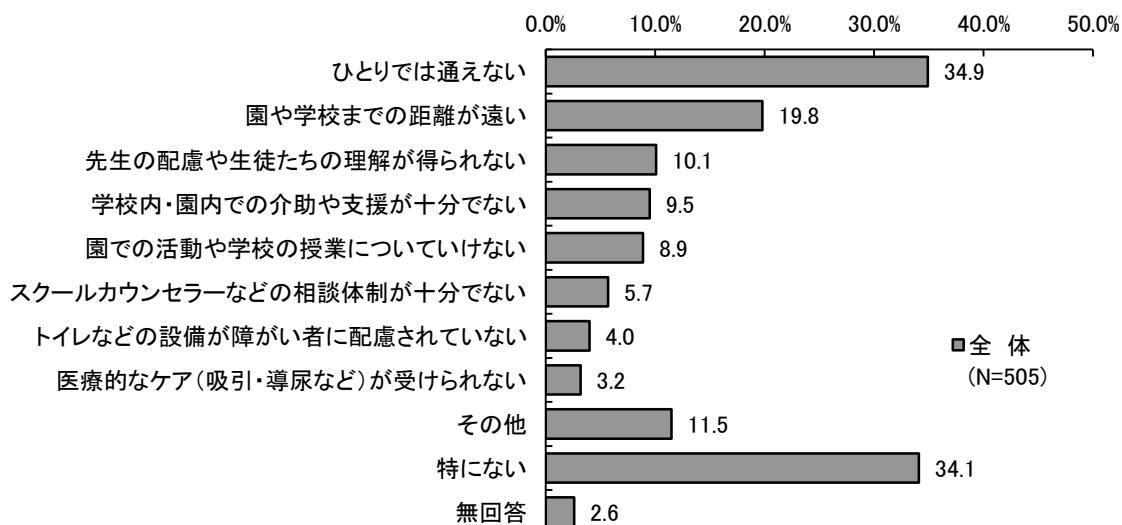
調査数 (人)	障がいの状況					
	身体障がいのみ	知的障がいのみ	重複障がい	無回答		
全 体	539	16.3	60.3	20.8	2.6	
通園・通学先	幼稚園・保育所	58	19.0	70.7	6.9	3.4
	障がい児通園施設等	43	4.7	69.8	23.3	2.3
	小・中学校(通常学級)	38	76.3	13.2	—	10.5
	小・中学校(特別支援学級)	133	6.0	76.7	15.0	2.3
	特別支援学校小・中学部	93	6.5	63.4	30.1	—
	高校	29	48.3	44.8	3.4	3.4
	特別支援学校高等部	82	3.7	61.0	34.1	1.2
	訪問教育	3	33.3	—	66.7	—
	大学・短大・専門学校	1	—	100.0	—	—
	その他	25	8.0	72.0	20.0	—
	通っていない	33	36.4	18.2	39.4	6.1
	無回答	1	—	—	100.0	—

(5) 通園・通学で困っていること

[問19で「1」～「15」を選ばれた方におたずねします]

問19-1 通園・通学で困っていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-46 通園・通学で困っていること】



【図表6-47 障がいの状況別、通園・通学先別 通園・通学で困っていること】(%)

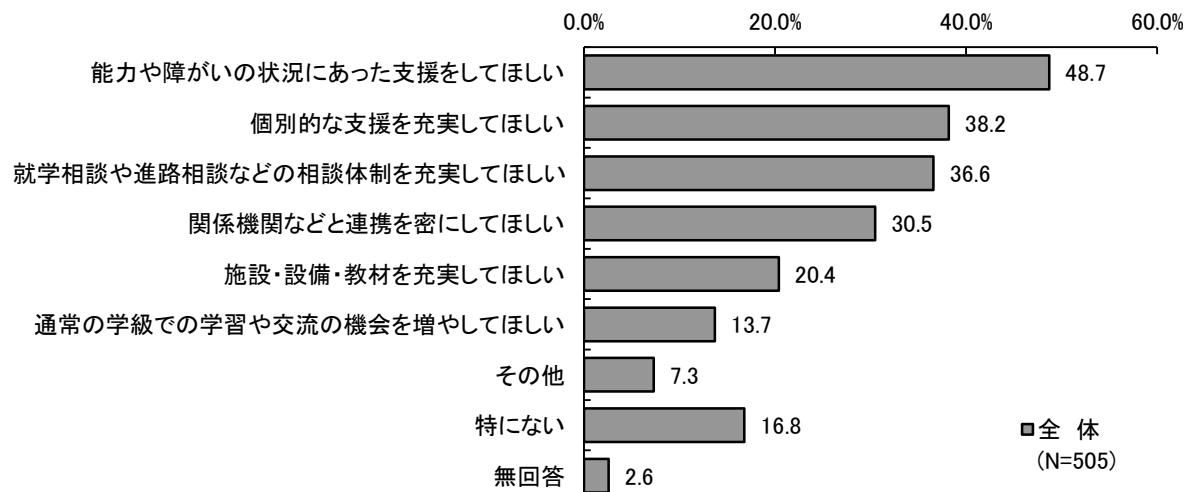
	調査数 (人)	通園・通学で困っていること										
		ひとりでは通えない	園や学校までの距離が遠い	解先生が生得の配慮がない生徒たちの理	援学校が校内分・園内での介助や支	つ園でいてのい活動なやい学校の授業に	のスク相談・体制がウ	者トイ配レ慮なされ設備がい障がい	などのがな受けアラヘル吸	その他の	特がない	無回答
全 体	505	34.9	19.8	10.1	9.5	8.9	5.7	4.0	3.2	11.5	34.1	2.6
障がいの状況												
身体障がいのみ	76	19.7	14.5	10.5	6.6	3.9	3.9	6.6	2.6	13.2	42.1	5.3
知的障がいのみ	319	33.2	19.7	11.3	11.0	10.0	6.3	3.8	2.2	9.1	35.4	2.2
重複障がい	98	54.1	26.5	6.1	7.1	8.2	6.1	3.1	7.1	17.3	21.4	2.0
無回答	12	16.7	—	8.3	8.3	16.7	—	—	—	16.7	50.0	—
全 体	505	34.9	19.8	10.1	9.5	8.9	5.7	4.0	3.2	11.5	34.1	2.6
通園・通学先												
幼稚園・保育所	58	15.5	20.7	12.1	15.5	22.4	8.6	5.2	1.7	10.3	32.8	—
障がい児通園施設等	43	16.3	16.3	—	2.3	2.3	2.3	—	7.0	11.6	51.2	—
小・中学校(通常学級)	38	10.5	13.2	10.5	13.2	10.5	—	7.9	—	18.4	36.8	13.2
小・中学校(特別支援学級)	133	35.3	15.0	15.0	9.0	10.5	6.0	2.3	3.8	9.8	33.8	1.5
特別支援学校小・中学部	93	63.4	26.9	5.4	7.5	3.2	6.5	5.4	2.2	11.8	20.4	2.2
高校	29	6.9	6.9	13.8	—	13.8	3.4	—	—	10.3	62.1	—
特別支援学校高等部	82	47.6	30.5	13.4	17.1	7.3	7.3	7.3	4.9	9.8	26.8	2.4
訪問教育	3	66.7	33.3	—	—	—	—	—	33.3	33.3	33.3	—
大学・短大・専門学校	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
その他	25	28.0	12.0	—	—	—	4.0	—	—	16.0	48.0	8.0
通っていない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(6) 通園・通学先に望むこと

[問19で「1」～「15」を選ばれた方におたずねします]

問19-2 通園・通学先にどのようなことを望みますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-48 通園・通学先に望むこと】



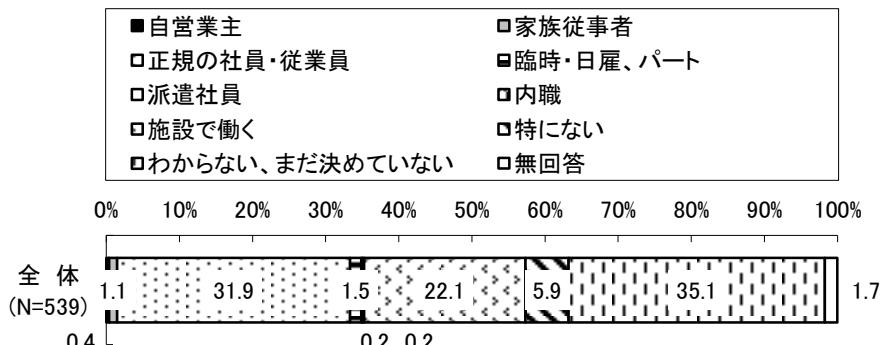
【図表6-49 通園・通学先別 通園・通学先に望むこと】(%)

調査数 (人)	全 体	通園・通学先に望むこと									
		いあ能 つ力 たや 支障 援が をい しの て状 ほ況 しに	て個 ほ別 的い な支 援を 充実 し	てど就 ほの学 し相 い談 体や 制進 を路 充相 実談 しな	密関 に係 し機 関ほ など いと 連携 を	実施 し設 てほ しい教 材を 充	ほ交 通常 いの機 会級 を増 や学 習て や	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全 体	505	48.7	38.2	36.6	30.5	20.4	13.7	7.3	16.8	2.6	
通園・通学先	幼稚園・保育所	58	48.3	36.2	32.8	44.8	13.8	10.3	5.2	8.6	5.2
	障がい児通園施設等	43	55.8	53.5	41.9	32.6	32.6	25.6	9.3	14.0	—
	小・中学校(通常学級)	38	31.6	26.3	18.4	23.7	28.9	7.9	—	26.3	5.3
	小・中学校(特別支援学級)	133	57.1	36.8	40.6	31.6	19.5	19.5	7.5	9.8	3.0
	特別支援学校小・中学部	93	47.3	49.5	36.6	32.3	25.8	11.8	7.5	17.2	3.2
	高校	29	37.9	6.9	41.4	6.9	3.4	3.4	6.9	37.9	—
	特別支援学校高等部	82	53.7	41.5	43.9	32.9	19.5	9.8	7.3	18.3	1.2
	訪問教育	3	66.7	—	—	33.3	33.3	—	—	33.3	—
	大学・短大・専門学校	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
	その他 通っていない	25	20.0	28.0	20.0	12.0	8.0	12.0	20.0	32.0	—
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(7) 将来の希望する就労形態

問20 お子さんの今後の職業について、どのような希望をお持ちですか。(○は1つだけ)

【図表6-50 将来の希望する就労形態】



【図表6-51 障がいの状況別、年齢別、通園・通学先別 将来の希望する就労形態】(%)

	調査数(人)	将来の希望する就労形態									
		自営業主	家族従事者	正規の社員・従業員	臨時・日雇、パート	派遣社員	内職	施設で働く	特にない	だわ 決か めら ない な いま	無回答
全 体	539	0.4	1.1	31.9	1.5	0.2	0.2	22.1	5.9	35.1	1.7
障 状 況 の 無回答	88	1.1	1.1	58.0	—	—	—	1.1	6.8	29.5	2.3
知的障がいのみ	325	0.3	1.2	31.4	1.5	0.3	—	24.0	2.8	37.2	1.2
重複障がい	112	—	0.9	9.8	2.7	—	0.9	34.8	14.3	33.9	2.7
全 体	14	—	—	57.1	—	—	—	7.1	7.1	28.6	—
年 齢	0~2歳	27	—	—	18.5	—	—	3.7	11.1	63.0	3.7
	3~5歳	103	—	1.0	27.2	—	—	1.0	9.7	11.7	48.5
	6~8歳	93	2.2	3.2	24.7	2.2	—	15.1	5.4	46.2	1.1
	9~11歳	83	—	2.4	43.4	—	—	18.1	6.0	30.1	—
	12~14歳	88	—	—	30.7	1.1	—	34.1	2.3	29.5	2.3
	15~17歳	132	—	—	37.1	3.8	0.8	—	34.1	3.0	18.2
	無回答	13	—	—	30.8	—	—	30.8	7.7	30.8	—
全 体	539	0.4	1.1	31.9	1.5	0.2	0.2	22.1	5.9	35.1	1.7
通 園 ・ 通 学 先	幼稚園・保育所	58	—	1.7	29.3	—	—	3.4	8.6	55.2	1.7
	障がい児通園施設等	43	2.3	—	25.6	—	—	14.0	4.7	53.5	—
	小・中学校(通常学級)	38	2.6	2.6	71.1	—	—	2.6	2.6	18.4	—
	小・中学校(特別支援学級)	133	—	1.5	40.6	3.0	0.8	—	18.0	1.5	33.1
	特別支援学校小・中学部	93	—	2.2	10.8	—	—	39.8	4.3	41.9	1.1
	高校	29	—	—	65.5	6.9	—	6.9	—	17.2	3.4
	特別支援学校高等部	82	—	—	28.0	2.4	—	—	50.0	3.7	13.4
	訪問教育	3	—	—	—	—	—	—	66.7	33.3	—
	大学・短大・専門学校	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
	その他	25	—	—	16.0	—	—	20.0	8.0	56.0	—
	通っていない	33	—	—	18.2	—	—	3.0	3.0	30.3	39.4
	無回答	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—

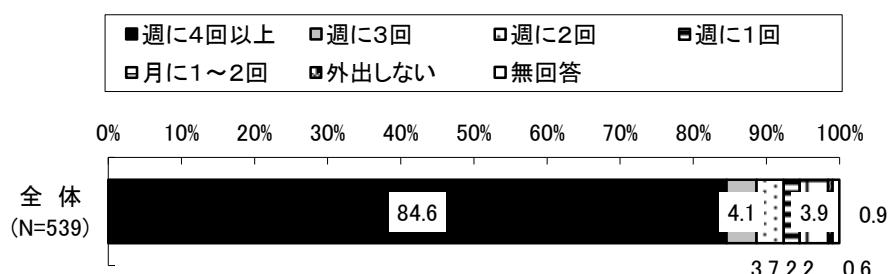
6. 外出の状況について

- 外出の頻度は、回答者全体で「週に4回以上」(84.6%) が8割を超えて最も多く、その他はいずれも5%未満となっている。年齢別にみると、0~2歳の低年齢児は他に比べて外出頻度が低い。【図表6-53】
- 外出時に不便や困難を感じることについて、障がいの状況別にみると、重複障がい児や身体障がい児（身体障がいのみ）では、「歩道に段差が多い」や「障がい者用の駐車場が少ない」等の割合が高い。また、重複障がい児ではこれに加え「障がい者用トイレが少ない」(48.2%) や「障がい者が安心して利用できる交通機関が少ない」(26.8%) 等の割合も高い。一方、知的障がい児では他に比べて「まわりの人の目が気になる」(30.8%) の割合が高くなっている。【図表6-59】

(1) 外出の頻度

問21 お子さんは、通園・通学や通勤、通院、買い物、レジャーなどの外出を1ヶ月にどのくらいしていますか。付き添い者と一緒に外出する場合も含めてお答えください。
(○は1つだけ)

【図表6-52 外出の頻度】



【図表6-53 障がいの状況別、年齢別 外出の頻度】(%)

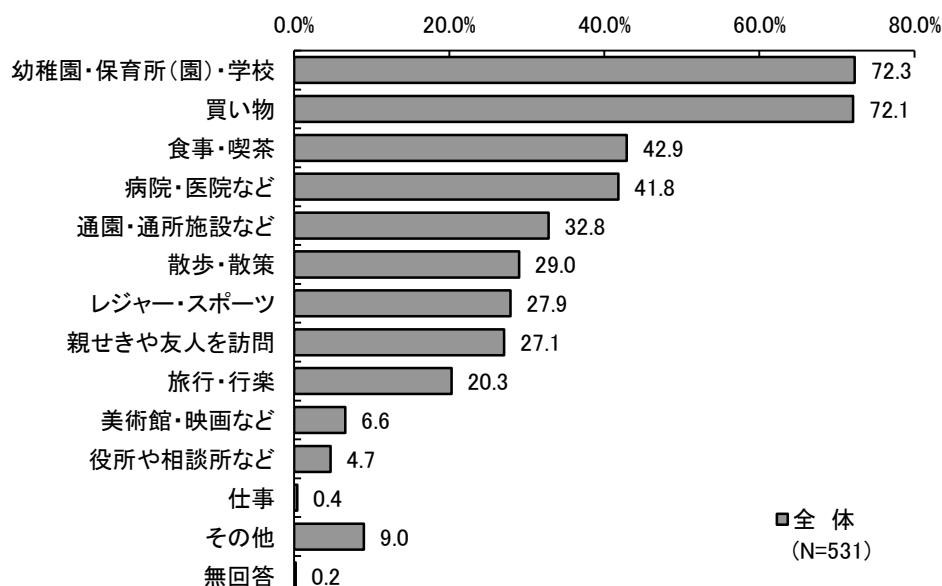
調査数(人)	週に4回以上	外出の頻度						
		週に3回	週に2回	週に1回	月に1~2回	外出しない	無回答	
全 体	539	84.6	4.1	3.7	2.2	3.9	0.6	0.9
障がいの状況								
身体障がいのみ	88	86.4	3.4	1.1	1.1	5.7	1.1	1.1
知的障がいのみ	325	88.9	3.1	3.1	1.5	2.2	0.6	0.6
重複障がい	112	71.4	7.1	8.0	4.5	7.1	—	1.8
無回答	14	78.6	7.1	—	7.1	7.1	—	—
全 体	539	84.6	4.1	3.7	2.2	3.9	0.6	0.9
年齢								
0~2歳	27	48.1	18.5	11.1	3.7	14.8	3.7	—
3~5歳	103	88.3	2.9	1.0	2.9	2.9	—	1.9
6~8歳	93	89.2	4.3	3.2	1.1	2.2	—	—
9~11歳	83	89.2	1.2	3.6	—	4.8	—	1.2
12~14歳	88	87.5	3.4	3.4	1.1	2.3	—	2.3
15~17歳	132	82.6	3.8	4.5	3.0	4.5	1.5	—
無回答	13	69.2	7.7	7.7	15.4	—	—	—

(2) 主な外出先

[問21で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問21-1 どのようなところに外出することが多いですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-54 主な外出先】



【図表6-55 障がいの状況別、年齢別 主な外出先】(%)

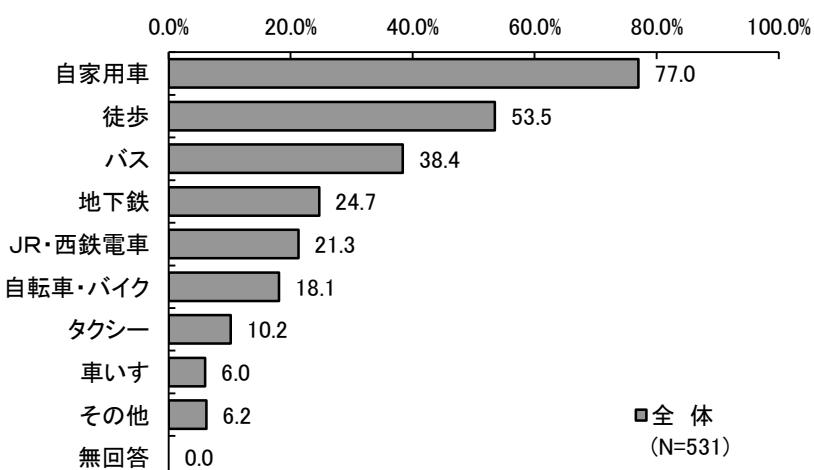
調査数(人)	主な外出先														
	幼稚園・保育所	買い物	食事・喫茶	病院・医院など	通園・通所施設など	散歩・散策	レジャー・スポーツ	親せきや友人を訪問	旅行・行楽	美術館・映画など	役所や相談所など	仕事	その他	無回答	
全 体	531	72.3	72.1	42.9	41.8	32.8	29.0	27.9	27.1	20.3	6.6	4.7	0.4	9.0	0.2
障がいの状況															
身体障がいのみ	86	80.2	62.8	37.2	47.7	19.8	20.9	33.7	30.2	23.3	5.8	2.3	1.2	7.0	-
知的障がいのみ	321	72.9	77.9	47.0	30.8	34.3	30.8	31.8	29.3	22.4	8.4	5.3	0.3	10.3	0.3
重複障がい	110	63.6	60.9	37.3	71.8	40.0	29.1	13.6	19.1	12.7	1.8	5.5	-	7.3	-
無回答	14	78.6	85.7	28.6	21.4	21.4	35.7	14.3	21.4	14.3	7.1	-	-	7.1	-
全 体	531	72.3	72.1	42.9	41.8	32.8	29.0	27.9	27.1	20.3	6.6	4.7	0.4	9.0	0.2
年齢															
0～2歳	26	30.8	73.1	30.8	57.7	73.1	53.8	15.4	38.5	15.4	-	7.7	-	3.8	-
3～5歳	101	43.6	78.2	41.6	57.4	72.3	37.6	29.7	31.7	24.8	4.0	9.9	-	5.0	-
6～8歳	93	77.4	77.4	45.2	47.3	22.6	30.1	34.4	28.0	24.7	6.5	4.3	-	8.6	-
9～11歳	82	89.0	74.4	50.0	32.9	15.9	20.7	32.9	26.8	18.3	9.8	1.2	1.2	15.9	-
12～14歳	86	87.2	67.4	44.2	36.0	24.4	27.9	27.9	30.2	20.9	7.0	2.3	-	12.8	-
15～17歳	130	80.0	63.1	37.7	33.8	16.9	23.8	22.3	19.2	17.7	8.5	3.8	0.8	7.7	0.8
無回答	13	61.5	92.3	61.5	23.1	38.5	15.4	15.4	23.1	-	-	7.7	-	-	-

(3) 外出時の移動手段

[問21で「1」～「5」を選ばれた方におたずねします]

問21-2 どのような方法で、あるいはどのような移動手段を使って外出しますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-56 外出時の移動手段】



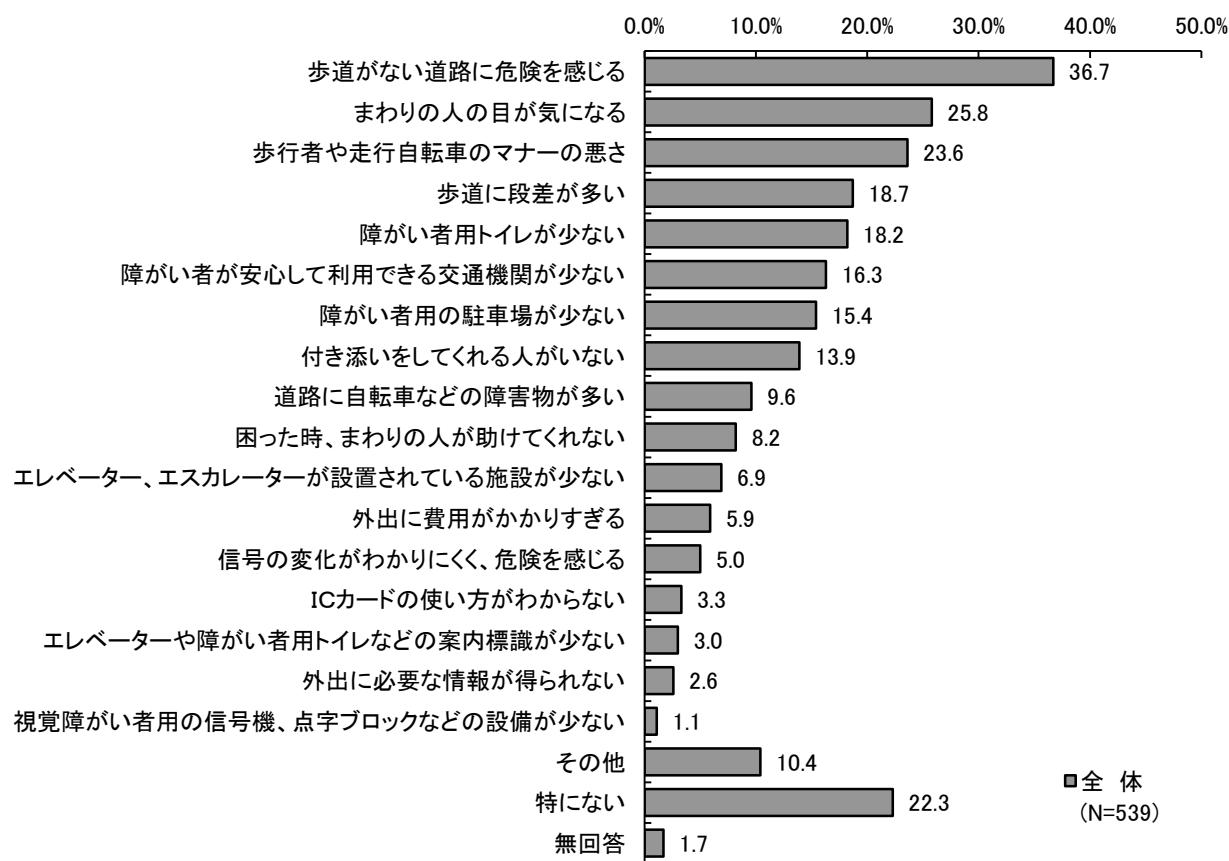
【図表6-57 障がいの状況別、年齢別 外出時の移動手段】(%)

	調査数 (人)	外出時の移動手段									
		自家用車	徒歩	バス	地下鉄	JR・西鉄電車	自転車・バイク	タクシー	車いす	その他	無回答
全 体	531	77.0	53.5	38.4	24.7	21.3	18.1	10.2	6.0	6.2	-
障状況	身体障がいのみ	86	74.4	50.0	24.4	20.9	23.3	23.3	7.0	14.0	4.7
	知的障がいのみ	321	76.9	60.7	46.1	28.7	23.1	20.9	10.6	-	5.6
	重複障がい	110	79.1	34.5	28.2	18.2	14.5	6.4	12.7	18.2	10.0
	の無回答	14	78.6	57.1	28.6	7.1	21.4	14.3	-	-	-
全 体	531	77.0	53.5	38.4	24.7	21.3	18.1	10.2	6.0	6.2	-
年齢	0～2歳	26	84.6	38.5	15.4	15.4	15.4	11.5	15.4	-	-
	3～5歳	101	88.1	38.6	29.7	13.9	11.9	19.8	10.9	5.0	6.9
	6～8歳	93	83.9	52.7	33.3	21.5	15.1	20.4	11.8	2.2	6.5
	9～11歳	82	75.6	67.1	34.1	28.0	22.0	22.0	4.9	8.5	11.0
	12～14歳	86	77.9	64.0	38.4	25.6	19.8	12.8	9.3	7.0	7.0
	15～17歳	130	63.1	51.5	55.4	35.4	34.6	19.2	11.5	8.5	3.1
	無回答	13	69.2	69.2	46.2	15.4	23.1	-	7.7	7.7	7.7

(4) 外出時に不便や困難を感じること

問22 お子さんの外出に関して、どのようなことに不便や困難を感じますか。(○は5つまで)

【図表6-58 外出時に不便や困難を感じること】



【図表6-59 障がいの状況別、年齢別 外出時に不便や困難を感じること】(%)

調査数 (人)	外出時に不便や困難を感じること											
	歩道を感じる道路に危険	なる人の目が気に	歩行者の悪さ	歩道に段差が多い	障がい者用トイレが少	な用障がい者用	な用障がい者用	少障がい者用	人付き添いをしてくれる	害道路が自転車などの障		
全 体	539	36.7	25.8	23.6	18.7	18.2	16.3	15.4	13.9	9.6	8.2	
障がいの状況	身体障がいのみ	88	27.3	6.8	22.7	21.6	10.2	15.9	19.3	5.7	9.1	
	知的障がいのみ	325	38.8	30.8	24.3	9.8	10.8	13.5	7.1	14.5	10.2	
	重複障がい	112	41.1	25.0	21.4	43.8	48.2	26.8	38.4	18.8	9.8	
	無回答	14	14.3	35.7	28.6	7.1	—	—	—	14.3	—	
全 体	539	36.7	25.8	23.6	18.7	18.2	16.3	15.4	13.9	9.6	8.2	
年齢	0~2歳	27	22.2	22.2	7.4	33.3	14.8	11.1	22.2	3.7	11.1	
	3~5歳	103	41.7	28.2	18.4	19.4	15.5	17.5	16.5	15.5	6.8	
	6~8歳	93	44.1	26.9	26.9	22.6	18.3	17.2	18.3	15.1	9.7	
	9~11歳	83	36.1	16.9	20.5	18.1	16.9	9.6	16.9	7.2	8.4	
	12~14歳	88	30.7	29.5	23.9	14.8	14.8	14.8	10.2	13.6	10.2	
	15~17歳	132	36.4	26.5	31.1	16.7	23.5	19.7	14.4	17.4	11.4	
	無回答	13	23.1	30.8	15.4	7.7	23.1	30.8	7.7	23.1	15.4	
調査数 (人)	外出時に不便や困難を感じること											
	いる施設が少なめ、いざ入れる力	エレベーターが少なめ、いざ入れる力	外に出るに費用がかかります	く信号の危険化を感じます	わからぬいドの使い方がわかります	I Cカードの使い方がわかります	標識がトベー少イレーナレードやの障	エレベーターなどやの障	られなに必要な情報が得	外出に機会が少づいな口者といツ用クのな信号	の機会が少づいな口者といツ用クのな信号	
全 体	539	6.9	5.9	5.0	3.3	3.0	2.6	2.6	1.1	10.4	22.3	1.7
障がいの状況	身体障がいのみ	88	4.5	1.1	—	—	5.7	2.3	1.1	14.8	37.5	1.1
	知的障がいのみ	325	3.4	6.8	6.5	3.7	0.9	2.2	0.3	7.7	22.2	2.2
	重複障がい	112	19.6	6.3	4.5	5.4	7.1	4.5	3.6	14.3	8.0	0.9
	無回答	14	—	14.3	7.1	—	—	—	—	14.3	42.9	—
全 体	539	6.9	5.9	5.0	3.3	3.0	2.6	2.6	1.1	10.4	22.3	1.7
年齢	0~2歳	27	11.1	7.4	3.7	—	3.7	3.7	—	3.7	22.2	—
	3~5歳	103	13.6	1.9	4.9	1.0	2.9	2.9	—	11.7	19.4	2.9
	6~8歳	93	10.8	3.2	5.4	1.1	2.2	2.2	1.1	12.9	19.4	—
	9~11歳	83	2.4	2.4	4.8	1.2	3.6	1.2	—	2.4	31.3	2.4
	12~14歳	88	2.3	11.4	5.7	5.7	1.1	1.1	3.4	13.6	17.0	2.3
	15~17歳	132	3.8	9.1	3.8	6.8	4.5	4.5	1.5	11.4	23.5	1.5
	無回答	13	7.7	7.7	15.4	7.7	—	—	—	15.4	30.8	—

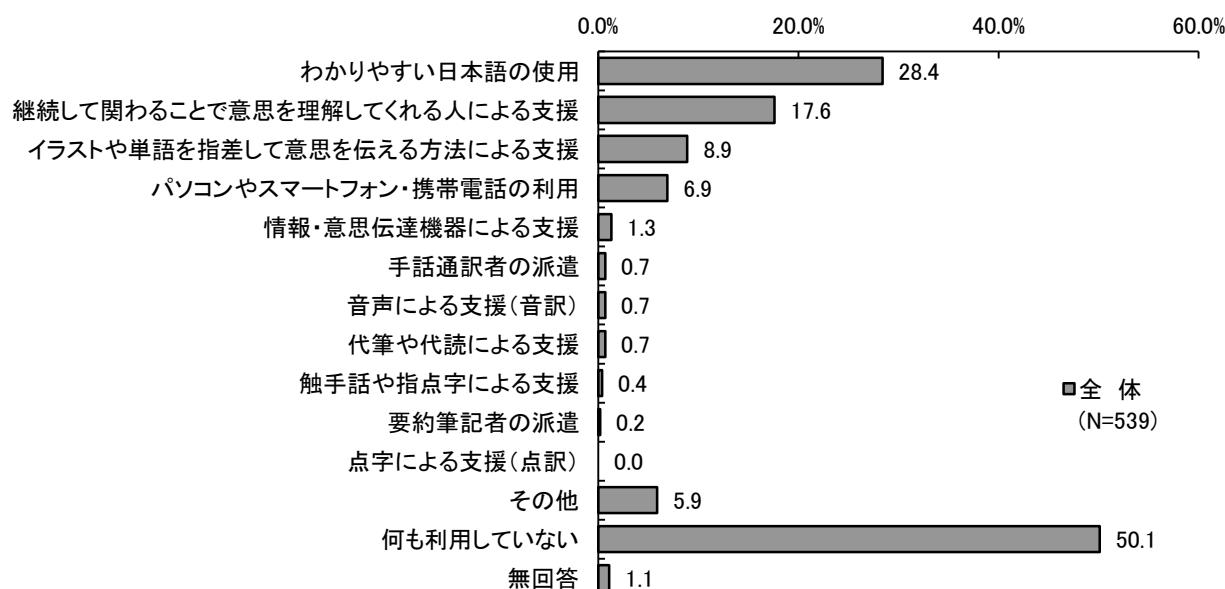
7. コミュニケーションについて

- 利用しているコミュニケーション支援について、障がいの状況別にみると、身体障がい児では「何も利用していない」(72.7%)が7割であるが、知的・重複障がい児では、5割以下となっている。また、知的障がい児では「わかりやすい日本語の使用」(38.2%)、重複障がい児では「継続して関わることで意思を理解してくれる人による支援」(36.6%)の割合がそれぞれ高くなっている。年齢別にみると、0~2歳では「何も利用していない」(85.2%)の割合が高く、8割を超えている。また、15~17歳では、「パソコンやスマートフォン・携帯電話の利用」(15.9%)の割合が、他に比べ高くなっている。【図表6-61】
- コミュニケーションで困っていることの有無について、「ある」(74.6%)が7割強を占めている。障がいの状況別にみると、知的・重複障がい児では、身体障がい児に比べてコミュニケーションで困っていることが「ある」の割合が高く、8割を超えている。【図表6-63】
- コミュニケーション(意思疎通)する上で困っていることの内容について、障がいの状況別にみると、身体障がい児では「相手の話が聞き取りづらい」(36.7%)、知的障がい児では、「難しい内容やあいまいな表現を理解することが難しい」(63.8%)、「話をうまく組み立てられない」(51.3%)の割合が高くなっている。【図表6-65】

(1) 利用しているコミュニケーション支援

問23 お子さんは、普段、どのようなコミュニケーション(意思疎通)の支援を利用していますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-60 利用しているコミュニケーション支援】



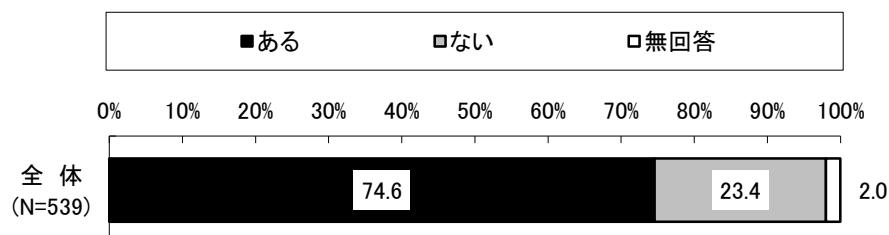
【図表6-61 障がいの状況別、年齢別 利用しているコミュニケーション支援】(%)

調査数 (人)	利用しているコミュニケーション支援							
	使 用 わ か り や す い 日本 語 の	人 意 思 に 継 続 し よ る 理 解 支 援 し て る 開 わ る く れ と る こ と る で	に し て い ラ 思 い ス ト や 意 思 ト や 伝 え る 方 を 指 法 差	用 フ パ オ ソ ン コ ン ・ 携 帶 ス マ ー ト 電 話 の 利	情 報 ・ 援 ソ ン コ ン ・ 機 器 に	手 話 通 訳 者 の 派 遣	訳 音 ・ 声 に よ る 支 援 (音)	
全 体	539	28.4	17.6	8.9	6.9	1.3	0.7	0.7
障 状 況 の	身体障がいのみ	88	4.5	5.7	1.1	5.7	1.1	2.3
	知的障がいのみ	325	38.2	14.8	11.7	7.7	0.9	0.3
	重複障がい	112	20.5	36.6	7.1	6.3	2.7	0.9
	無回答	14	14.3	7.1	7.1	—	—	—
全 体	539	28.4	17.6	8.9	6.9	1.3	0.7	0.7
年 齢	0~2歳	27	3.7	3.7	3.7	—	—	—
	3~5歳	103	28.2	5.8	13.6	2.9	—	—
	6~8歳	93	37.6	20.4	11.8	4.3	2.2	—
	9~11歳	83	31.3	9.6	3.6	2.4	—	1.2
	12~14歳	88	26.1	23.9	6.8	6.8	—	2.3
	15~17歳	132	27.3	27.3	8.3	15.9	3.0	1.5
	無回答	13	23.1	30.8	15.4	7.7	7.7	—
調査数 (人)	利用しているコミュニケーション支援							
	代 筆 や 代 読 に よ る 支 援	支 援 手 話 や 指 点 字 に よ る	要 約 筆 記 者 の 派 遣	訳 点 字 に よ る 支 援 (点)	そ の 他	何 も 利 用 し て い な い	無 回 答	
全 体	539	0.7	0.4	0.2	—	5.9	50.1	1.1
障 状 況 の	身体障がいのみ	88	1.1	—	1.1	—	5.7	72.7
	知的障がいのみ	325	0.6	0.3	—	—	5.5	45.8
	重複障がい	112	0.9	0.9	—	—	8.0	41.1
	無回答	14	—	—	—	—	—	78.6
全 体	539	0.7	0.4	0.2	—	5.9	50.1	1.1
年 齢	0~2歳	27	—	—	—	3.7	85.2	—
	3~5歳	103	1.0	—	—	7.8	55.3	1.9
	6~8歳	93	—	—	1.1	—	10.8	41.9
	9~11歳	83	—	1.2	—	—	3.6	55.4
	12~14歳	88	1.1	1.1	—	—	4.5	47.7
	15~17歳	132	1.5	—	—	—	4.5	43.2
	無回答	13	—	—	—	—	—	46.2

(2) コミュニケーションで困っていることの有無

問24 お子さんは、コミュニケーション（意思疎通）する上で、困っていることがありますか。
(○は1つだけ)

【図表6-62 コミュニケーションで困っていることの有無】



【図表6-63 障がいの状況別、年齢別 コミュニケーションで困っていることの有無】(%)

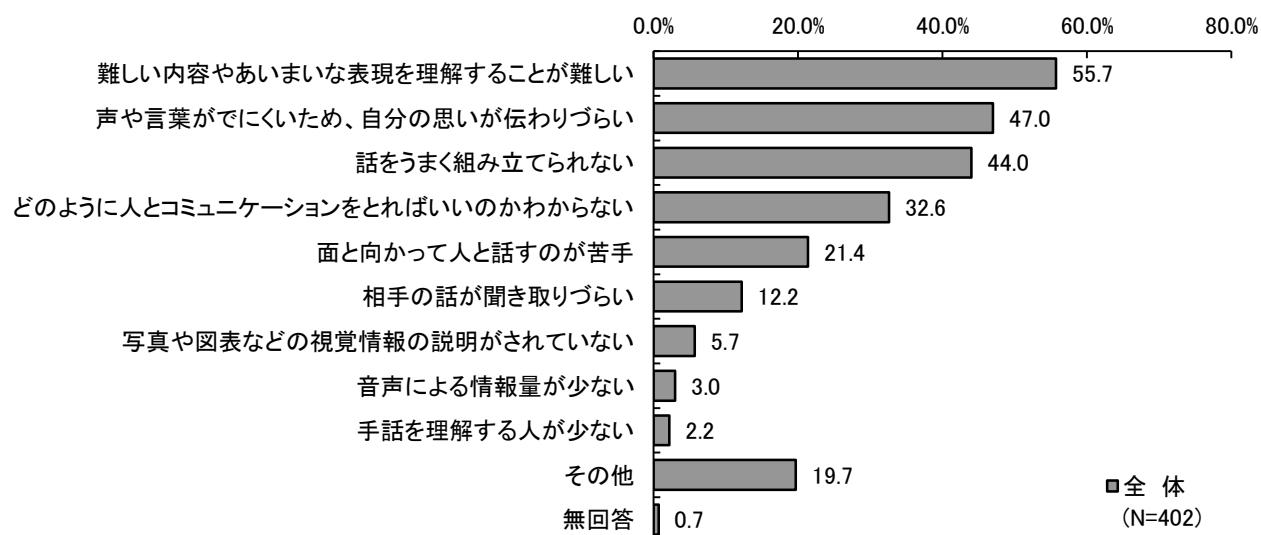
	調査数 (人)	コミュニケーションで困っていることの有無		
		ある	ない	無回答
全 体	539	74.6	23.4	2.0
障 状 の 無回答	88	34.1	61.4	4.5
身体障がいのみ	325	83.4	15.7	0.9
知的障がいのみ	112	81.3	15.2	3.6
重複障がい	14	71.4	28.6	-
全 体	539	74.6	23.4	2.0
年 齢	0~2歳	27	48.1	48.1
	3~5歳	103	77.7	19.4
	6~8歳	93	81.7	17.2
	9~11歳	83	73.5	24.1
	12~14歳	88	80.7	17.0
	15~17歳	132	70.5	28.0
	無回答	13	61.5	38.5

(3) コミュニケーションで困っていること

[問24で「1」を選ばれた方におたずねします]

問24-1 どのようなことで困っていますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-64 コミュニケーションで困っていること】



【図表6-65 障がいの状況別 コミュニケーションで困っていること】(%)

調査数 (人)		コミュニケーションで困っていること											無回答
		解難し るこ とが 難あ しい いな 表現 を理	思 いや が言 葉 わが りで づに くい ため 、 自 分 の	話 を う ま く 組 み 立 て ら れ な い	ど の よ う に と れ ば い い の か コ ミ ュ ニ カ ー シ ョ ン	面 と 向 か つ て 人 と 話 す の が 苦 手	相 手 の 話 が 聞 き 取 り づ らい	が 写 真 や 図 表 な ど の 視 覚 情 報 の 説 明	音 声 に よ る 情 報 量 が 少 な い	手 話 を 理 解 す る 人 が 少 な い	そ の 他		
全 体	402	55.7	47.0	44.0	32.6	21.4	12.2	5.7	3.0	2.2	19.7	0.7	
障 状 況 の み	身体障がいのみ	30	26.7	26.7	36.7	13.3	10.0	36.7	13.3	3.3	13.3	26.7	-
	知的障がいのみ	271	63.8	47.6	51.3	37.3	23.6	10.3	4.4	3.0	-	16.2	0.4
	重複障がい	91	39.6	51.6	25.3	25.3	16.5	7.7	6.6	3.3	5.5	29.7	2.2
	無回答	10	70.0	50.0	40.0	30.0	40.0	30.0	10.0	-	-	-	-

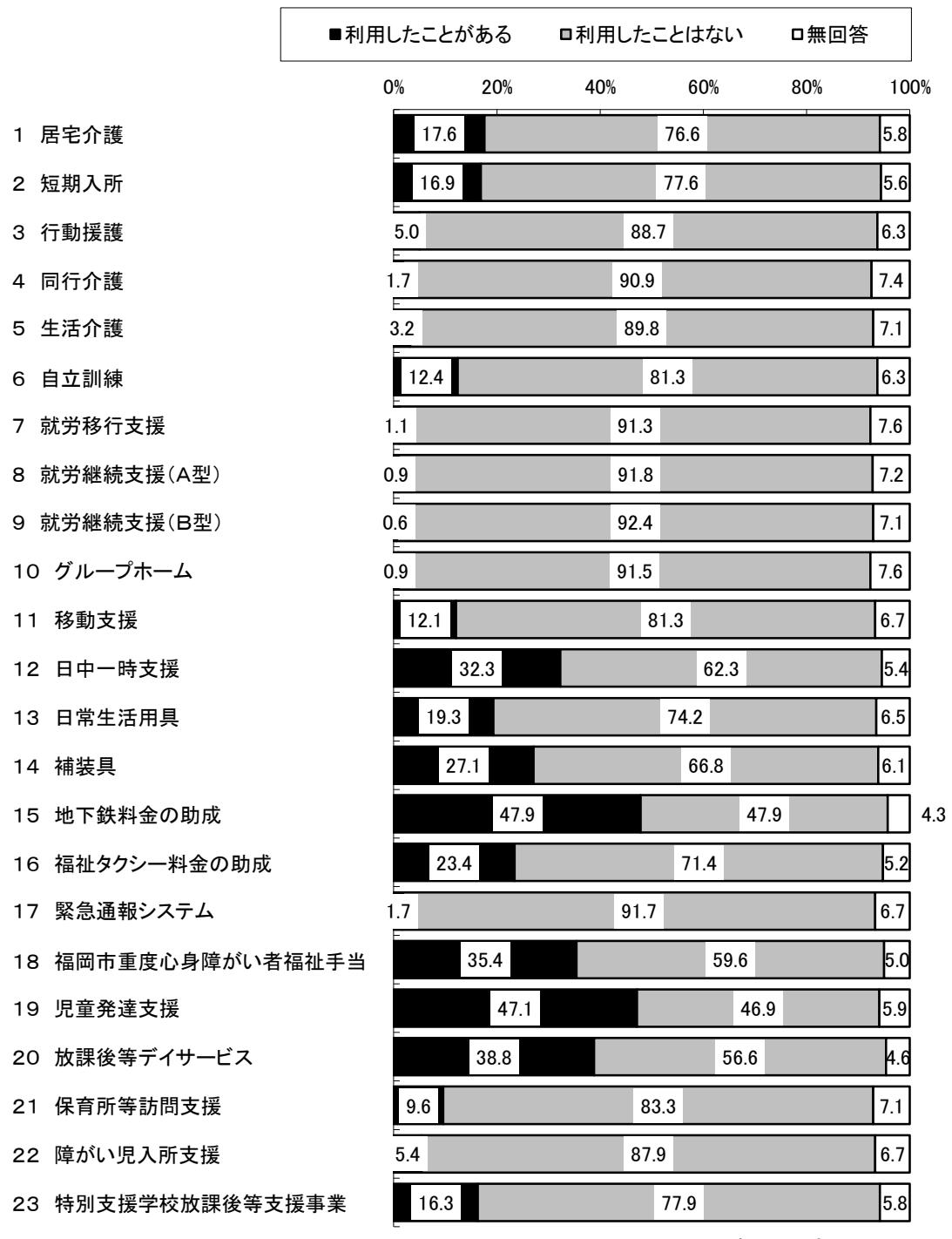
8. 福祉サービスの利用について

- ・福祉サービスの利用について、「利用状況」「利用意向」いずれでも「15 地下鉄料金の助成」が上位となっている。【図表6-66、図表6-67】
- ・対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスについて、障がいの状況別にみると、重複障がい児では「ある」(56.3%) が過半数を占める。対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスとしては「短期入所」(24.8%) が最も多く、次いで「日中一時支援」(23.3%)、「放課後等デイサービス」(21.8%) となっている。【図表6-69、図表6-70】
- ・障がいの状況別にみると、身体障がい児では「補装具」(38.5%)、知的障がい児では「放課後等デイサービス」(26.2%)、「児童発達支援」(25.2%)、重複障がい児では「短期入所」(39.7%) の割合がそれぞれ他の障がい児に比べて高くなっている。年齢別にみると、12歳以上では「グループホーム」、「就労継続支援（A・B型）」や「就労移行支援」といった就労支援関係の項目で回答がみられる。【図表6-71】

(1) 福祉サービスの利用状況

問25 お子さんは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。
1～23の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-66 福祉サービスの利用状況】

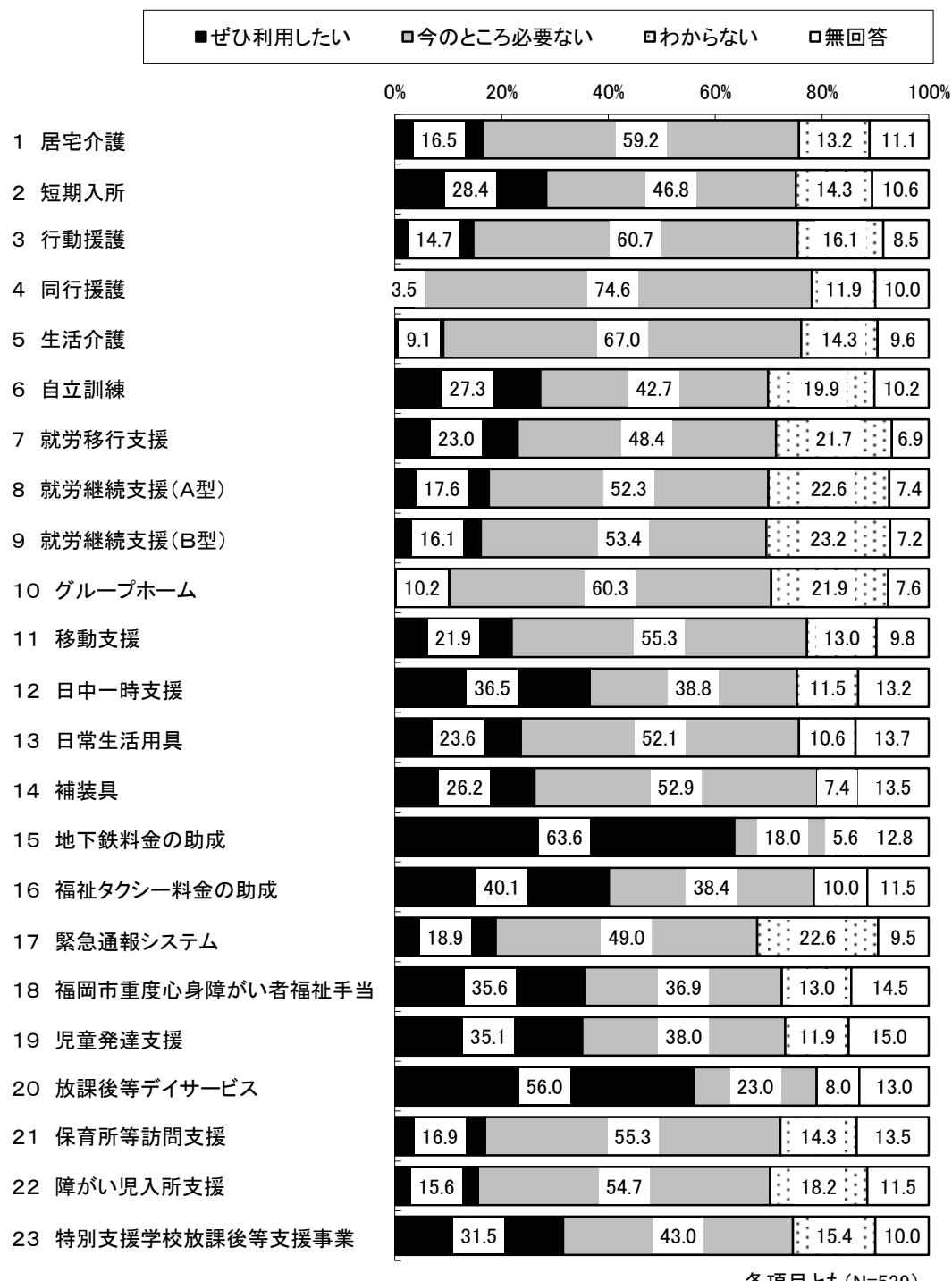


各項目とも(N=539)

(2) 福祉サービスの利用意向

問25 お子さんは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（2~3年以内に）利用したいと思いますか。
1~23の項目ごとに、利用状況と利用意向のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-67 福祉サービスの利用意向】

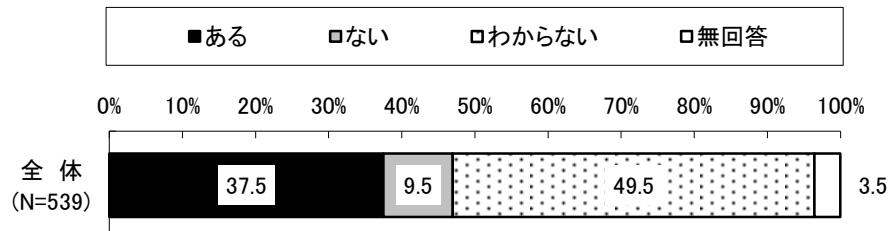


各項目とも(N=539)

(3) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無

問26 問25の1~23のサービス・事業の中で、サービスの量が不足していたり、利用対象・範囲の拡大などを図るべきだと思うものがありますか。(○は1つだけ)

【図表6-68 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】



【図表6-69 障がいの状況別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無】(%)

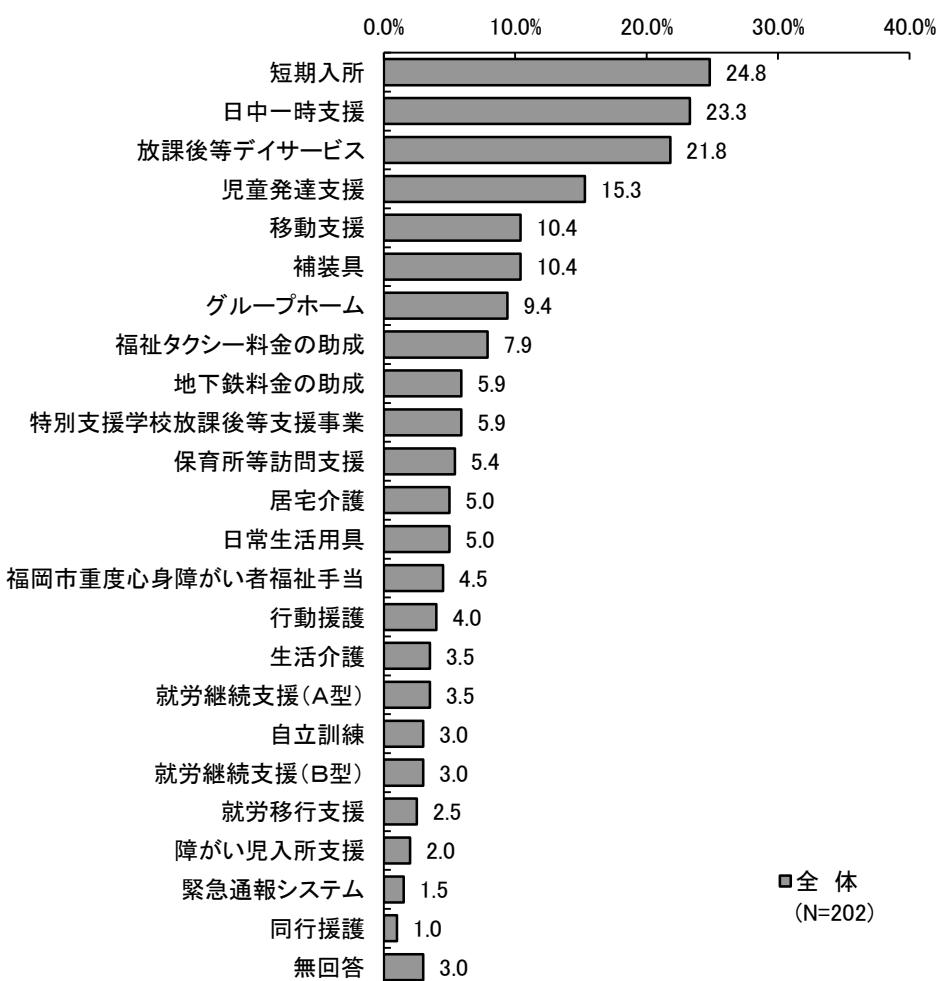
調査数(人)	全 体	対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービスの有無			
		ある	ない	わからな	無回答
全 体	539	37.5	9.5	49.5	3.5
障	身体障がいのみ	88	29.5	12.5	52.3
状	知的障がいのみ	325	32.9	10.2	54.2
が	重複障がい	112	56.3	6.3	33.9
い	の無回答	14	42.9	-	50.0
					7.1

(4) 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス

[問26で「1」を選ばれた方におたずねします]

問26-1 それはどのサービス・事業ですか。優先度が高いと思うものを3つまで選んでください。(事業番号は1~23の数字を記入してください)

【図表6-70 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】



【図表6-71 障がいの状況別、年齢別 対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス】(%)

調査数 (人)	対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス													
	短期入所	日中一時支援	ビス放課後等デイサ-	児童発達支援	移動支援	補装具	グループホーム	の福祉タクシ-料金	地下鉄料金の助成	後等特別支援学校放課	保育所等訪問支援	居宅介護		
全 体	202	24.8	23.3	21.8	15.3	10.4	10.4	9.4	7.9	5.9	5.9	5.4	5.0	
障 状 況 い の	身体障がいのみ	26	7.7	7.7	7.7	-	7.7	38.5	3.8	15.4	3.8	11.5	-	11.5
	知的障がいのみ	107	20.6	27.1	26.2	25.2	9.3	1.9	13.1	3.7	8.4	1.9	8.4	0.9
	重複障がい	63	39.7	20.6	19.0	4.8	14.3	14.3	6.3	12.7	3.2	9.5	3.2	9.5
	無回答	6	16.7	50.0	33.3	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	
全 体	202	24.8	23.3	21.8	15.3	10.4	10.4	9.4	7.9	5.9	5.9	5.4	5.0	
年 齢	0~2歳	13	7.7	46.2	7.7	38.5	7.7	7.7	-	7.7	-	7.7	7.7	7.7
	3~5歳	49	16.3	40.8	22.4	32.7	4.1	8.2	-	8.2	-	2.0	16.3	-
	6~8歳	37	13.5	18.9	24.3	18.9	5.4	18.9	2.7	8.1	5.4	8.1	5.4	10.8
	9~11歳	20	40.0	5.0	20.0	10.0	20.0	5.0	-	10.0	10.0	15.0	-	10.0
	12~14歳	27	33.3	14.8	25.9	3.7	22.2	7.4	18.5	11.1	3.7	7.4	-	3.7
	15~17歳	50	34.0	12.0	22.0	-	12.0	12.0	24.0	4.0	12.0	2.0	-	4.0
	無回答	6	33.3	50.0	16.7	-	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-

調査数 (人)	対象・範囲の拡大をしてほしい福祉サービス													
	日常生活用具	が福 い者 市 福 重 度 手 心 当 身 障	行 動 援 護	生 活 介 護	型 就 労 継 続 支 援 ～ A	自 立 訓 練	型 就 労 継 続 支 援 ～ B	就 労 移 行 支 援	障 が い 児 入 所 支 援	緊 急 通 報 シ ス テ ム	同 行 援 護	無 回 答		
全 体	202	5.0	4.5	4.0	3.5	3.5	3.0	3.0	2.5	2.0	1.5	1.0	3.0	
障 状 況 い の	身体障がいのみ	26	7.7	11.5	-	-	3.8	-	3.8	3.8	-	3.8	-	7.7
	知的障がいのみ	107	2.8	3.7	5.6	-	4.7	4.7	3.7	2.8	0.9	0.9	-	2.8
	重複障がい	63	7.9	3.2	3.2	11.1	1.6	1.6	1.6	-	3.2	1.6	3.2	1.6
	無回答	6	-	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	-	-	
全 体	202	5.0	4.5	4.0	3.5	3.5	3.0	3.0	2.5	2.0	1.5	1.0	3.0	
年 齢	0~2歳	13	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3~5歳	49	10.2	4.1	2.0	2.0	-	6.1	-	-	4.1	-	-	2.0
	6~8歳	37	-	2.7	8.1	-	-	5.4	-	-	2.7	2.7	2.7	5.4
	9~11歳	20	-	5.0	-	10.0	-	-	-	-	-	5.0	-	-
	12~14歳	27	3.7	3.7	7.4	-	3.7	-	3.7	-	-	-	3.7	3.7
	15~17歳	50	6.0	6.0	4.0	8.0	10.0	2.0	10.0	8.0	-	2.0	-	4.0
	無回答	6	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	16.7	-	-	

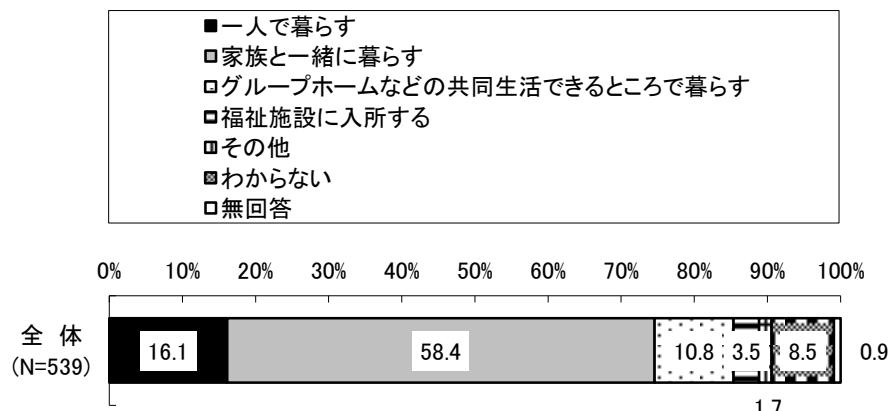
9. 今後の暮らし方について

- 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方について、回答者全体（315人）では「グループホームなどの共同生活できるところで暮らす」（32.7%）が最も多くなっているが、障がいの状況別にみると、身体障がい児では「一人で暮らす」（47.5%）、知的障がい児では「グループホームなどの共同生活できるところで暮らす」（39.8%）、重複障がい児では「福祉施設に入所する」（47.6%）の割合が高い。【図表6-75】
- 自宅や地域で生活するために必要な条件について、障がいの状況別にみると、身体障がい児と知的障がい児では「仕事があること」の割合が高くなっています。このほか身体障がい児では「主治医や医療機関が近くにあること」（30.7%）、知的障がい児では「グループホームなどの仲間と共同生活できる場があること」（16.9%）、重複障がい児では、「短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること」（42.0%）や「昼間の介護を頼める人がいること」（31.3%）等の割合が高い。【図表6-77】

（1）将来の暮らし方

問27 お子さんが、将来、成人した後、どのように暮らしてほしいと思いますか。
(○は1つだけ)

【図表6-72 将来の暮らし方】



【図表6-73 障がいの状況別、年齢別 将来の暮らし方】(%)

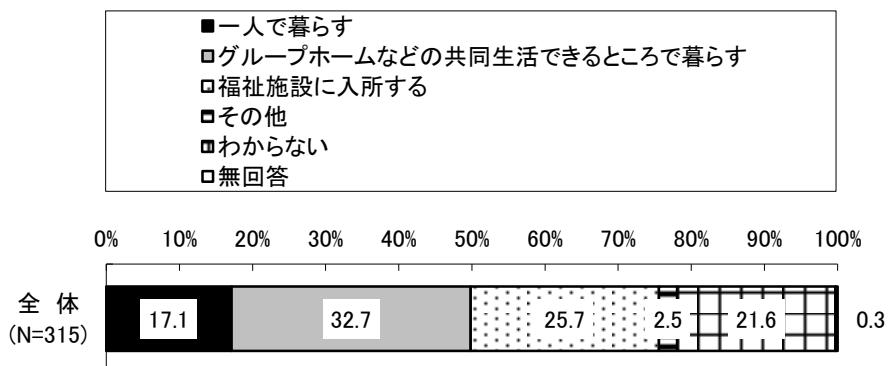
調査数（人）	障がいの状況	将来の暮らし方						
		一人で暮らす	家族と一緒に暮らす	るどぐとこのルームで生ホ暮活一らでムすきな	る福祉施設に入所する	その他	わからない	無回答
全 体	539	16.1	58.4	10.8	3.5	1.7	8.5	0.9
身体障がいのみ	88	36.4	45.5	2.3	—	4.5	9.1	2.3
知的障がいのみ	325	14.2	57.2	13.5	4.3	0.9	9.2	0.6
重複障がい	112	2.7	73.2	10.7	4.5	1.8	6.3	0.9
無回答	14	42.9	50.0	—	—	—	7.1	—
全 体	539	16.1	58.4	10.8	3.5	1.7	8.5	0.9
0~2歳	27	18.5	44.4	11.1	—	3.7	22.2	—
3~5歳	103	18.4	51.5	9.7	3.9	1.0	14.6	1.0
6~8歳	93	19.4	60.2	7.5	2.2	3.2	7.5	—
9~11歳	83	16.9	60.2	9.6	2.4	2.4	7.2	1.2
12~14歳	88	10.2	67.0	10.2	3.4	1.1	5.7	2.3
15~17歳	132	14.4	58.3	14.4	6.1	0.8	5.3	0.8
無回答	13	23.1	61.5	15.4	—	—	—	—

(2) 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方

[問27で「2.」を選ばれた方におたずねします]

問27-1 将来、お子さんが成人した後、さまざまな理由でご家族との同居ができなくなったとき、どのように暮らしてほしいと思いますか。(○は1つだけ)

【図表6-74 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方】



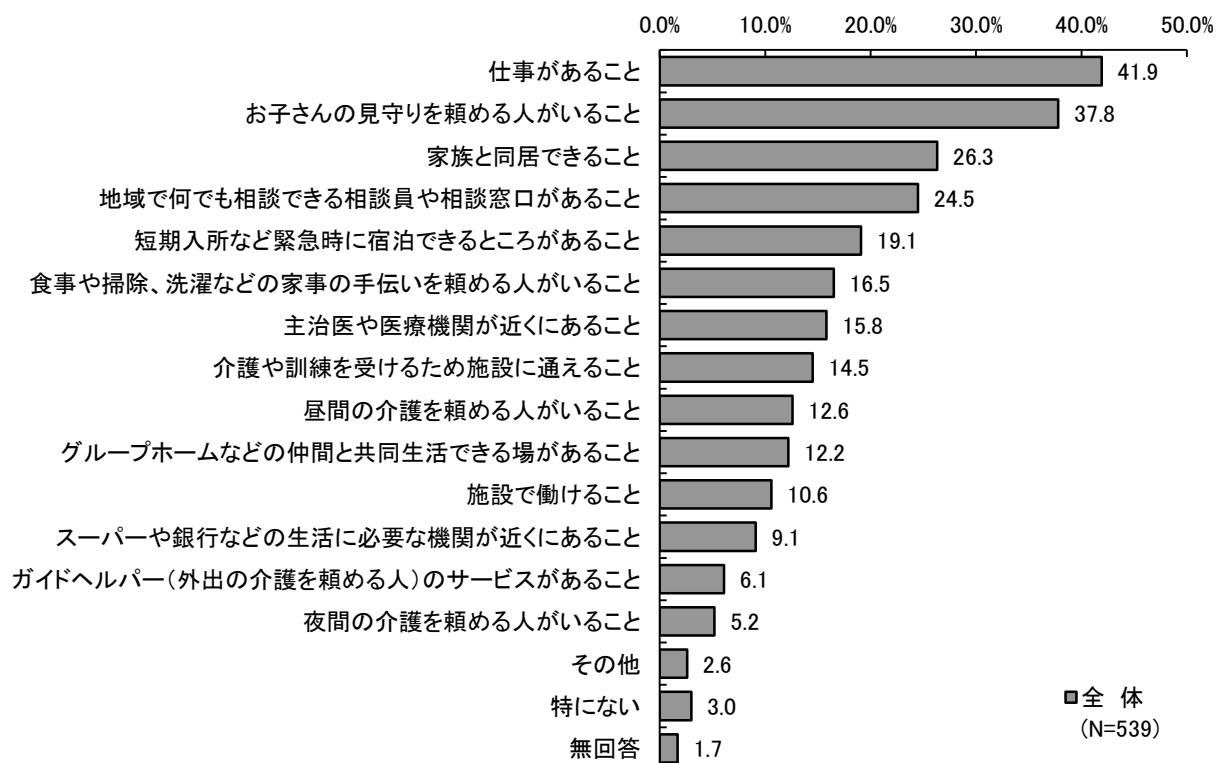
【図表6-75 障がいの状況別 将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方】(%)

調査数(人)	将来、家族と同居できない場合に希望する暮らし方					
	一人で暮らす	で共同生活できるところ	福祉施設に入所する	その他	わからない	無回答
全 体	315	17.1	32.7	25.7	2.5	21.6
障 状 の						0.3
身体障がいのみ	40	47.5	12.5	12.5	7.5	20.0
知的障がいのみ	186	15.6	39.8	18.8	2.7	22.6
重複障がい	82	4.9	28.0	47.6	—	19.5
無回答	7	28.6	14.3	28.6	—	28.6

(3) 自宅や地域で生活するために必要な条件

問28 お子さんが、自宅や地域で生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【図表6-76 自宅や地域で生活するために必要な条件】



【図表6-77 障がいの状況別、年齢別 自宅や地域で生活するために必要な条件】(%)

調査数 (人)	自宅や地域で生活するために必要な条件									
	仕事があること	めお子さんがいる見守りを頼ること	家族と同居できること	ある地域で何事も相談窓口でがきこと	宿泊期に入所など緊急が時あに	の食事や手除けなど	く主に治ある医や医療機関が近いこと	め介護施設や訓練を受けること	が昼間の介護を頼める人	
全 体	539	41.9	37.8	26.3	24.5	19.1	16.5	15.8	14.5	12.6
障 状況の 身体障がいのみ	88	58.0	21.6	23.9	29.5	5.7	10.2	30.7	6.8	6.8
知的障がいのみ	325	47.4	41.8	26.8	25.5	15.1	20.3	9.8	12.0	8.0
重複障がい	112	9.8	41.1	26.8	15.2	42.0	11.6	19.6	28.6	31.3
の 無回答	14	71.4	21.4	28.6	42.9	14.3	7.1	28.6	7.1	7.1
全 体	539	41.9	37.8	26.3	24.5	19.1	16.5	15.8	14.5	12.6
年 齢	0~2歳	27	37.0	63.0	29.6	22.2	11.1	14.8	25.9	14.8
	3~5歳	103	36.9	50.5	19.4	21.4	15.5	15.5	16.5	22.3
	6~8歳	93	36.6	41.9	32.3	25.8	12.9	10.8	17.2	21.5
	9~11歳	83	48.2	39.8	26.5	25.3	20.5	24.1	16.9	7.2
	12~14歳	88	40.9	26.1	27.3	31.8	12.5	17.0	18.2	6.8
	15~17歳	132	45.5	28.8	25.0	19.7	28.8	18.9	12.1	10.6
	無回答	13	61.5	15.4	38.5	38.5	23.1	—	15.4	15.4

調査数 (人)	自宅や地域で生活するために必要な条件								
	場所が間隔あると共に生活でなきどるの	施設で働くこと	く生生活に必要なこと	サのガイドブックをヘルプする機関などが近い	が夜間の介護を頼める人	その他の	特にない	無回答	
全 体	539	12.2	10.6	9.1	6.1	5.2	2.6	3.0	1.7
障 状況の 身体障がいのみ	88	2.3	—	11.4	3.4	—	1.1	6.8	—
知的障がいのみ	325	16.9	14.2	9.5	6.5	4.9	3.1	2.8	1.5
重複障がい	112	8.0	8.9	4.5	8.0	10.7	2.7	0.9	3.6
の 無回答	14	—	7.1	21.4	—	—	—	—	—
全 体	539	12.2	10.6	9.1	6.1	5.2	2.6	3.0	1.7
年 齢	0~2歳	27	11.1	7.4	3.7	—	3.7	—	—
	3~5歳	103	6.8	6.8	7.8	5.8	2.9	4.9	2.9
	6~8歳	93	10.8	8.6	6.5	4.3	5.4	1.1	3.2
	9~11歳	83	13.3	7.2	7.2	4.8	4.8	2.4	3.6
	12~14歳	88	15.9	20.5	15.9	8.0	4.5	3.4	—
	15~17歳	132	14.4	11.4	9.1	7.6	9.1	1.5	5.3
	無回答	13	15.4	7.7	15.4	15.4	—	—	—

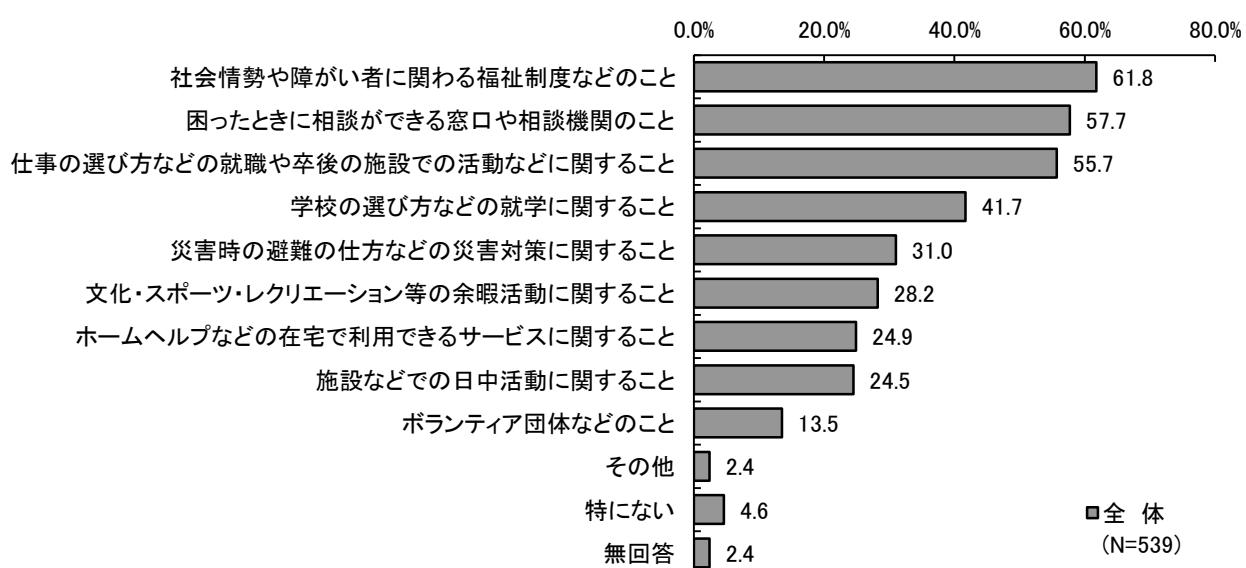
10. 情報収集や相談について

- ・福岡市からの情報で知りたいことについて、障がいの状況別にみると、知的障がい児では「仕事の選び方などの就職や卒後の施設での活動などに関するここと」(64.9%) や「文化・スポーツ・レクリエーション等の余暇活動に関するここと」(33.2%) 等の割合が高く、重複障がい児では「ホームヘルプなどの在宅で利用できるサービスに関するここと」(43.8%) の割合が高い。年齢別にみると、「学校の選び方などの就学に関するここと」の割合は概ね年齢が低いほど高く、5歳以下では6割を超えており、一方、「仕事の選び方などの就職や卒後の施設での活動などに関するここと」の割合は概ね年齢が高いほど高くなっている。【図表6-79】
- ・福岡市の福祉施策情報の入手先としては、「市政だより」(57.3%) が6割弱と最も多い。障がいの状況別にみても各障がいとも「市政だより」が半数を超えて最も多く、大きな違いは見られないが、知的障がい児では、「こども総合相談センター(児童相談所)」(11.7%)、重複障がい児では「福祉事務所(区役所の福祉・介護保険課)」(24.1%) 等の割合が高くなっている。年齢別にみると、「あいあいセンター・西部療育センター・東部療育センター」の割合は5歳以下で高く、6割を占めている。【図表6-81】
- ・育児に関する相談相手について、障がいの状況別にみると、身体障がい児では他に比べて「親や兄弟などの親族」(68.2%) の割合が高く、重複障がい児では、「通所支援施設や療育センターの職員」(51.8%)、「子どもが通所支援施設に通う友人」(46.4%)、「かかりつけの医師」(41.1%) の割合が高い。年齢別にみると、0~2歳では「親や兄弟などの親族」(81.5%) が8割と高い割合を占め、「通所支援施設や療育センターの職員」や「子どもが通所支援施設に通う友人」の割合は、5歳以下の年齢層で高くなっている。【図表6-89】

(1) 福岡市からの情報で知りたいこと

問29 お子さんの生活に関することで、福岡市からどのような情報が知りたいですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-78 福岡市からの情報で知りたいこと】



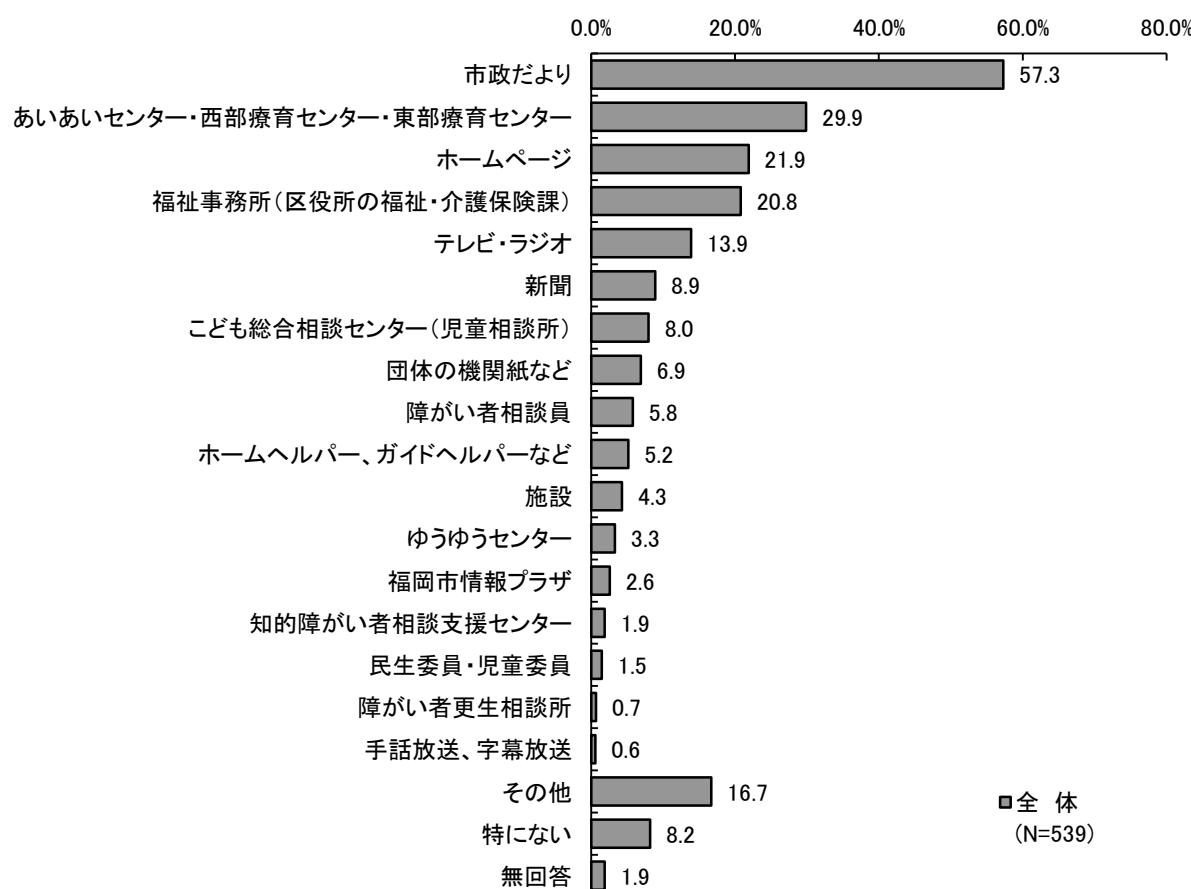
【図表6-79 障がいの状況別、年齢別 福岡市からの情報で知りたいこと】(%)

調査数 (人)	福岡市からの情報で知りたいこと													
	制度社会情勢など の障がい者に 関わる福祉	相談機関た くと相談が できる窓口や など	施設での活 動などに就 職や卒後の こと	仕事の選 び方など の就学に 関する	学校の選 び方など の災害対 策に 関する	災害時 に避難の 仕方など の災害対 策に 関する	文化・ 等の余暇活 動に 関するこ と	きるサ ービスに 関するこ と	ホームヘル プなど の在宅で 利用で ること	施設など での日中活 動に 関するこ と	ボランティア 団体など のこと	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	539	61.8	57.7	55.7	41.7	31.0	28.2	24.9	24.5	13.5	2.4	4.6	2.4	
障 状 況 の 無回答	88	64.8	53.4	40.9	46.6	31.8	14.8	13.6	4.5	9.1	2.3	8.0	1.1	
知的障がいのみ	325	60.9	58.8	64.9	44.3	28.3	33.2	21.8	25.8	15.1	2.8	4.3	2.2	
重複障がい	112	64.3	57.1	39.3	29.5	41.1	23.2	43.8	36.6	14.3	1.8	3.6	4.5	
無回答	14	42.9	64.3	64.3	50.0	7.1	35.7	14.3	21.4	—	—	—	—	
全 体	539	61.8	57.7	55.7	41.7	31.0	28.2	24.9	24.5	13.5	2.4	4.6	2.4	
年 齢	0~2歳	27	74.1	66.7	29.6	66.7	40.7	25.9	33.3	22.2	7.4	3.7	7.4	—
	3~5歳	103	60.2	58.3	48.5	68.0	24.3	26.2	30.1	19.4	11.7	3.9	1.9	1.9
	6~8歳	93	69.9	58.1	49.5	51.6	33.3	24.7	32.3	30.1	12.9	—	2.2	2.2
	9~11歳	83	51.8	54.2	63.9	44.6	26.5	25.3	19.3	14.5	13.3	—	6.0	1.2
	12~14歳	88	56.8	58.0	64.8	36.4	34.1	28.4	21.6	25.0	12.5	2.3	2.3	3.4
	15~17歳	132	62.1	56.1	58.3	12.1	33.3	34.1	18.9	30.3	17.4	4.5	9.1	3.8
	無回答	13	84.6	69.2	69.2	30.8	30.8	30.8	30.8	30.8	15.4	—	—	—

(2) 福岡市の福祉施策情報の入手先

問30 福岡市が実施している福祉施策について、あなたが知る手掛りとなっているのは、次のどれですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-80 福岡市の福祉施策情報の入手先】



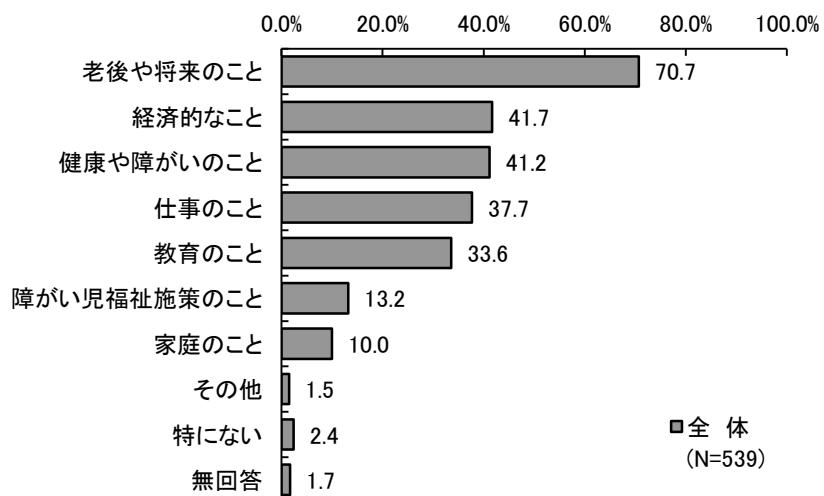
【図表6-81 障がいの状況別、年齢別 福岡市の福祉施策情報の入手先】(%)

		調査数 (人)	福岡市の福祉施策情報の入手先									
			施設	ゆうゆうセンター	福岡市情報プラザ	セントラル	知的障がい者相談支援	民生委員・児童委員	障がい者更生相談所	手話放送、字幕放送	その他	特にない
全 体		539	4.3	3.3	2.6	1.9	1.5	0.7	0.6	16.7	8.2	1.9
障	身体障がいのみ	88	1.1	—	2.3	—	—	1.1	2.3	15.9	8.0	1.1
状	知的障がいのみ	325	5.2	5.2	3.1	2.5	1.8	0.6	0.3	16.0	9.2	2.2
が	重複障がい	112	4.5	—	1.8	1.8	1.8	0.9	—	18.8	6.3	1.8
況	の無回答	14	—	7.1	—	—	—	—	—	21.4	—	—
全 体		539	4.3	3.3	2.6	1.9	1.5	0.7	0.6	16.7	8.2	1.9
年齢	0~2歳	27	—	—	3.7	—	—	—	—	25.9	—	3.7
	3~5歳	103	4.9	2.9	—	—	—	—	1.0	16.5	4.9	1.9
	6~8歳	93	5.4	1.1	1.1	2.2	3.2	1.1	—	12.9	8.6	1.1
	9~11歳	83	2.4	3.6	4.8	2.4	—	—	1.2	13.3	12.0	1.2
	12~14歳	88	2.3	1.1	2.3	2.3	3.4	—	—	15.9	8.0	3.4
	15~17歳	132	6.1	6.1	3.8	2.3	0.8	0.8	0.8	19.7	9.8	1.5
	無回答	13	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	—	23.1	7.7	—

(3) 困っていることや心配なこと

問31 お子さんを育てていくうえで、困っていることや心配なこと、悩んでいることがありますか。(○は3つまで)

【図表6-82 困っていることや心配なこと】



【図表6-83 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別 困っていることや心配なこと】(%)

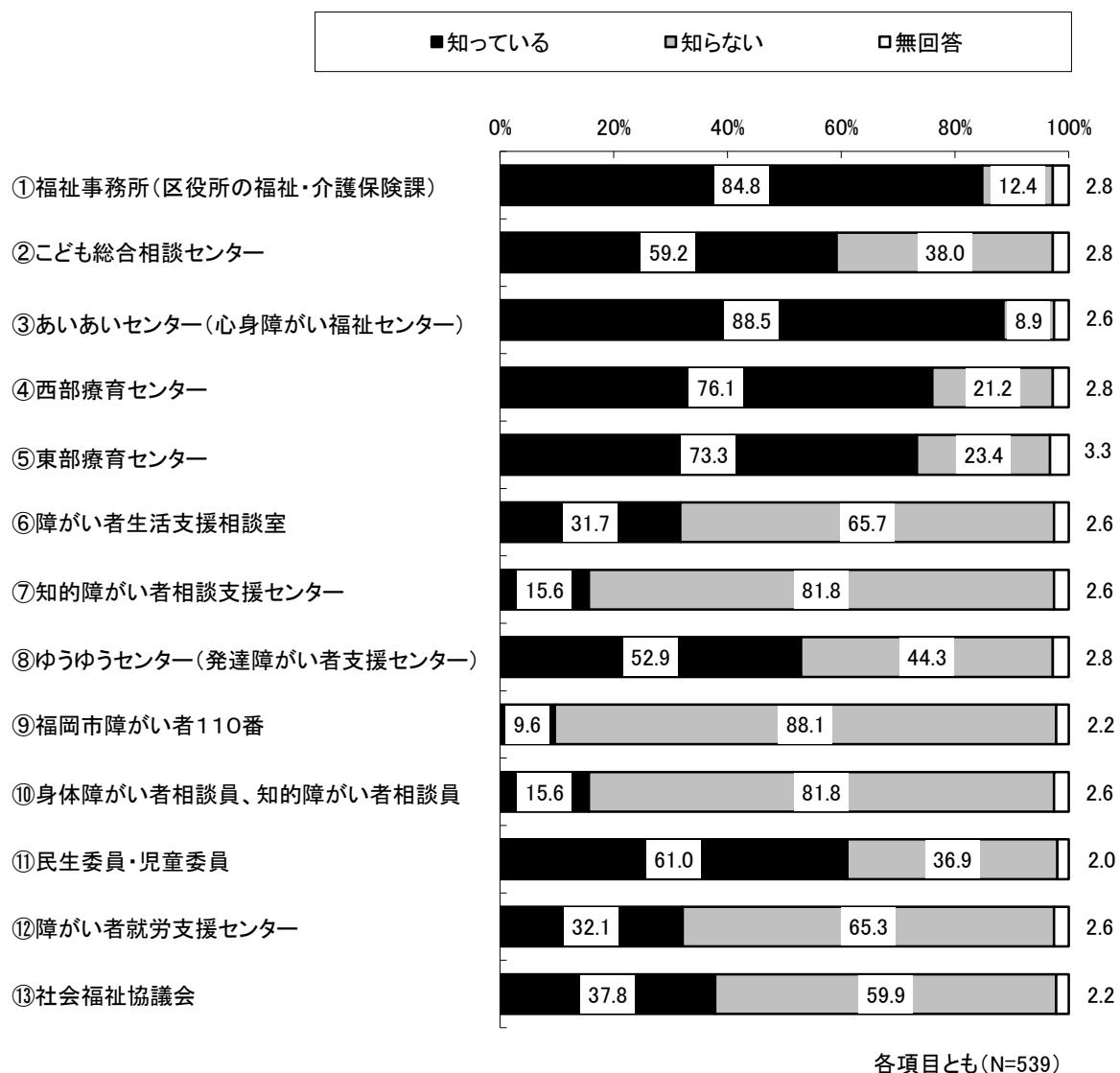
調査数(人)	老後や将来のこと	経済的なこと	と健康や障がいのこと	仕事のこと	教育のこと	の障がい児福祉施策	困っていることや心配なこと			
							家庭のこと	その他	特になし	無回答
全 体	539	70.7	41.7	41.2	37.7	33.6	13.2	10.0	1.5	2.4
障がいの状況										
身体障がいのみ	88	51.1	37.5	52.3	42.0	39.8	15.9	4.5	1.1	4.5
知的障がいのみ	325	73.8	41.8	33.2	42.5	35.7	12.3	10.2	1.5	2.2
重複障がい	112	75.9	44.6	58.9	17.9	19.6	15.2	13.4	1.8	1.8
の無回答	14	78.6	42.9	14.3	57.1	57.1	—	14.3	—	—
全 体	539	70.7	41.7	41.2	37.7	33.6	13.2	10.0	1.5	2.4
年齢										
0~2歳	27	63.0	44.4	51.9	22.2	40.7	33.3	3.7	—	3.7
3~5歳	103	61.2	33.0	46.6	24.3	51.5	15.5	11.7	1.9	1.9
6~8歳	93	73.1	37.6	35.5	30.1	44.1	16.1	8.6	3.2	2.2
9~11歳	83	67.5	39.8	31.3	42.2	41.0	12.0	4.8	2.4	3.6
12~14歳	88	76.1	47.7	43.2	42.0	26.1	9.1	6.8	1.1	1.1
15~17歳	132	77.3	47.7	43.9	50.0	11.4	9.8	15.9	—	2.3
無回答	13	61.5	46.2	38.5	46.2	30.8	—	15.4	—	7.7
全 体	539	70.7	41.7	41.2	37.7	33.6	13.2	10.0	1.5	2.4
世帯状況										
親と子のみ(母子家庭)	61	67.2	59.0	42.6	45.9	31.1	8.2	11.5	3.3	—
親と子のみ(父子家庭)	16	31.3	25.0	31.3	37.5	37.5	—	18.8	—	25.0
親と子のみ(両親あり)	407	73.0	38.6	43.0	35.6	34.4	14.5	9.3	1.5	2.0
三世代同居(親と子と祖父母)	45	71.1	53.3	33.3	46.7	28.9	15.6	11.1	—	2.2
その他	6	50.0	50.0	16.7	33.3	50.0	—	16.7	—	—
無回答	4	75.0	25.0	—	25.0	—	—	—	—	25.0

(4) 相談窓口の認知度

問32 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑬の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-84 相談窓口の認知度】



【図表6-85 障がいの状況別、年齢別 相談窓口の認知度（「知っている」の割合）】（%）

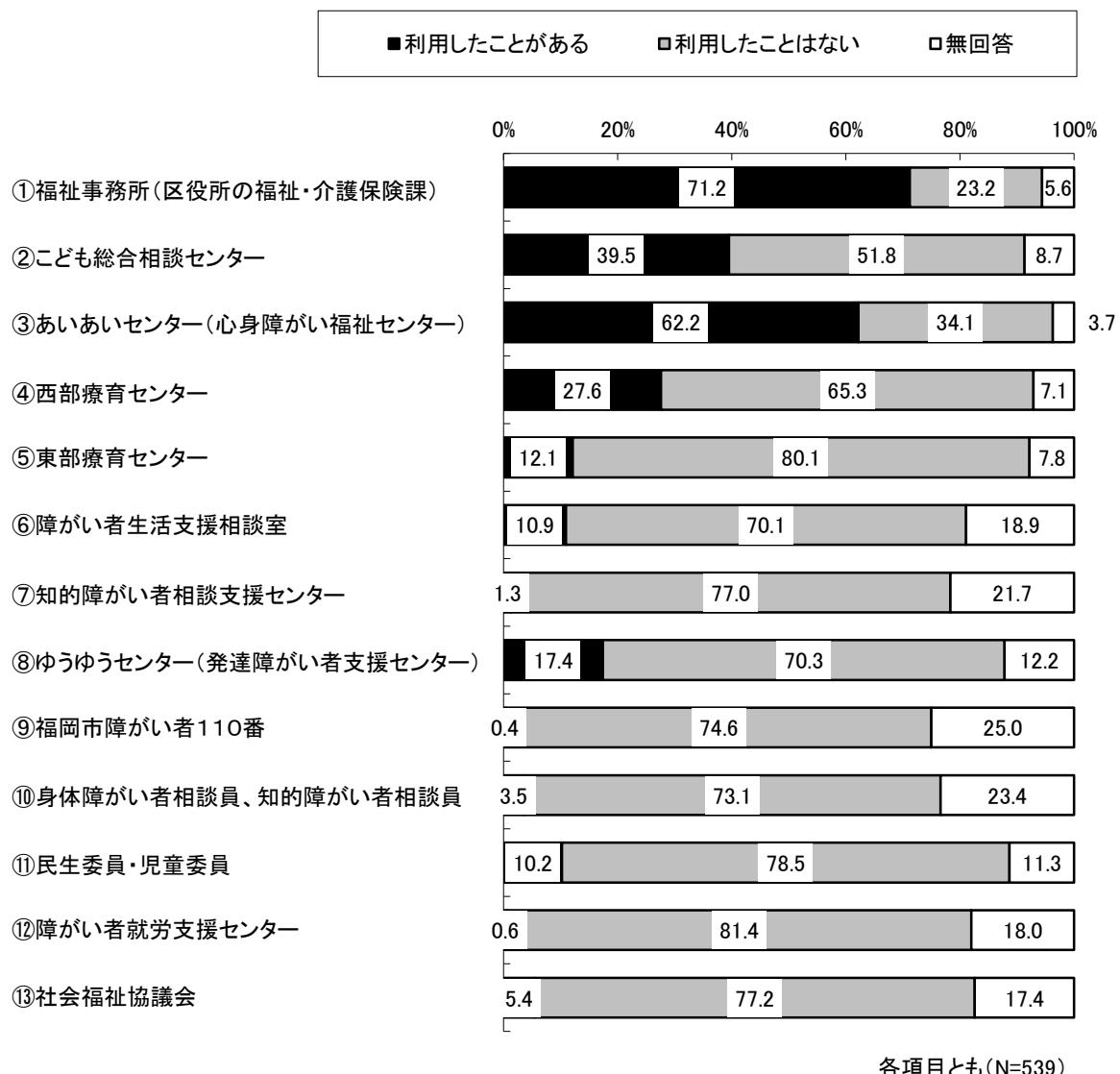
調査数（人）	相談窓口の認知度（「知っている」の割合）														
	祉① ・福 介祉 護 事務 保 險 所 課 （ 区 役 所 の 福 ）	② こども 総合 相談 セン タ ー	障③ が あ い 福 祉 セ ン タ ー	④ 西 部 療 育 セ ン タ ー	⑤ 東 部 療 育 セ ン タ ー	⑥ 障 が い 者 生 活 支 援 相 談 室	ン⑦ タ ー 知 的 障 が い 者 支 援 相 談 室	障⑧ が ゆ い 者 支 援 セ ン タ ー （ 発 達 セ ン タ ー ）	⑨ 福 岡 市 障 が い 者 1 1 0 番	的⑩ 身 体 障 が い 者 相 談 員 、 知	⑪ 民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	タ⑫ 障 が い 者 就 労 支 援 セ ン	⑬ 社 会 福 祉 協 議 会		
全 体	539	84.8	59.2	88.5	76.1	73.3	31.7	15.6	52.9	9.6	15.6	61.0	32.1	37.8	
障 状 が 況 い の の	身体障がいのみ	88	87.5	22.7	84.1	62.5	62.5	28.4	11.4	29.5	13.6	11.4	63.6	26.1	38.6
	知的障がいのみ	325	83.4	67.4	88.9	76.9	74.2	31.4	17.8	62.8	8.6	15.7	62.2	36.3	36.3
	重複障がい	112	90.2	65.2	91.1	84.8	79.5	34.8	12.5	42.9	10.7	20.5	60.7	27.7	43.8
	無回答	14	57.1	50.0	85.7	71.4	71.4	35.7	14.3	50.0	—	—	21.4	7.1	21.4
全 体	539	84.8	59.2	88.5	76.1	73.3	31.7	15.6	52.9	9.6	15.6	61.0	32.1	37.8	
年 齢	0~2歳	27	88.9	48.1	88.9	85.2	96.3	22.2	11.1	22.2	—	7.4	59.3	14.8	37.0
	3~5歳	103	81.6	46.6	89.3	87.4	83.5	31.1	4.9	36.9	4.9	15.5	51.5	20.4	22.3
	6~8歳	93	89.2	55.9	90.3	82.8	76.3	34.4	17.2	60.2	9.7	14.0	64.5	29.0	30.1
	9~11歳	83	81.9	61.4	92.8	80.7	79.5	30.1	19.3	57.8	13.3	12.0	63.9	31.3	44.6
	12~14歳	88	81.8	67.0	83.0	68.2	63.6	22.7	14.8	56.8	4.5	12.5	61.4	33.0	39.8
	15~17歳	132	87.1	65.9	87.1	63.6	62.1	37.9	22.7	61.4	17.4	23.5	66.7	47.0	50.0
	無回答	13	84.6	69.2	92.3	69.2	61.5	46.2	7.7	46.2	—	7.7	38.5	30.8	38.5

(5) 相談窓口の利用状況

問32 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑬の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

【図表6-86 相談窓口の利用状況】

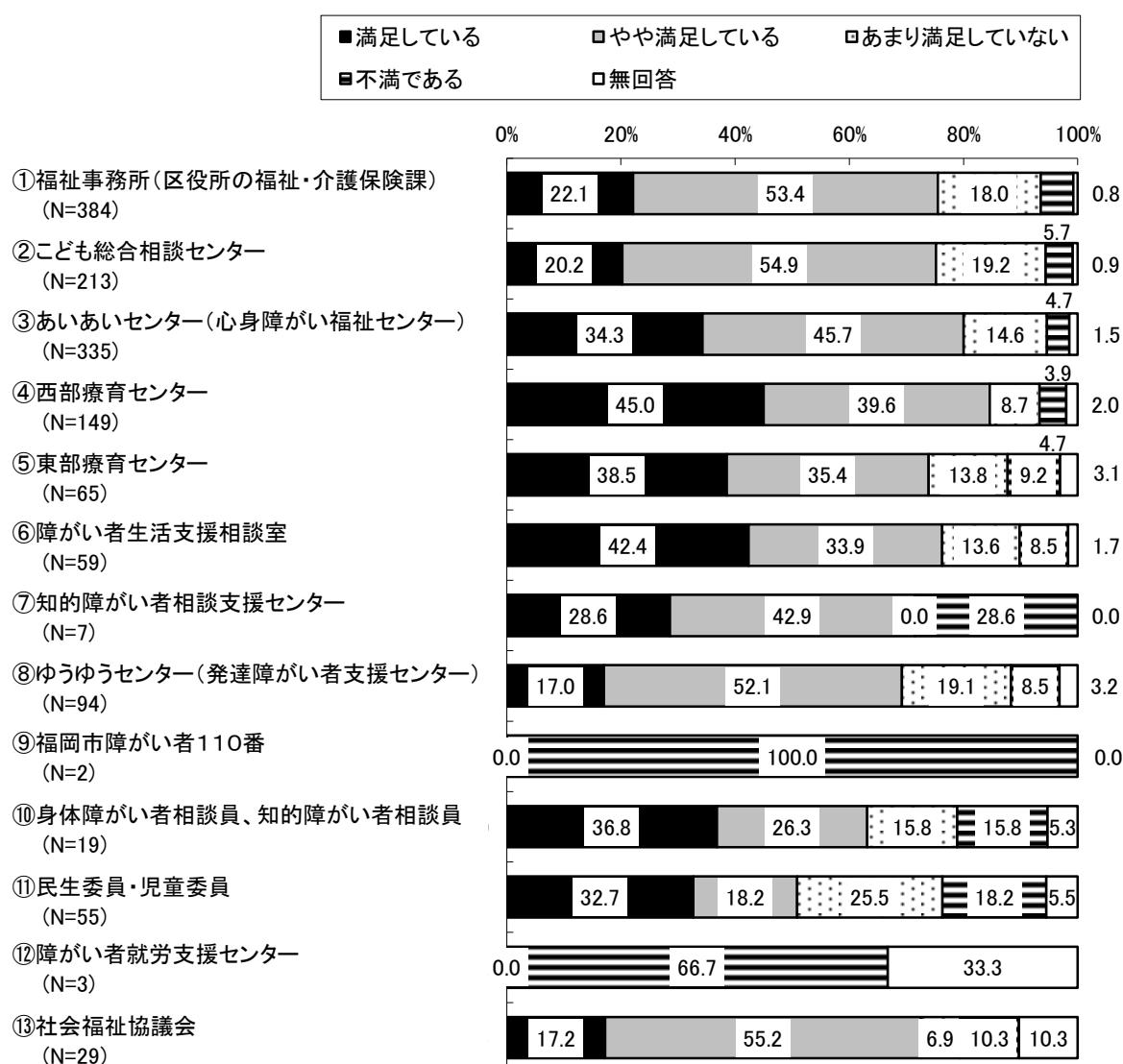


(6) 相談窓口の満足度

問32 福岡市には、障がいのある方からのさまざまな相談事に応じる窓口として、次のような窓口があります。

これらの相談窓口があることを知っていましたか。また、利用したことがありますか。さらに、「利用したことがある」を選ばれた方は、その時の満足度はどうでしたか。①～⑬の項目ごとに、認知度、利用状況、満足度のそれぞれについて○をつけてください。

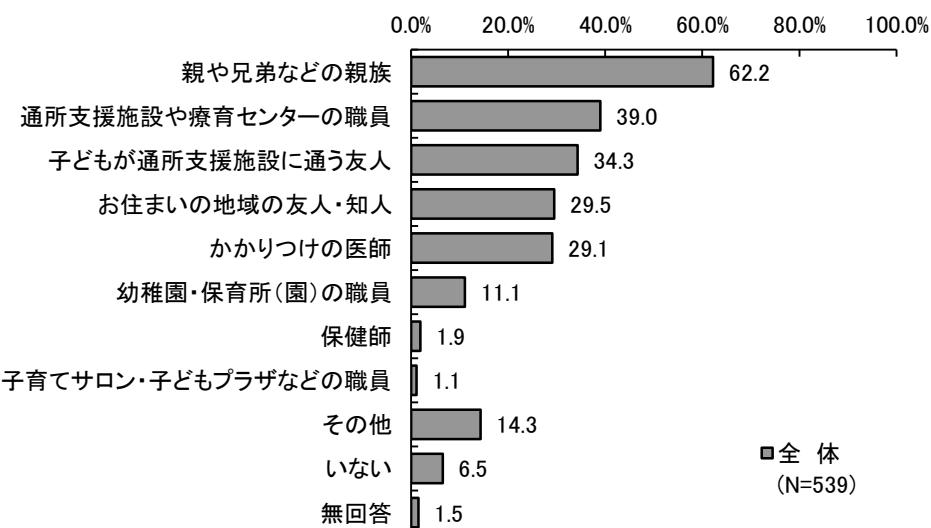
【図表6-87 相談窓口の満足度】



(7) 育児に関する相談相手

問33 育児に関して、相談できる相手は誰ですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-88 育児に関する相談相手】



【図表6-89 障がいの状況別、年齢別 育児に関する相談相手】(%)

調査数 (人)	育児に関する相談相手											
	親や兄弟などの親族	通所支援施設や療育センターの職員	子どもが通う友人	お住まいの地域の友人	かかりつけの医師	幼稚園・保育所(園)	保健師	子育てサロンなどの職員	その他	いない	無回答	
全 体	539	62.2	39.0	34.3	29.5	29.1	11.1	1.9	1.1	14.3	6.5	1.5
障状が況の無回答	88	68.2	19.3	20.5	40.9	36.4	11.4	1.1	—	8.0	6.8	2.3
知的障がいのみ	325	62.2	40.3	34.8	30.2	23.4	13.8	2.2	1.5	15.4	6.5	1.5
重複障がい	112	56.3	51.8	46.4	19.6	41.1	3.6	1.8	0.9	16.1	5.4	0.9
全 体	14	71.4	28.6	14.3	21.4	21.4	7.1	—	—	14.3	14.3	—
年齢	0~2歳	27	81.5	74.1	40.7	25.9	37.0	18.5	3.7	—	11.1	—
	3~5歳	103	68.9	75.7	54.4	23.3	30.1	26.2	1.9	1.9	6.8	2.9
	6~8歳	93	67.7	41.9	43.0	31.2	30.1	15.1	2.2	2.2	11.8	3.2
	9~11歳	83	67.5	24.1	21.7	33.7	25.3	4.8	2.4	2.4	14.5	6.0
	12~14歳	88	61.4	19.3	22.7	35.2	22.7	5.7	1.1	—	18.2	10.2
	15~17歳	132	47.7	22.7	28.0	26.5	33.3	3.0	1.5	—	19.7	9.1
	無回答	13	46.2	46.2	23.1	38.5	23.1	7.7	—	—	15.4	23.1

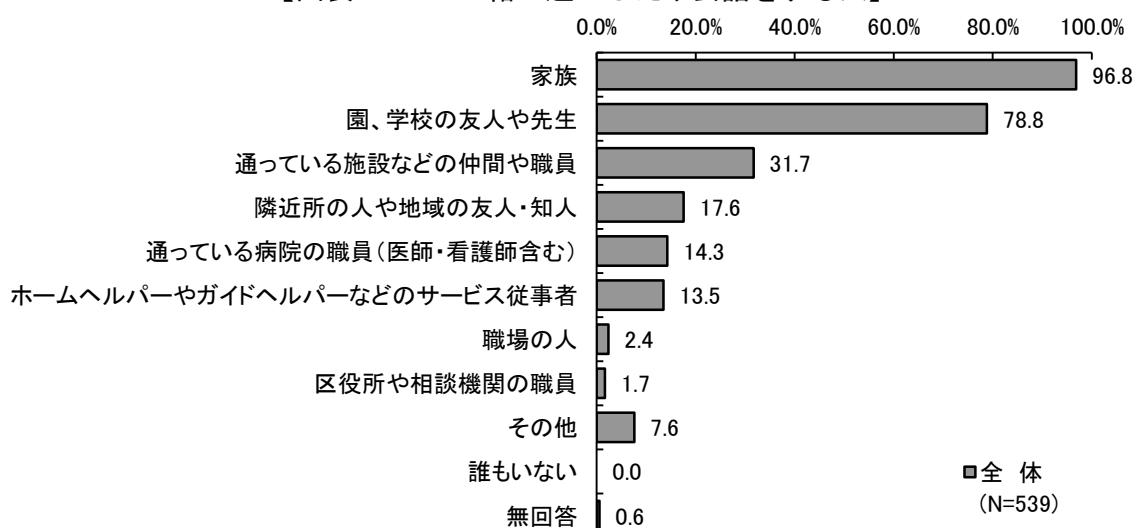
11. 地域とのかかわりについて

- 一緒に過ごしたり会話をする人については、「家族」(96.8%) が9割を超えて大半を占めており、「園、学校の友人や先生」(78.8%) も8割弱を占めている。障がいの状況別にみると、重複障がい児では「通っている施設などの仲間や職員」(43.8%)、「ホームヘルパーやガイドヘルパーなどのサービス従事者」(33.0%) の割合が他に比べて高い。【図表6-91】
- 地域の方とのつきあいの状況については、「会った時はあいさつしあう」(73.3%) が7割強で最も多い。障がいの状況別にみると、全般的に、身体障がい児で他に比べて割合が高い。世帯状況別にみると、親と子のみ(父子家庭)では、「会った時はあいさつしあう」(81.3%)、「あいさつだけでなく、親しく話をしている(世間話)」(31.3%)、「一緒に遊んだり、出かけたりする」(43.8%)などで、他に比べ割合が高くなっている。通園・通学先別にみると、小・中学校(通常学級)は他に比べて全般的に割合が高く、特に「一緒に遊んだり、出かけたりする」、「子ども会などの地域活動に一緒に参加する」(それぞれ44.7%) 等で高い。【図表6-93】

(1) 一緒に過ごしたり会話をする人

問34 お子さん(家族の方も含む)は、ふだんどのような人と一緒にすごしたり、会話をすることが多いですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-90 一緒に過ごしたり会話をする人】



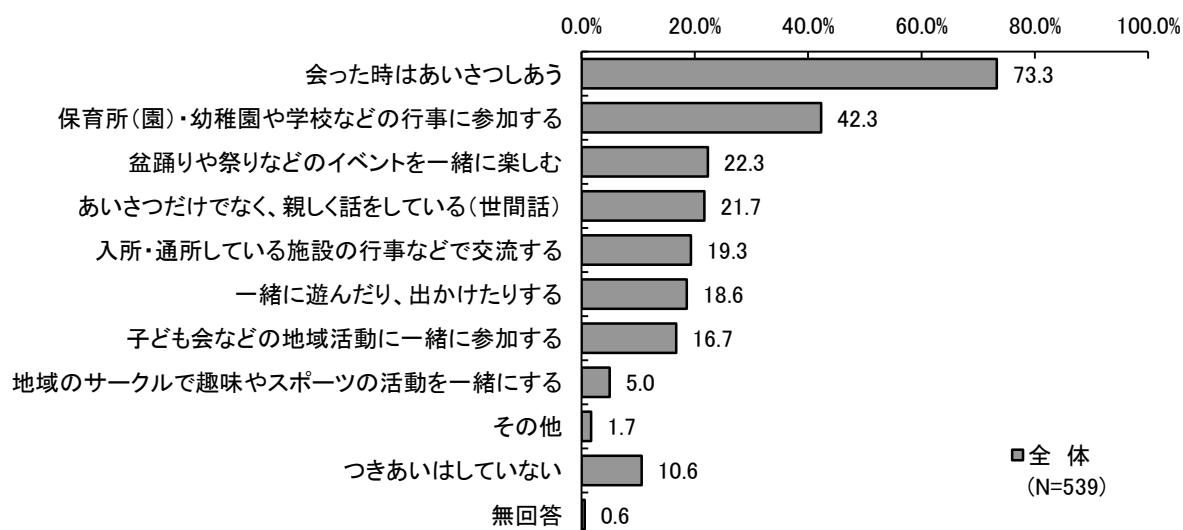
【図表6-91 障がいの状況別、年齢別 一緒に過ごしたり会話をする人】(%)

調査数 (人)	一緒に過ごしたり会話をする人											
	家族	園、学校の友人や先生	仲間つやて職いる施設などの友	人隣・近所の人や地域の友	～通医つ師て・いる看る病院	～通医つ師て・いる看る病院	ビドヘルム	職場の人	員区役所や相談機関の職	その他	誰もいない	無回答
全 体	539	96.8	78.8	31.7	17.6	14.3	13.5	2.4	1.7	7.6	—	0.6
障状の	身体障がいのみ	88	97.7	78.4	10.2	27.3	21.6	11.4	1.1	—	4.5	—
がいの	知的障がいのみ	325	96.6	81.2	33.8	16.9	9.2	8.0	2.8	2.2	8.0	— 0.6
況い	重複障がい	112	96.4	73.2	43.8	10.7	25.0	33.0	2.7	1.8	9.8	— 0.9
の	無回答	14	100.0	71.4	21.4	28.6	—	—	—	—	—	—
全 体	539	96.8	78.8	31.7	17.6	14.3	13.5	2.4	1.7	7.6	—	0.6
年 齢	0～2歳	27	100.0	14.8	55.6	11.1	22.2	7.4	3.7	3.7	—	—
	3～5歳	103	97.1	60.2	43.7	13.6	12.6	8.7	—	1.0	4.9	—
	6～8歳	93	98.9	89.2	32.3	18.3	18.3	9.7	3.2	4.3	6.5	—
	9～11歳	83	95.2	88.0	25.3	21.7	9.6	7.2	1.2	—	14.5	— 1.2
	12～14歳	88	96.6	90.9	29.5	18.2	13.6	14.8	4.5	2.3	9.1	— 1.1
	15～17歳	132	97.0	85.6	22.0	18.2	15.9	24.2	3.0	0.8	6.1	— 0.8
	無回答	13	84.6	76.9	38.5	23.1	—	15.4	—	—	15.4	—

(2) 地域の方とのつきあいの状況

問35 お子さん(家族の方も含む)は、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-92 地域の方とのつきあいの状況】



【図表6-93 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別、通園・通学先別

地域の方とのつきあいの状況】(%)

	調査数 (人)	地域の方とのつきあいの状況											
		会つた時はあいさつしあう	校保育などの行事(・参加するやう)	ト盆踊りや祭り(・楽しむ)	く話さしてだける(・世間話)	入所などで交流する(・親)	行事などで交流する(・施設の)	一緒に遊んだり、出かけた	一緒に遊んだり、出かけた	ボーッツのサークルで地域活動に	地域の活動を一緒に味にするス	その他	つきあいはしていない
全 体	539	73.3	42.3	22.3	21.7	19.3	18.6	16.7	5.0	1.7	10.6	0.6	
障がいの状況													
身体障がいのみ	88	75.0	54.5	22.7	27.3	8.0	31.8	26.1	5.7	1.1	10.2	—	
知的障がいのみ	325	75.4	44.9	24.3	21.5	21.2	16.0	16.0	5.2	1.5	9.2	0.6	
重複障がい	112	67.0	25.0	14.3	17.9	25.0	12.5	10.7	2.7	1.8	15.2	0.9	
無回答	14	64.3	42.9	35.7	21.4	—	42.9	21.4	14.3	7.1	7.1	—	
全 体	539	73.3	42.3	22.3	21.7	19.3	18.6	16.7	5.0	1.7	10.6	0.6	
年齢													
0~2歳	27	59.3	29.6	3.7	33.3	22.2	7.4	7.4	—	3.7	22.2	—	
3~5歳	103	65.0	44.7	19.4	20.4	40.8	18.4	7.8	—	1.9	9.7	—	
6~8歳	93	80.6	55.9	28.0	24.7	21.5	20.4	26.9	5.4	—	5.4	—	
9~11歳	83	78.3	48.2	33.7	19.3	14.5	24.1	31.3	6.0	—	8.4	1.2	
12~14歳	88	73.9	44.3	20.5	20.5	10.2	18.2	18.2	5.7	3.4	11.4	1.1	
15~17歳	132	74.2	28.0	18.2	19.7	10.6	15.2	7.6	7.6	1.5	13.6	0.8	
無回答	13	69.2	46.2	23.1	30.8	7.7	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7	—	
全 体	539	73.3	42.3	22.3	21.7	19.3	18.6	16.7	5.0	1.7	10.6	0.6	
世帯状況													
親と子のみ(母子家庭)	61	73.8	36.1	23.0	23.0	16.4	21.3	9.8	4.9	3.3	16.4	—	
親と子のみ(父子家庭)	16	81.3	50.0	18.8	31.3	12.5	43.8	12.5	12.5	—	6.3	—	
親と子のみ(両親あり)	407	74.9	43.2	22.9	21.1	21.1	17.2	18.4	4.4	1.7	10.1	0.2	
三世代同居(親と子と祖父母)	45	60.0	37.8	20.0	22.2	8.9	20.0	13.3	6.7	—	6.7	—	
その他	6	50.0	50.0	16.7	16.7	16.7	—	16.7	—	—	16.7	33.3	
無回答	4	50.0	50.0	—	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—	25.0	—	
全 体	539	73.3	42.3	22.3	21.7	19.3	18.6	16.7	5.0	1.7	10.6	0.6	
通園・通学先													
幼稚園・保育所	58	70.7	84.5	29.3	20.7	15.5	22.4	5.2	—	1.7	10.3	—	
障がい児通園施設等	43	69.8	25.6	18.6	30.2	60.5	16.3	23.3	—	2.3	7.0	—	
小・中学校(通常学級)	38	81.6	60.5	34.2	26.3	—	44.7	44.7	10.5	2.6	5.3	—	
小・中学校(特別支援学級)	133	78.2	54.9	31.6	22.6	14.3	18.8	28.6	8.3	1.5	6.0	1.5	
特別支援学校小・中学部	93	78.5	32.3	16.1	18.3	18.3	12.9	12.9	3.2	—	11.8	—	
高校	29	82.8	34.5	20.7	27.6	6.9	13.8	6.9	10.3	—	3.4	—	
特別支援学校高等部	82	69.5	31.7	17.1	18.3	12.2	15.9	7.3	4.9	2.4	18.3	—	
訪問教育	3	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	
大学・短大・専門学校	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他	25	60.0	12.0	12.0	16.0	40.0	12.0	4.0	4.0	—	12.0	4.0	
通っていない	33	51.5	9.1	6.1	24.2	30.3	18.2	3.0	3.0	6.1	21.2	—	
無回答	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	

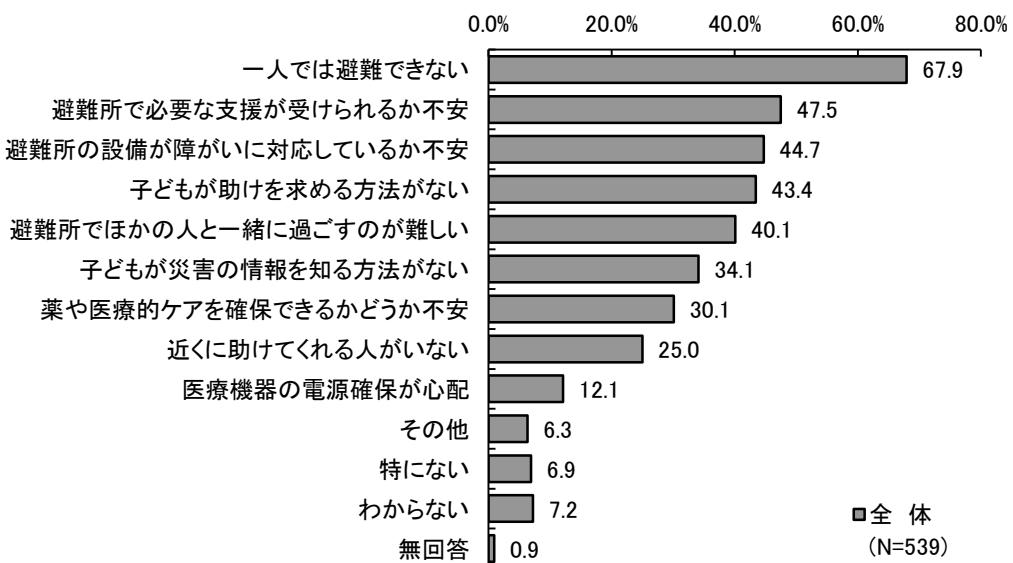
12. 防災について

- ・地震などの災害発生時に困ることや不安なことについて、障がいの状況別にみると、全般的に、重複障がい児で、避難時及び避難所での支援に関する項目の多くで割合が高くなっている。【図表6-95】
- ・災害への備えについて、障がいの状況別にみると、身体障がい児では、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」(35.2%)の割合が高く、重複障がい児では、「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている」(33.9%)、「疾病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」(30.4%)、「災害時要援護者台帳に登録している」(15.2%)など、多くの項目で割合が高くなっている。【図表6-97】
- ・災害時に頼れる人については、障がいの状況別・年齢別にみても、大きな違いはみられないが、世帯状況別にみると、母子家庭では「頼れる人がいない」(26.2%)の割合が他に比べ高くなっている。【図表6-99】
- ・福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度については、「わからない」(31.5%)が3割強を占めて最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」(28.4%)、「どちらかといえば感じていない」(20.0%)となっている。【図表6-100】
- ・障がいの状況別にみると、身体障がいのみの場合『感じている』(『感じている』+『どちらかといえば感じている』の合計)の割合(40.9%)は、『感じていない』(『感じていない』+『どちらかといえば感じていない』の合計)を上回っているが、このほかでは『感じていない』の割合が高い。年齢別にみると、5歳以下では『感じている』の割合が高いが、6歳以上の年齢層では、いずれも『感じていない』の割合が高い。世帯状況別にみると、親と子のみ(父子家庭)、三世代同居(親と子と祖父母)、その他世帯では『感じている』の割合が高く、このほかではいずれも『感じていない』の割合が高い。【図表6-101】

(1) 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと

問36 お子さんが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-94 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】



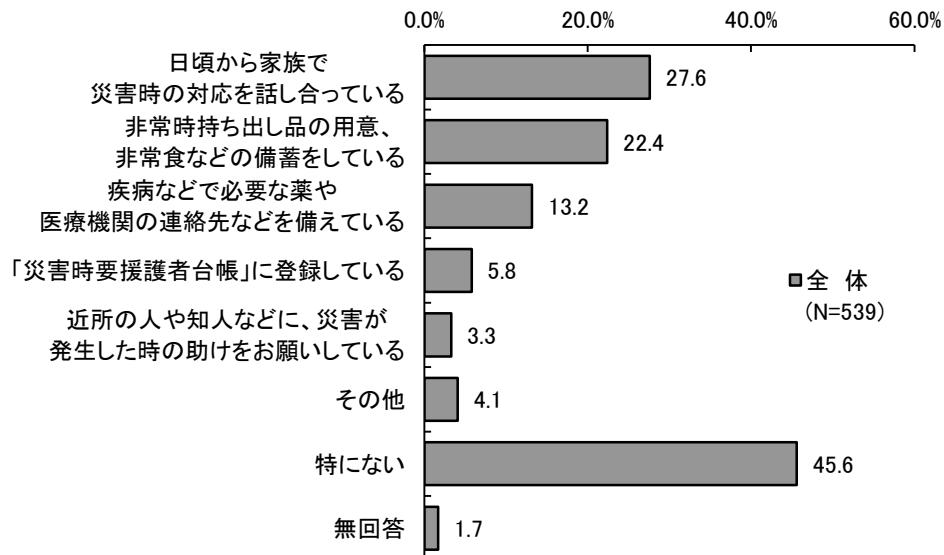
【図表6-95 障がいの状況別 地震などの災害発生時に困ることや不安なこと】(%)

調査数 (人)	地震などの災害発生時に困ることや不安なこと														
	一人では避難できない	避難所で不安な支援が受け	避難して所のい設備が不	が子などいもが助けを求める方法	避難所でほ	方子ど	る薬や	近くに助	医療機器の電	その他	特にな	わから	無回答		
全 体	539	67.9	47.5	44.7	43.4	40.1	34.1	30.1	25.0	12.1	6.3	6.9	7.2	0.9	
障 状 況 の	身体障がいのみ	88	44.3	37.5	38.6	22.7	12.5	25.0	34.1	11.4	20.5	11.4	10.2	13.6	-
	知的障がいのみ	325	68.6	44.3	39.4	43.7	41.8	33.8	17.8	26.8	5.2	3.7	7.4	8.0	1.2
	重複障がい	112	85.7	64.3	65.2	61.6	58.9	44.6	64.3	32.1	26.8	10.7	2.7	-	0.9
	無回答	14	57.1	50.0	42.9	21.4	21.4	14.3	14.3	14.3	-	-	7.1	7.1	-

(2) 災害への備え

問37 お子さんのために、災害に対してどのような備えをしていますか。
(○はあてはまるものすべて)

【図表6-96 災害への備え】



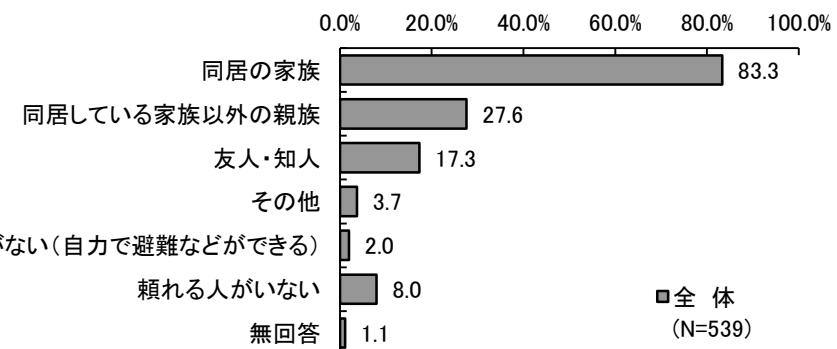
【図表6-97 障がいの状況別 災害への備え】(%)

調査数 (人)	災害への備え								
	対日 応頃 をか 話し 家族 つで て災 い害 る時 の	し意非 て、常 い非時 る常持 食ち な出 どしの品 備用 を	え療疾 機病 いのど 連で 絡必 先要 なな ど薬 をや 備医	に「災 害登 録して いる時 要援 護者台 帳」	を災近 お害所 願がの い発人 生や してし いた人 る時な ど助に け、	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
全 体	539	27.6	22.4	13.2	5.8	3.3	4.1	45.6	1.7
障 状 況 の	身体障がいのみ	88	35.2	21.6	15.9	4.5	3.4	4.5	37.5
	知的障がいのみ	325	27.7	19.1	7.1	3.1	3.1	3.4	50.2
	重複障がい	112	23.2	33.9	30.4	15.2	4.5	5.4	36.6
	無回答	14	14.3	14.3	-	-	-	7.1	64.3

(3) 災害時に頼れる人

問38 水害や地震などが発生したときに、お子さんの安全の確保などで頼れる人はどなたですか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-98 災害時に頼れる人】



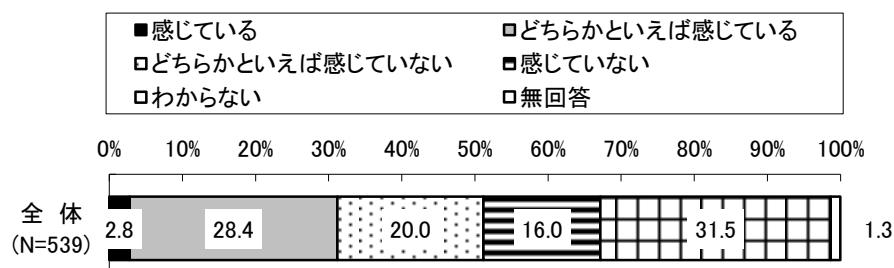
【図表6-99 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別 災害時に頼れる人】(%)

調査数 (人)	災害時に頼れる人								
	同居の家族	以同居して親て族いる家族	友人・知人	その他	がへるきで自力必要で避が難なないど	頼れる人がいない	無回答		
全 体	539	83.3	27.6	17.3	3.7	2.0	8.0	1.1	
障 状	身体障がいのみ	88	77.3	25.0	23.9	3.4	4.5	9.1	1.1
が	知的障がいのみ	325	84.3	28.3	15.4	4.3	1.5	8.0	0.6
況 の	重複障がい	112	84.8	26.8	17.9	2.7	0.9	7.1	2.7
	無回答	14	85.7	35.7	14.3	-	7.1	7.1	-
全 体	539	83.3	27.6	17.3	3.7	2.0	8.0	1.1	
年 齢	0~2歳	27	85.2	48.1	18.5	3.7	-	3.7	-
	3~5歳	103	91.3	34.0	13.6	2.9	-	4.9	1.0
	6~8歳	93	83.9	32.3	17.2	2.2	-	11.8	-
	9~11歳	83	81.9	21.7	21.7	3.6	2.4	7.2	2.4
	12~14歳	88	81.8	22.7	19.3	6.8	1.1	8.0	2.3
	15~17歳	132	78.8	23.5	16.7	3.0	4.5	9.8	0.8
	無回答	13	76.9	15.4	7.7	7.7	15.4	-	-
全 体	539	83.3	27.6	17.3	3.7	2.0	8.0	1.1	
世 帯 状 況	親と子のみ(母子家庭)	61	52.5	23.0	18.0	3.3	-	26.2	-
	親と子のみ(父子家庭)	16	81.3	12.5	12.5	6.3	12.5	6.3	-
	親と子のみ(両親あり)	407	88.5	29.7	16.7	3.4	1.2	6.1	0.7
	三世代同居(親と子と祖父母)	45	88.9	20.0	20.0	2.2	4.4	2.2	2.2
	その他	6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	-	33.3
	無回答	4	75.0	50.0	50.0	-	25.0	-	-

(4) 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度

問39 あなたは、福岡市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表6-100 福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】



【図表6-101 障がいの状況別、年齢別、世帯状況別

福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度】(%)

調査数 (人)	福岡市の安全・安心のための社会環境整備の実感度						集約	
	感じ て い る	感 ど じ て ら い か る と い え ば	感 ど じ て ら い か な と い え ば	感 じ て い な い な い え ば	わ か ら な い	無 回 答	感 じ て い る	感 じ て い な い
全 体	539	2.8	28.4	20.0	16.0	31.5	1.3	31.2 36.0
障 状 況 の	身体障がいのみ	88	5.7	35.2	12.5	14.8	29.5	2.3 40.9 27.3
	知的障がいのみ	325	2.2	27.1	20.6	13.8	35.4	0.9 29.3 34.4
	重複障がい	112	2.7	27.7	21.4	21.4	25.0	1.8 30.4 42.8
	無回答	14	-	21.4	42.9	28.6	7.1	- 21.4 71.5
全 体	539	2.8	28.4	20.0	16.0	31.5	1.3	31.2 36.0
年 齢	0~2歳	27	-	48.1	18.5	3.7	29.6	- 48.1 22.2
	3~5歳	103	4.9	29.1	11.7	12.6	39.8	1.9 34.0 24.3
	6~8歳	93	2.2	31.2	20.4	18.3	26.9	1.1 33.4 38.7
	9~11歳	83	2.4	26.5	19.3	20.5	30.1	1.2 28.9 39.8
	12~14歳	88	1.1	21.6	29.5	13.6	33.0	1.1 22.7 43.1
	15~17歳	132	3.0	26.5	21.2	16.7	31.1	1.5 29.5 37.9
	無回答	13	7.7	38.5	15.4	30.8	7.7	- 46.2 46.2
全 体	539	2.8	28.4	20.0	16.0	31.5	1.3	31.2 36.0
世 帯 状 況	親と子のみ(母子家庭)	61	3.3	21.3	18.0	13.1	44.3	- 24.6 31.1
	親と子のみ(父子家庭)	16	18.8	31.3	12.5	12.5	25.0	- 50.1 25.0
	親と子のみ(両親あり)	407	2.0	27.8	21.9	16.5	31.0	1.0 29.8 38.4
	三世代同居(親と子と祖父母)	45	4.4	40.0	13.3	13.3	24.4	4.4 44.4 26.6
	その他	6	-	50.0	-	33.3	-	16.7 50.0 33.3
	無回答	4	-	25.0	-	25.0	50.0	- 25.0 25.0

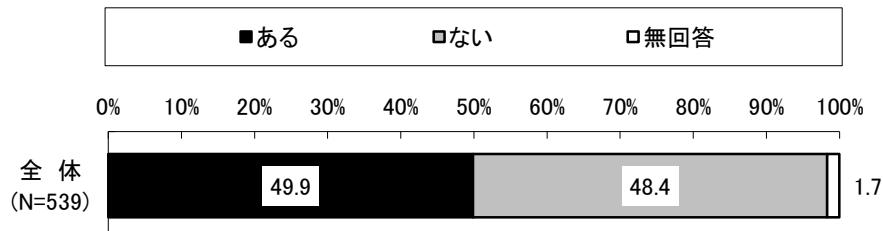
13. 福祉施策全般について

- ・差別を受けたり、いやな思いをした経験について、障がいの状況別にみると、重複障がい児のみ「ある」(57.1%)の割合の方が高く、6割近くを占める。年齢別にみると、5歳以下及び9~11歳では「ない」の割合が過半数を占めているが、そのほかの年齢層では「ある」の割合が過半数を占める。通園・通学先別にみると、幼稚園・保育所、小・中学校（通常学級・特別支援学級とも）及び特別支援学校高等部では、「ある」の割合が過半数を占めている。【図表6-103】
- ・障がい者の人権に関して問題があると思うことについて、障がいの状況別にみると、身体障がい児では他に比べて「聴覚・視覚障がい者などへ必要な情報を伝える配慮が足らないこと」(25.0%)、知的障がい児では「差別的な言動を受けること」(44.6%)、「働く場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(32.0%)、「詐欺や悪徳商法の被害を受けやすいこと」(17.2%)、重複障がい児では「人々の障がい者に対する理解を深める機会が少ないこと」(50.0%)、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受けること」(22.3%)、「使える在宅サービスや福祉施設・病院が少ないこと」(17.9%)の割合がそれぞれ高い。年齢別にみると、「働く場所や能力を発揮する機会が少ないこと」は年齢が高くなるほど割合も高くなり、15~17歳では4割近く(39.4%)を占める。【図表6-107】
- ・障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいことについて、障がいの状況別にみると、身体障がい児では他に比べて「障がい者に配慮した保健、医療体制及び医療費公費負担制度の充実」(38.6%)の割合が高く、知的障がい児では「就労支援の充実（働くための訓練や職場定着など）」(41.5%)や「特別支援教育の充実」(37.8%)の割合が高い。また、重複障がい児では他に比べて「介護や訓練が受けられる施設（入所・通所）の充実」(34.8%)や「居宅介護や移動支援など、在宅生活支援サービスの充実」(20.5%)等の介護や支援サービスの充実に関するものの割合が高い。【図表6-109】
- ・障がい者支援として地域社会や企業に望むことについては、「障がいに対する理解を深める」(72.2%)が7割強と最も多い。障がいの状況別にみると、身体障がい児や重複障がい児では、知的障がい児に比べて「公共交通機関や建物等を障がい者が利用しやすいようにつくる」の割合が高く、5割前後を占める。一方、知的障がい児では、「障がいに対する理解を深める」(76.3%)、「企業で障がい者を積極的に雇用する」(58.5%)の割合が高い。年齢別にみると、9~11歳で「地域の行事やイベントに障がい者が参加しやすいよう配慮する」(26.5%)の割合が、他に比べ高くなっている。【図表6-111】
- ・福岡市の暮らしやすさについては、「どちらかといえば感じている」(39.0%)が最も多く、次いで「わからない」(23.4%)、「どちらかといえば感じていない」(18.2%)、「感じていない」(12.8%)となっている。障がいの状況別にみると、いずれも『感じている』（「感じている」+「どちらかといえば感じている」）が4割台を占める。年齢別にみると、15~17歳では『感じていない』（「感じていない」+「どちらかといえば感じていない」）(35.6%)の割合が高く、このほかではいずれも『感じている』の割合が高い。【図表6-113】

(1) 差別を受けたり、いやな思いをした経験

問40 ここ2～3年の間に、障がいがあるため、差別を受けたりいやな思いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

【図表6-102 差別を受けたり、いやな思いをした経験】



【図表6-103 障がいの状況別、年齢別、通園・通学先別

差別を受けたり、いやな思いをした経験】(%)

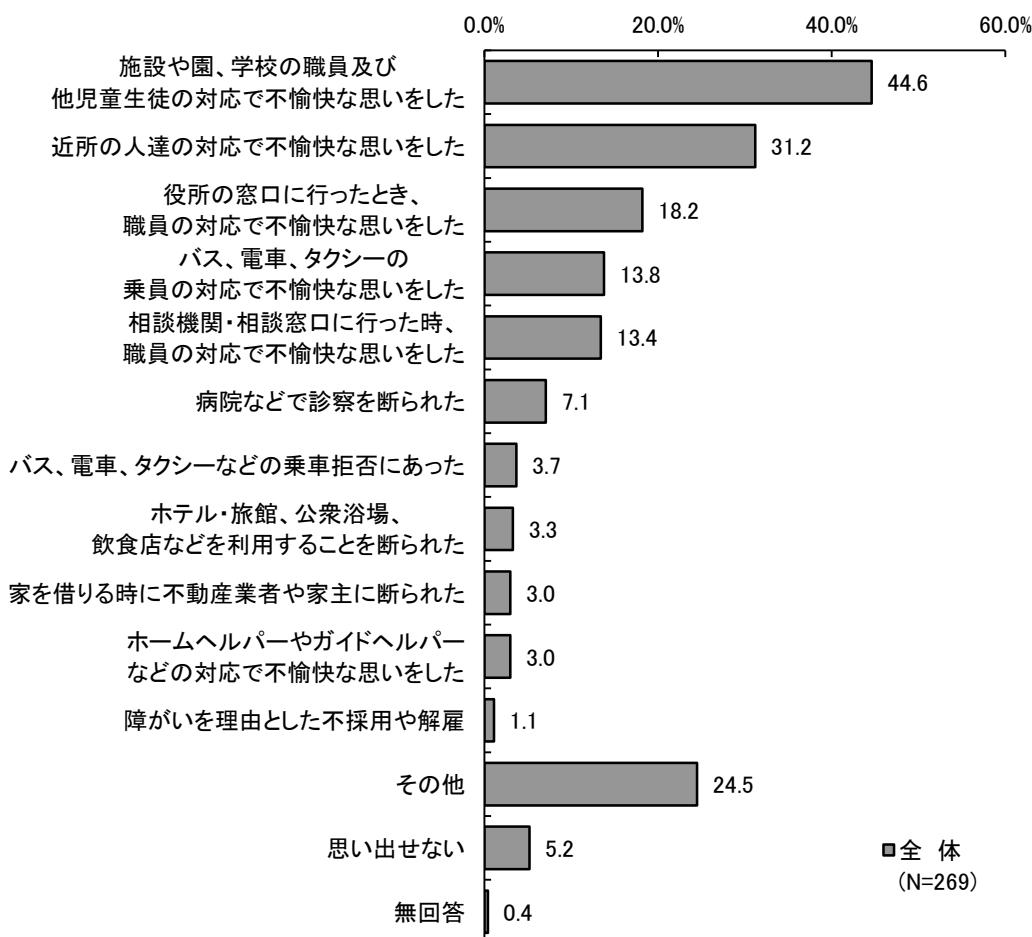
	調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした経験		
		ある	ない	無回答
全 体	539	49.9	48.4	1.7
障	身体障がいのみ	42.0	55.7	2.3
状	知的障がいのみ	48.3	50.2	1.5
況	重複障がい	57.1	41.1	1.8
い	の 無回答	78.6	21.4	-
全 体	539	49.9	48.4	1.7
年 齢	0～2歳	22.2	77.8	-
	3～5歳	48.5	50.5	1.0
	6～8歳	60.2	38.7	1.1
	9～11歳	42.2	55.4	2.4
	12～14歳	52.3	46.6	1.1
	15～17歳	52.3	44.7	3.0
	無回答	53.8	46.2	-
全 体	539	49.9	48.4	1.7
通園・通学先	幼稚園・保育所	53.4	43.1	3.4
	障がい児通園施設等	46.5	53.5	-
	小・中学校(通常学級)	50.0	47.4	2.6
	小・中学校(特別支援学級)	54.1	45.1	0.8
	特別支援学校小・中学部	49.5	49.5	1.1
	高校	48.3	51.7	-
	特別支援学校高等部	52.4	45.1	2.4
	訪問教育	66.7	33.3	-
	大学・短大・専門学校	100.0	-	-
	その他	44.0	48.0	8.0
通っていない		30.3	69.7	-
無回答		-	100.0	-

(2) 差別を受けたり、いやな思いをした内容

[問40で「1」を選ばれた方におたずねします]

問40-1 どのようなことで、いやな思いをしましたか。(○はあてはまるものすべて)

【図表6-104 差別を受けたり、いやな思いをした内容】



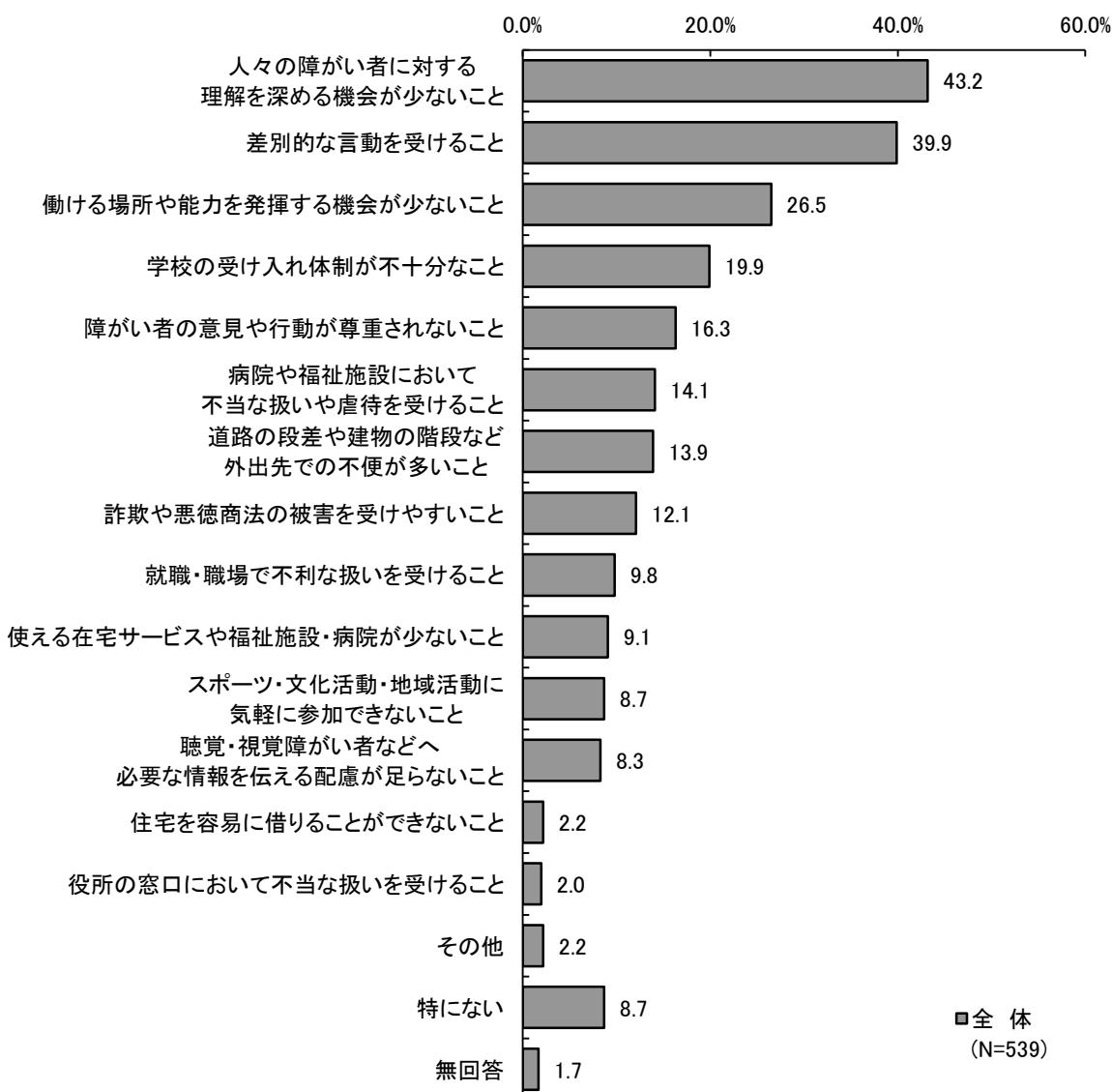
【図表6-105 障がいの状況別、年齢別 差別を受けたり、いやな思いをした内容】(%)

調査数 (人)	差別を受けたり、いやな思いをした内容														その他	思い出せない	無回答
	徒施設や応園で不学愉校快のな思い及び他児童生	近所の人達の対応で不愉快な思いをしたとき、職員の対応	応役所の窓口に行つたとき、職員の対応	バス、電車、タクシーの乗員の対応	相談機関で不愉快な思いをしたとき、職員の対応	病院などで診察を断られた	否バス、電車、タクシーなどの乗車拒否	ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店などを利用することを断られた	断家を借りる時に不動産業者や家主に	ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの対応で不愉快な思いをした	障がいを理由とした不採用や解雇						
全 体	269	44.6	31.2	18.2	13.8	13.4	7.1	3.7	3.3	3.0	3.0	1.1	24.5	5.2	0.4		
障状況の無回答	37	54.1	13.5	18.9	8.1	10.8	5.4	5.4	—	—	2.7	2.7	24.3	5.4	2.7		
知的障がいのみ	157	49.7	34.4	15.9	14.6	14.6	7.0	5.1	5.1	3.2	3.2	1.3	24.2	5.1	—		
重複障がい	64	23.4	31.3	25.0	17.2	14.1	9.4	—	1.6	4.7	3.1	—	28.1	4.7	—		
全 体	269	44.6	31.2	18.2	13.8	13.4	7.1	3.7	3.3	3.0	3.0	1.1	24.5	5.2	0.4		
年齢	0~2歳	6	33.3	—	16.7	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—		
	3~5歳	50	32.0	24.0	24.0	8.0	10.0	6.0	4.0	—	—	—	4.0	36.0	4.0		
	6~8歳	56	41.1	28.6	16.1	23.2	8.9	8.9	—	3.6	—	—	26.8	3.6	—		
	9~11歳	35	48.6	31.4	20.0	14.3	11.4	—	—	—	—	—	17.1	5.7	—		
	12~14歳	46	58.7	30.4	13.0	2.2	10.9	6.5	4.3	4.3	6.5	4.3	—	17.4	4.3		
	15~17歳	69	43.5	39.1	15.9	17.4	17.4	11.6	5.8	4.3	7.2	5.8	—	20.3	8.7	1.4	
	無回答	7	71.4	57.1	42.9	28.6	28.6	—	28.6	28.6	—	28.6	14.3	28.6	—	—	

(3) 障がい者の人権に関して問題があると思うこと

問41 障がい者に関する事柄で、特に人権上問題があると思われるのはどのようなことですか。(○は3つまで)

【図表6-106 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】



【図表6-107 障がいの状況別、年齢別 障がい者の人権に関して問題があると思うこと】(%)

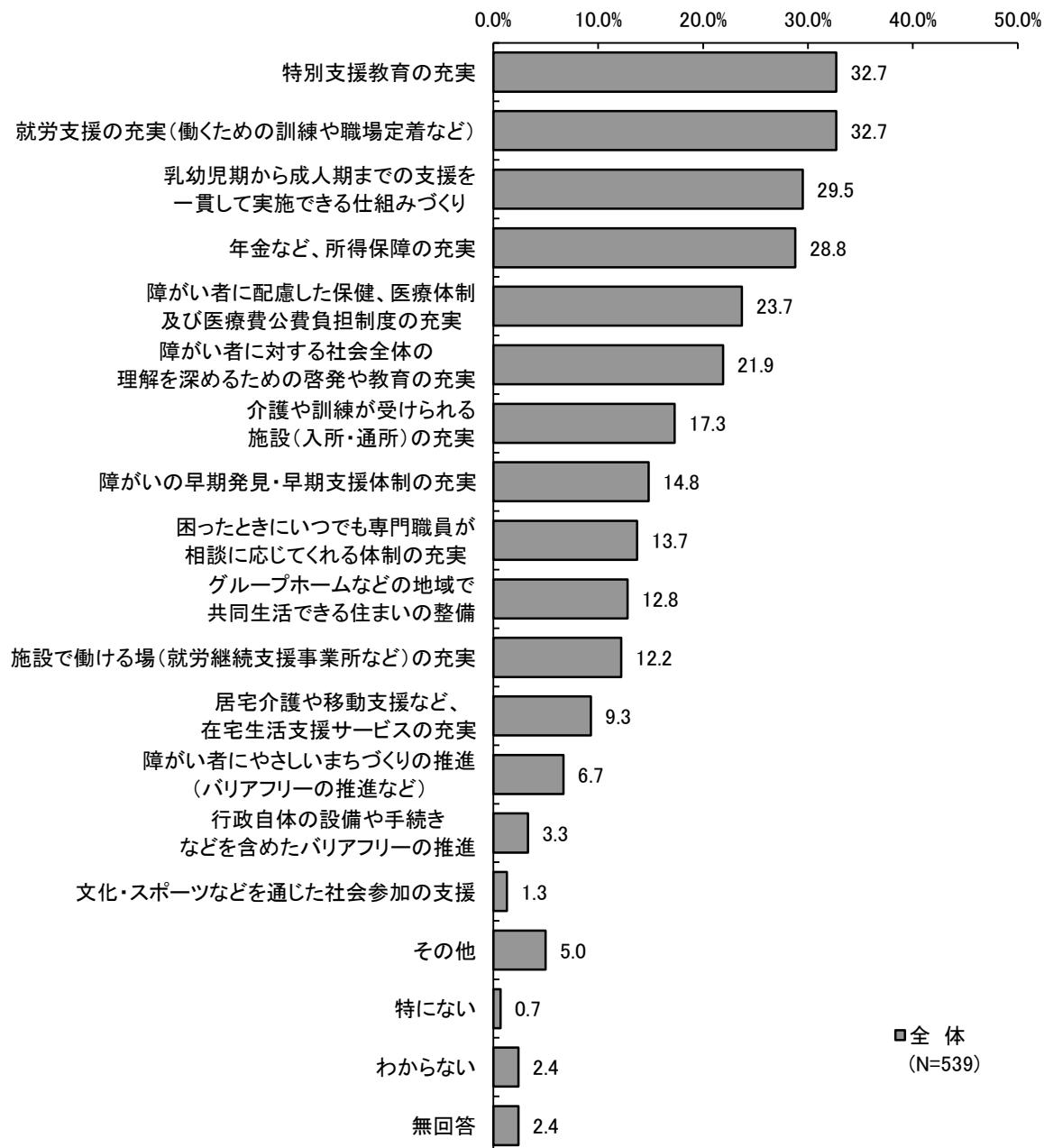
調査数 (人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと									
	少る人々の理解を深める機会に対する受け入れ体制	差別的な言動を受けたときの反応	と揮動する機会がや少能な力を発揮する機会	不学校分の受け入れ体制	が障がい者の意見や行動	受け不院の受け入れ	受て病院の受け入れ	が段道の段差や建物の不	を詐欺や悪徳商法の被害	い就職受ける職場で不利な扱
全 体	539	43.2	39.9	26.5	19.9	16.3	14.1	13.9	12.1	9.8
障がいの状況										
身体障がいのみ	88	37.5	27.3	13.6	25.0	21.6	6.8	27.3	2.3	5.7
知的障がいのみ	325	43.4	44.6	32.0	21.5	16.9	12.6	4.6	17.2	13.5
重複障がい	112	50.0	33.9	18.8	12.5	9.8	22.3	32.1	5.4	2.7
無回答	14	21.4	57.1	42.9	7.1	21.4	28.6	-	7.1	7.1
全 体	539	43.2	39.9	26.5	19.9	16.3	14.1	13.9	12.1	9.8
年齢										
0~2歳	27	25.9	14.8	18.5	48.1	22.2	11.1	14.8	7.4	11.1
3~5歳	103	43.7	34.0	19.4	28.2	21.4	14.6	12.6	11.7	10.7
6~8歳	93	54.8	46.2	19.4	10.8	20.4	16.1	14.0	10.8	9.7
9~11歳	83	47.0	38.6	18.1	21.7	10.8	15.7	12.0	16.9	10.8
12~14歳	88	40.9	46.6	30.7	17.0	12.5	9.1	13.6	12.5	8.0
15~17歳	132	38.6	41.7	39.4	15.9	13.6	13.6	14.4	10.6	10.6
無回答	13	30.8	38.5	46.2	7.7	23.1	30.8	30.8	15.4	-

調査数 (人)	障がい者の人権に関して問題があると思うこと								
	い福祉施設在宅病院における活動・参加	で地域社会活動に・と気文化に活動参加・	スピーチボランティア活動に・と気文化に活動参加・	るど聴配へ覚慮必要・が要視足な情障がいをい伝えな	と住がで住宅を容易に借りるこ	当役所の窓口を受けておけることと不	その他の	特にない	無回答
全 体	539	9.1	8.7	8.3	2.2	2.0	2.2	8.7	1.7
障がいの状況									
身体障がいのみ	88	8.0	5.7	25.0	4.5	1.1	-	10.2	2.3
知的障がいのみ	325	6.5	9.5	3.7	1.5	1.5	3.4	9.2	1.2
重複障がい	112	17.9	8.9	8.0	2.7	4.5	0.9	5.4	2.7
無回答	14	7.1	7.1	14.3	-	-	-	14.3	-
全 体	539	9.1	8.7	8.3	2.2	2.0	2.2	8.7	1.7
年齢									
0~2歳	27	14.8	3.7	14.8	3.7	3.7	-	14.8	3.7
3~5歳	103	12.6	4.9	7.8	1.0	2.9	-	8.7	1.0
6~8歳	93	8.6	10.8	10.8	2.2	1.1	-	8.6	1.1
9~11歳	83	3.6	9.6	4.8	1.2	2.4	2.4	12.0	2.4
12~14歳	88	9.1	14.8	10.2	1.1	1.1	5.7	6.8	2.3
15~17歳	132	9.8	6.8	7.6	4.5	0.8	3.8	6.8	1.5
無回答	13	-	7.7	-	-	15.4	-	7.7	-

(4) 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと

問42 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、国や県、市に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

【図表6-108 障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】



【図表6-109 障がいの状況別、年齢別

障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと】(%)

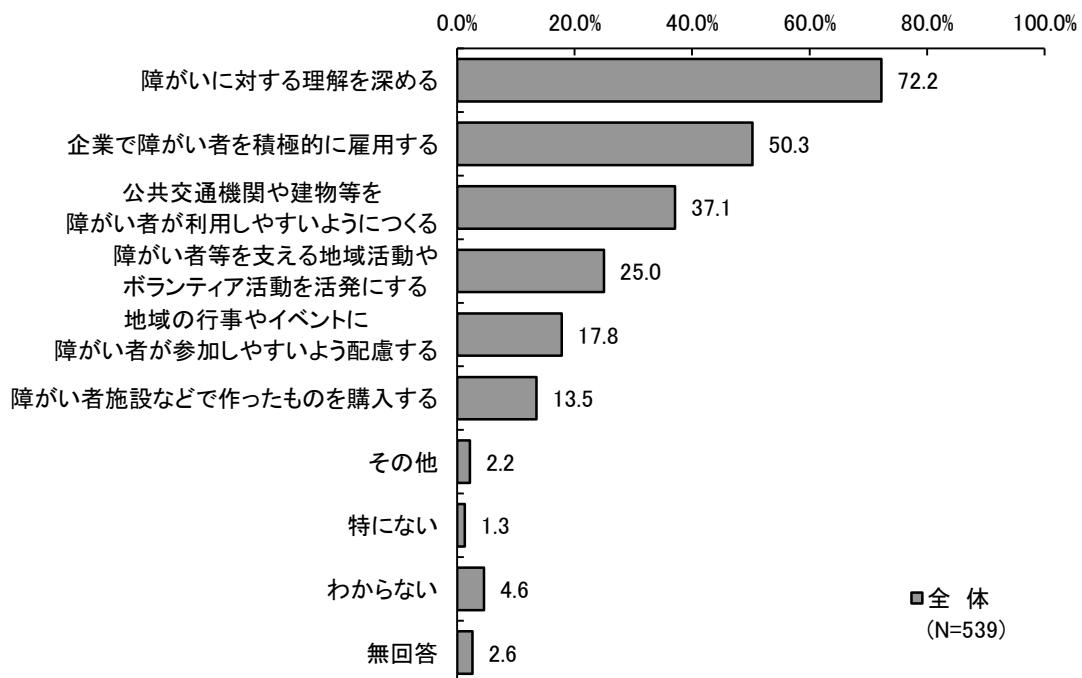
調査数 (人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと											
	特別支援教育の充実	なたどめ労働の支援	施設で乳幼児の支援	充実金など	費健障公、が費医い負療者	め全障の体が啓のい理者	のる介充護施設や～訓練所が	期障支が援い体の早	て専困くれ職たる員と体がき	住地グ域ルーの共普整同ホー活ムでなどるの		
全体	539	32.7	32.7	29.5	28.8	23.7	21.9	17.3	14.8	13.7	12.8	
障状況の	身体障がいのみ	88	19.3	15.9	34.1	26.1	38.6	27.3	9.1	14.8	13.6	1.1
	知的障がいのみ	325	37.8	41.5	28.9	32.0	19.1	21.2	13.8	16.6	12.3	15.4
	重複障がい	112	28.6	19.6	25.0	21.4	24.1	20.5	34.8	7.1	16.1	15.2
	無回答	14	28.6	35.7	50.0	28.6	35.7	14.3	7.1	35.7	28.6	7.1
年齢	0～2歳	27	18.5	18.5	48.1	25.9	33.3	14.8	48.1	14.8	18.5	7.4
	3～5歳	103	35.0	27.2	37.9	23.3	29.1	22.3	29.1	13.6	10.7	9.7
	6～8歳	93	44.1	22.6	33.3	22.6	23.7	29.0	17.2	21.5	10.8	4.3
	9～11歳	83	37.3	33.7	30.1	31.3	26.5	22.9	6.0	9.6	13.3	8.4
	12～14歳	88	35.2	38.6	29.5	30.7	18.2	13.6	9.1	17.0	12.5	15.9
	15～17歳	132	21.2	41.7	15.9	36.4	21.2	24.2	15.2	12.1	16.7	22.0
	無回答	13	30.8	38.5	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7	23.1	30.8	23.1

調査数 (人)	障がい者福祉施策として国や県、市に力を入れてほしいこと										
	の継続充実支援で就業する所場など就労	ビド居ス、宅の在介充宅護実生や活動移支動支援ササ援ーな	アち障フづがりくいり者	フき行政ーど自のを体	通文化じた・社会ポー	その他	特にない	わからぬ	無回答		
全体	539	12.2	9.3	6.7	3.3	1.3	5.0	0.7	2.4	2.4	
障状況の	身体障がいのみ	88	—	10.2	15.9	9.1	3.4	5.7	—	1.1	4.5
	知的障がいのみ	325	16.9	5.2	3.7	1.5	1.2	2.8	0.9	2.8	2.2
	重複障がい	112	8.9	20.5	8.9	4.5	—	11.6	0.9	2.7	1.8
	無回答	14	7.1	7.1	—	—	—	—	—	—	—
年齢	0～2歳	27	7.4	11.1	7.4	—	—	3.7	—	—	3.7
	3～5歳	103	8.7	8.7	7.8	1.9	—	5.8	1.0	2.9	1.0
	6～8歳	93	10.8	8.6	6.5	3.2	1.1	5.4	—	4.3	1.1
	9～11歳	83	9.6	12.0	9.6	1.2	2.4	4.8	3.6	3.6	1.2
	12～14歳	88	20.5	11.4	2.3	4.5	1.1	6.8	—	1.1	3.4
	15～17歳	132	13.6	6.8	7.6	5.3	2.3	3.8	—	1.5	3.0
	無回答	13	7.7	7.7	—	7.7	—	—	—	—	15.4

(5) 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと

問43 障がいのある人が暮らしやすい社会をつくるために、地域社会や企業に、特に力を入れてほしいと思うことは何ですか。(○は3つまで)

【図表6-110 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと】

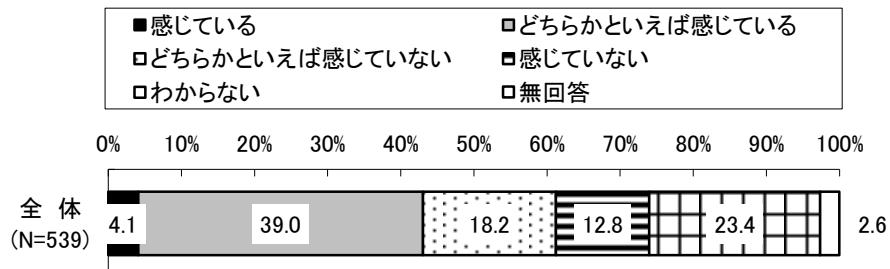


【図表6-111 障がいの状況別、年齢別 障がい者支援として地域社会や企業に望むこと】(%)

(6) 福岡市の暮らしやすさ

問44 あなたは、福岡市は障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じていますか。
(○は1つだけ)

【図表6-112 福岡市の暮らしやすさ】



【図表6-113 障がいの状況別、年齢別 福岡市の暮らしやすさ】(%)

	調査数 (人)	福岡市の暮らしやすさ						集約	
		感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	わからない	無回答	感じている	感じていない
全 体	539	4.1	39.0	18.2	12.8	23.4	2.6	43.1	31.0
障 状	身体障がいのみ	88	3.4	37.5	25.0	9.1	20.5	4.5	40.9
が	知的障がいのみ	325	3.1	42.2	15.1	12.0	25.2	2.5	45.3
況	重複障がい	112	8.0	33.0	20.5	17.9	18.8	1.8	41.0
い	の 無回答	14	—	21.4	28.6	14.3	35.7	—	21.4
全 体		539	4.1	39.0	18.2	12.8	23.4	2.6	43.1
年 齢	0~2歳	27	3.7	37.0	18.5	7.4	29.6	3.7	40.7
	3~5歳	103	7.8	43.7	11.7	14.6	21.4	1.0	51.5
	6~8歳	93	4.3	41.9	22.6	9.7	20.4	1.1	46.2
	9~11歳	83	3.6	38.6	19.3	8.4	28.9	1.2	42.2
	12~14歳	88	4.5	42.0	18.2	13.6	17.0	4.5	46.5
	15~17歳	132	1.5	32.6	19.7	15.9	27.3	3.0	34.1
	無回答	13	—	30.8	15.4	23.1	15.4	15.4	30.8